

第7次松山市総合計画の策定に向けた
市民意識調査等
報 告 書
(概要版)

令和5年3月



松 山 市

目次

I	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査項目	1
3.	調査対象・方法・期間	1
4.	回収結果	1
5.	報告書の見方	2
6.	集計方法	3
II	市民意識調査結果	5
1.	回答者について	5
(1)	性別	5
(2)	年齢	5
(3)	職業	6
(4)	居住地域	6
(5)	家族構成	7
(6)	居住経験	7
(7)	居住年数	8
2.	松山市での暮らしについて	8
(1)	松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じるか	8
(2)	松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じるか	9
(3)	松山市は住みやすいまちか	9
(4)	松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じるか	11
(5)	松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じにくい	11
(6)	松山市に愛着や誇りを感じるか	12
(7)	今後も松山市に住み続けたいか	13
3.	生活について	14
(1)	日常的によく使う交通手段	14
(2)	平均的な1日の歩数	14
(3)	1週間あたりの朝食を食べる日数	15
(4)	松山市の市政に関する情報を主にどこから得ているか	15
(5)	マイ・タイムラインを知っているか	16
4.	デジタルの活用について	16
(1)	仕事や家事・学業の場面でのインターネットの利用頻度	16
(2)	プライベートでのインターネットの利用頻度	17
(3)	プライベートでインターネットを利用するとき使用する機器	17
(4)	よく利用するSNS	18
(5)	マイナンバーカードの利用状況	18
(6)	デジタル化が進むことを特に期待する分野	19
5.	地域のまちづくりについて	19
(1)	地域活性化のために重要なこと	19
(2)	地域活性化のために、特に優先して取り組むべきこと	20

(3) 居住地のまちづくり活動	20
(4) まちづくり活動への参加	21
(5) まちづくりに参加する上で、課題や支障になること	21
6. 人口減少について	22
(1) 松山市の将来人口の減少について知っているか	22
(2) 松山市の人口が減少することについて問題であると感じるか	22
(3) 人口減少が与える影響	23
7. SDGs（エスディージーズ）について	23
(1) SDGsについて知っているか	23
(2) SDGsゴールにつながる行動の実践	24
8. 市の取り組んでいる施策の満足度について	25
(1) 健康・福祉に関する施策	25
(2) 安全・安心に関する施策	26
(3) 産業・交流に関する施策	26
(4) 教育・文化に関する施策	27
(5) 環境・都市に関する施策	27
(6) 自治・行政に関する施策	28
9. これからの松山市について	29
(1) 10年後の松山市の理想の姿をイメージしたキーワード	29
(2) 力を入れるべき取り組み	34

Ⅲ 県外在住者意識調査結果 49

1. 回答者について	49
(1) 性別	49
(2) 年齢	49
(3) 職業	50
(4) 家族構成	50
(5) 居住地	51
2. 松山市での暮らしについて	51
(1) 松山市での居住経験	51
(2) 松山市での居住年数	52
(3) 松山市外に転出したきっかけ	52
(4) 「進学」の際に松山市外に転出した理由	53
(5) 「就職・転職」の際に松山市外に転出した理由	53
(6) 松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じたか	54
(7) 松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じたか	54
(8) 松山市は住みやすいまちであったか	55
3. 松山市のイメージについて	56
(1) 松山市について思い浮かべる「もの・こと・場所」	56
(2) 松山市を訪問する頻度	57
(3) 松山市への旅行を勧めたいか	57
(4) 松山市への旅行を勧めたい理由	58
(5) 松山市への旅行を勧めたくない理由	58

4. 松山市への移住について	59
(1) 移住のきっかけ	59
(2) 移住を検討する際に不安なこと	60
(3) 移住を検討する際に重視する支援	61
(4) 今後、松山市に移住したいか	62
(5) 松山市に移住したいと思う理由	63
5. これからの松山市について	64
(1) 10年後の松山市の理想の姿をイメージしたキーワード	64
(2) 力を入れるべき取り組み	65
IV 調査分析	69
・ 施策の満足度分析（市民意識調査）	69

I 調査概要

1. 調査目的

次期松山市総合計画（計画期間：令和7年度から10年間）の策定に向けて、これまで取り組んできたまちづくりの満足度を調査するとともに、まちに対する想いや市政への要望等を把握するため、市民や県外在住者に対する意識調査を実施し、計画的かつ効率的な進行管理を図るための基礎資料とする。

2. 調査項目

市民意識調査	県外在住者意識調査
1. 回答者について 2. 松山市での暮らしについて 3. 生活について 4. デジタルの活用について 5. 地域のまちづくりについて 6. 人口減少について 7. SDGsについて 8. 市の取り組んでいる施策の満足度について 9. これからの松山市について	1. 回答者について 2. 松山市での暮らしについて 3. 松山市のイメージについて 4. 松山市への移住について 5. これからの松山市について

3. 調査対象・方法・期間

	市民意識調査	県外在住者意識調査
調査対象	2022年10月1日現在（無作為抽出） ①性別：男女計5,000人 ②年齢：18歳以上の市民 ③地域：松山市全域 （集計・分析は公民館ブロックの地区ごと）	200件程度の回収を目標に下記を送付対象とした（計5,288人 ※対象者が重複している可能性あり） ・松山市公式LINEの登録者（県外在住）：3,950人 ・松山愛郷会・愛郷会youth会員：604人 ・移住相談者：734人
調査方法	送付：郵送 回収：郵送またはインターネット	送付：LINE、郵送、メール 回収：インターネット
調査期間	2022年11月28日～12月18日	2022年9月28日～10月31日

4. 回収結果

(1) 市民意識調査

①全体

発送件数	回収数		回収率
5,000 件	全体	2,501 件	50.0%
	うち郵送回収	1,683 件	67.3%
	うちインターネット回収	818 件	32.7%

②年齢別

年齢別	回収数・回収率	
20歳代以下	全体	236件 (9.4%)
	うち郵送回収	98件 (41.5%)
	うちインターネット回収	138件 (58.5%)
30歳代	全体	300件 (12.0%)
	うち郵送回収	140件 (46.7%)
	うちインターネット回収	160件 (53.3%)
40歳代	全体	385件 (15.4%)
	うち郵送回収	197件 (51.2%)
	うちインターネット回収	188件 (48.8%)
50歳代	全体	438件 (17.5%)
	うち郵送回収	275件 (62.8%)
	うちインターネット回収	163件 (37.2%)
60歳代	全体	562件 (22.5%)
	うち郵送回収	443件 (78.8%)
	うちインターネット回収	119件 (21.2%)
70歳以上	全体	567件 (22.7%)
	うち郵送回収	519件 (91.5%)
	うちインターネット回収	48件 (8.5%)

(2) 県外在住者意識調査

送付件数	回収数	回収率
5,288件	239件	4.5%

5. 報告書の見方

- ①図表中の「n」（Number of samplesの略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数です。
- ②図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものであり、各設問は「無回答」を含めて集計しています。
- ③図表中の構成比（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しています。そのため、個々の構成比の合計が100.0%にならない場合（99.9%、100.1%など）があります。
- ④複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、合計が100.0%を超えることもあります。
- ⑤Ⅳ 調査分析の満足度の得点については、小数点第3位を四捨五入しているため、同じ値で表示されていても順位が異なる場合があります。平均得点と得点差は、小数点第3位を四捨五入した値を基に分析しています。

6. 集計方法

項目	内容																		
性別集計 (共通)	・ 男性、女性、回答しないごとに集計。																		
年齢別集計 (共通)	・ 20歳代以下（市民：18～29歳、県外：～29歳）、30歳代（30～39歳）、40歳代（40～49歳）、50歳代（50～59歳）、60歳代（60～69歳）、70歳以上の6区分で集計。																		
地域別集計 (市民)	<p>・ 41居住地を、8公民館ブロックに集約。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック</th> <th>公民館区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1ブロック</td> <td>1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台</td> </tr> <tr> <td>第2ブロック</td> <td>5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本</td> </tr> <tr> <td>第3ブロック</td> <td>11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原</td> </tr> <tr> <td>第4ブロック</td> <td>17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒</td> </tr> <tr> <td>第5ブロック</td> <td>21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生</td> </tr> <tr> <td>第6ブロック</td> <td>25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島</td> </tr> <tr> <td>第7ブロック</td> <td>31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝</td> </tr> <tr> <td>第8ブロック</td> <td>35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック	公民館区分	第1ブロック	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台	第2ブロック	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本	第3ブロック	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原	第4ブロック	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒	第5ブロック	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生	第6ブロック	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島	第7ブロック	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝	第8ブロック	35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井
	ブロック	公民館区分																	
第1ブロック	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台																		
第2ブロック	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本																		
第3ブロック	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原																		
第4ブロック	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒																		
第5ブロック	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生																		
第6ブロック	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島																		
第7ブロック	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝																		
第8ブロック	35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井																		
満足度得点 (市民)	<p>・ 第6次松山市総合計画(後期基本計画)の施策ごとの評価。</p> <p>選択肢1「不満」から選択肢5「満足」までに、それぞれ1点～5点を与え、加重平均を算出した。選択肢0「判断できない」と「無回答」のサンプルは集計対象から除外した。</p>																		

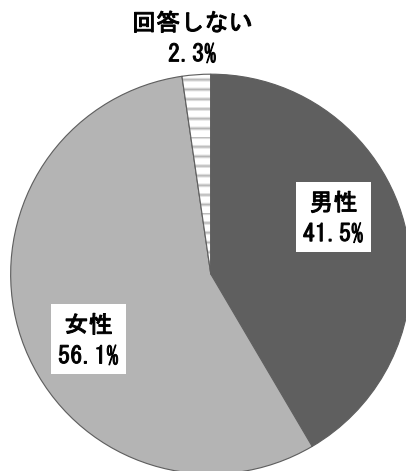
Ⅱ 市民意識調査結果

1. 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別は。(選択は任意です)

・性別は、「男性」が41.5%、「女性」が56.1%であった。

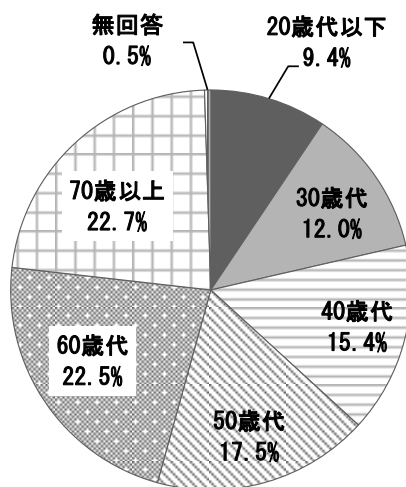


n=2,501

(2) 年齢

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

・年齢は、「70歳以上」と「60歳代」がともに22%程度と高く、次いで「50歳代」が17.5%、「40歳代」が15.4%、「30歳代」が12.0%、「20歳代以下」が9.4%であった。

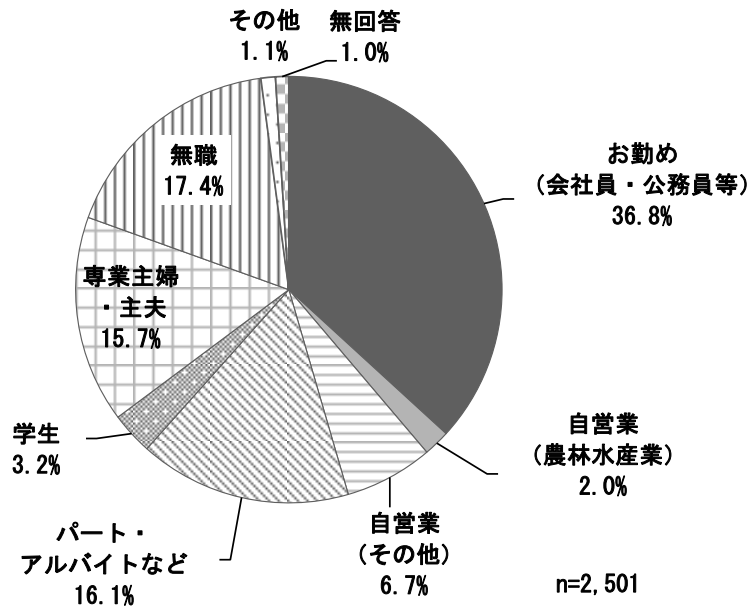


n=2,501

(3)職業

問3 あなたの職業は。(○は1つ)

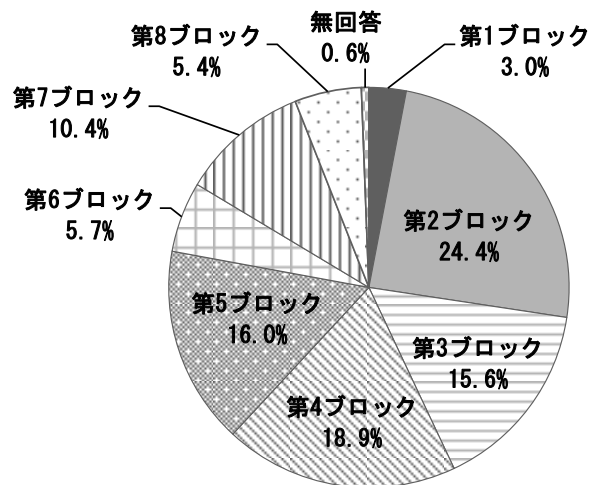
- ・職業は、「お勤め（会社員・公務員等）」が36.8%と最も高く、次いで「無職」17.4%、「パート・アルバイトなど」16.1%、「専業主婦・主夫」15.7%、「自営業（その他）」6.7%、「学生」3.2%、「自営業（農林水産業）」2.0%であった。



(4)居住地

問4 あなたのお住まいの地域は。(○は1つ)

- ・居住地は、「第2ブロック」が24.4%と最も高く、次いで「第4ブロック」18.9%、「第5ブロック」16.0%、「第3ブロック」15.6%、「第7ブロック」10.4%、「第6ブロック」5.7%、「第8ブロック」5.4%、「第1ブロック」3.0%の順となった。

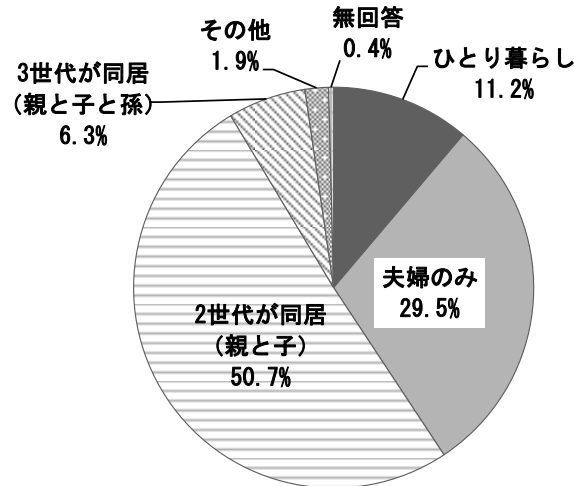


n=2,501

(5) 家族構成

問5 あなたの家族構成は。(○は1つ)

- ・ 家族構成は、「2世代が同居（親と子）」が50.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」29.5%、「ひとり暮らし」11.2%、「3世代が同居（親と子と孫）」6.3%であった。

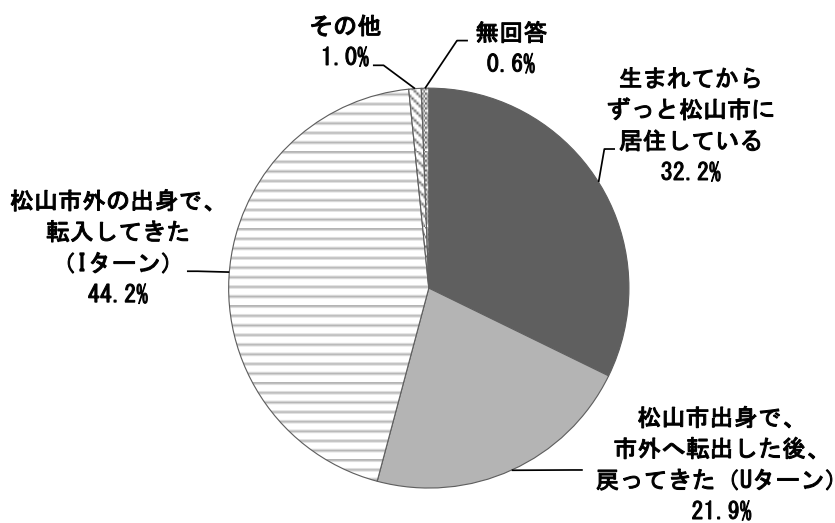


n=2,501

(6) 居住経験

問6 あなたの松山市での居住経験は。(○は1つ)

- ・ 松山市での居住経験は、「松山市外の出身で、転入してきた (Iターン)」が44.2%と最も高く、次いで「生まれてからずっと松山市に居住している」32.2%、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた (Uターン)」21.9%であった。

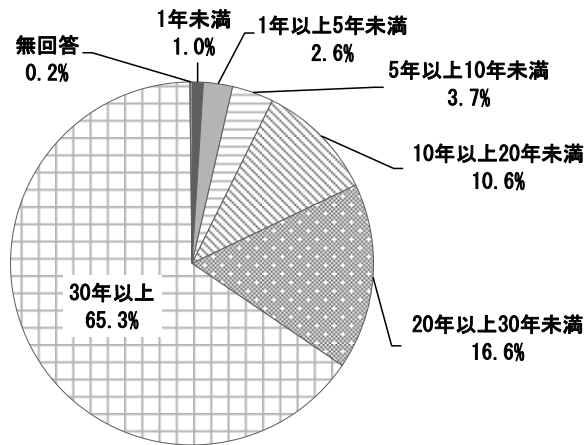


n=2,501

(7) 居住年数

問7 あなたは松山市に住んで通算何年になりますか。(○は1つ)

- ・松山市での居住年数は、「30年以上」が65.3%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」16.6%、「10年以上20年未満」10.6%、「5年以上10年未満」3.7%、「1年以上5年未満」2.6%であった。



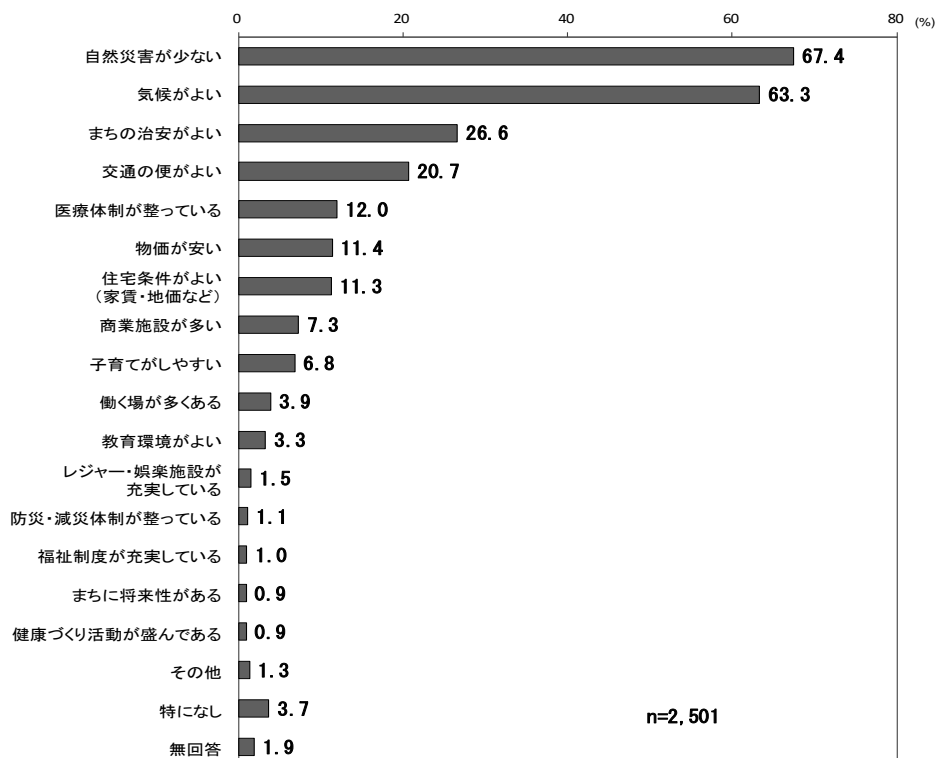
n=2,501

2. 松山市での暮らしについて

(1) 松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じるか

問8 松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じますか。(○は3つまで)

- ・全体結果では、「自然災害が少ない」が67.4%と最も高く、次いで「気候がよい」63.3%、「まちの治安がよい」26.6%、「交通の便がよい」20.7%であった。

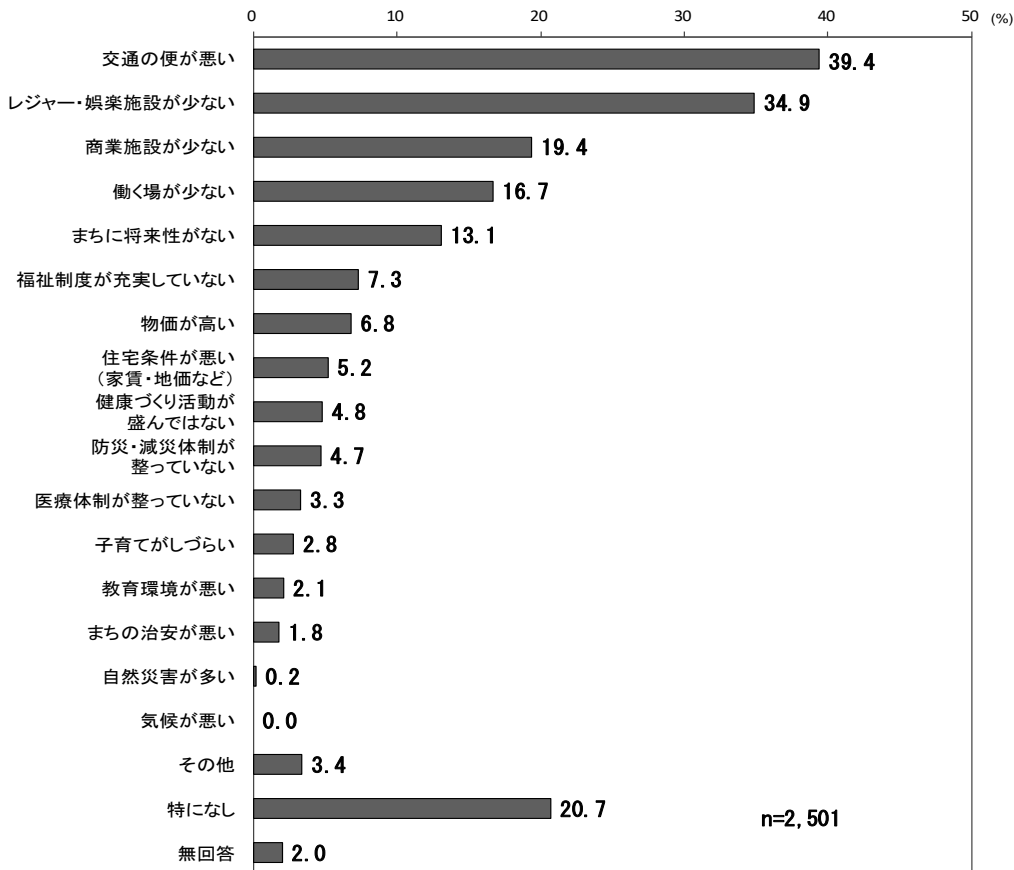


n=2,501

(2)松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じるか

問9 松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じますか。(○は3つまで)

- ・全体結果では、「交通の便が悪い」が39.4%と最も高く、次いで「レジャー・娯楽施設が少ない」34.9%、「商業施設が少ない」19.4%、「働く場が少ない」16.7%、「まちに将来性がない」13.1%であった。

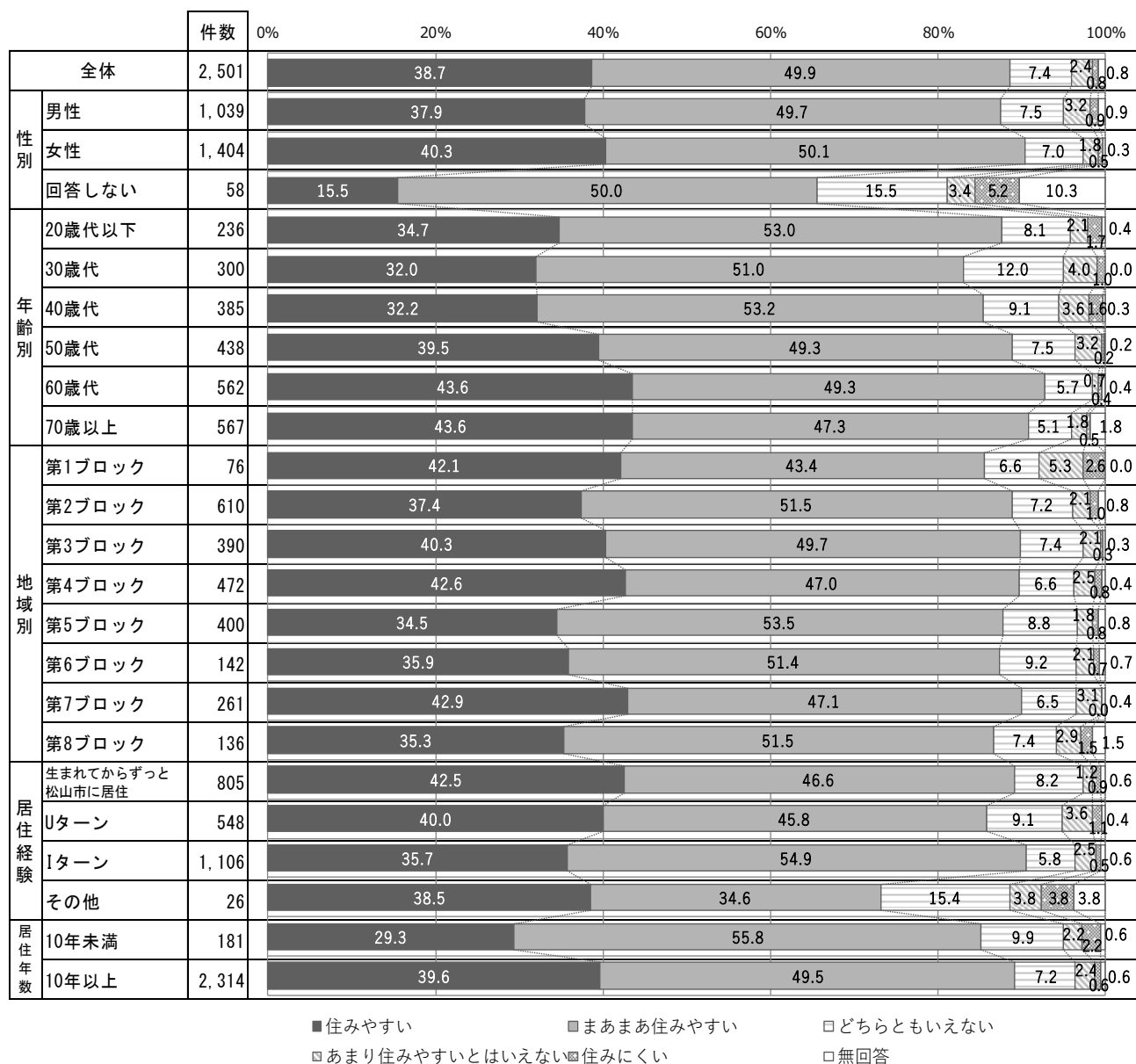


(3)松山市は住みやすいまちか

問10 あなたにとって松山市は住みやすいまちですか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「まあまあ住みやすい」が49.9%と最も高く、次いで「住みやすい」38.7%と続き、合わせて88.6%が『住みやすい』と感じている。
- ・性別では、男女ともに『住みやすい』が『住みにくい』（「住みにくい」と「あまり住みやすいとはいえない」を合わせた割合）を上回っており、男性87.6%、女性90.4%となっている。女性の『住みやすい』が男性の回答を2.8ポイント上回っている。
- ・年齢別では、すべての年代で『住みやすい』が『住みにくい』を上回っており、50歳代以下は8割台、60歳代以上は9割を超える結果であった。『住みやすい』の割合が最も高い60歳代92.9%と、最も低い30歳代83.0%では9.9ポイントの差がみられた。
- ・地域別では、すべての地域で『住みやすい』が『住みにくい』を上回った。『住みやすい』の割合が最も高い第3ブロック、第7ブロックともに90.0%と、最も低い第1ブロック85.5%では4.5ポイントの差がみられた。

- ・居住経験では、すべての居住経験で『住みやすい』が『住みにくい』を上回った。『住みやすい』の割合が最も高い、松山市外の出身で、転入してきた（Iターン）90.6%と、松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）は85.8%で、4.8ポイントの差がみられた。
- ・居住年数別では、10年未満と10年以上ともに『住みやすい』が『住みにくい』を上回っており、10年未満85.1%、10年以上89.1%と、10年以上が10年未満に比べて4.0ポイント高い結果となった。



(4)松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じるか

問11 松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じますか。(○は3つまで)

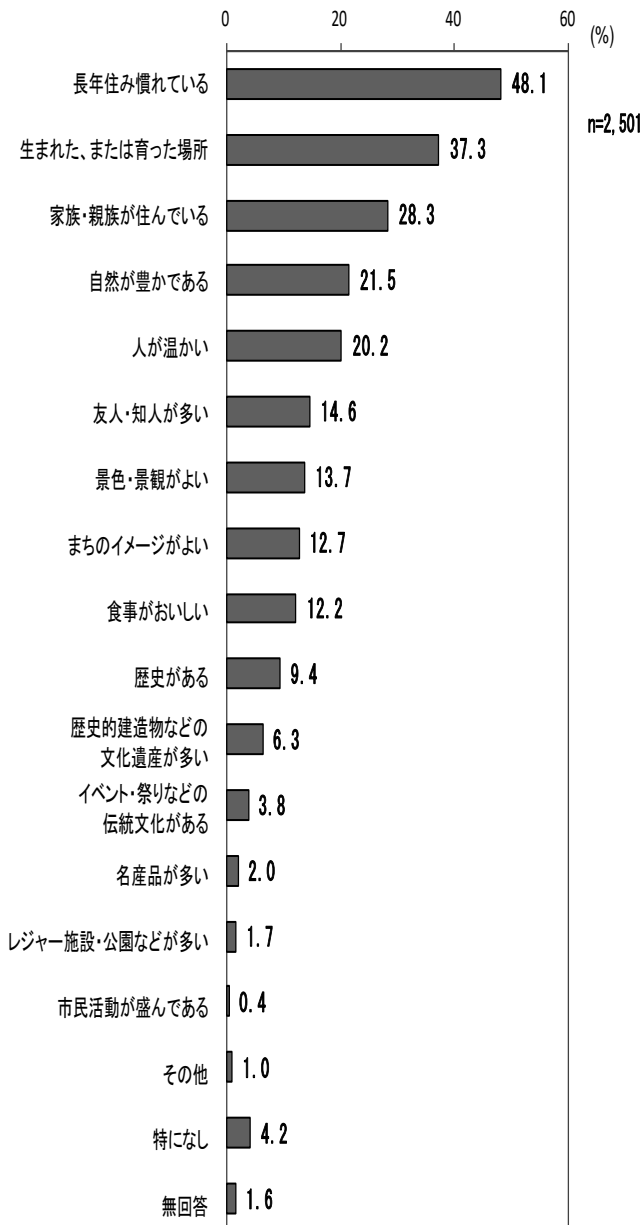
- ・全体結果では、「長年住み慣れている」が48.1%と最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」37.3%、「家族・親族が住んでいる」28.3%、「自然が豊かである」21.5%、「人が温かい」20.2%であった。

(5)松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じにくいのか

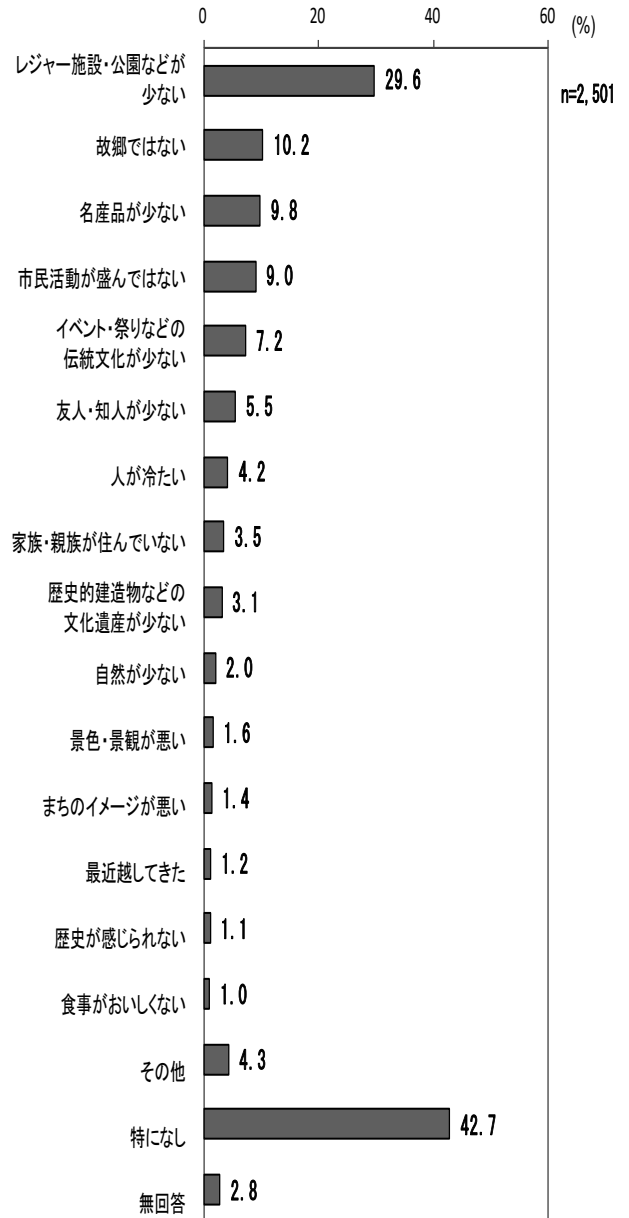
問12 松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じにくいですか。(○は3つまで)

- ・全体結果では、「特になし」42.7%を除くと、「レジャー施設・公園などが少ない」が29.6%と最も高く、次いで「故郷ではない」10.2%、「名産品が少ない」9.8%、「市民活動が盛んではない」9.0%であった。

【問11】



【問12】



(6)松山市に愛着や誇りを感じるか

問13 松山市に愛着や誇りを感じますか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「まあまあ感じる」が48.8%と最も高く、次いで「感じる」28.1%と続き、合わせて『感じる』が76.9%となっている。
- ・性別では、男女ともに『感じる』が『感じない』（「感じない」と「あまり感じない」を合わせた割合）を上回っており、男性75.6%、女性79.5%となっている。女性の『感じる』が男性の回答を3.9ポイント上回っている。
- ・年齢別では、すべての年代で『感じる』が『感じない』を上回っており、『感じる』の割合が最も高い70歳以上83.6%と、最も低い30歳代66.7%では、16.9ポイントの差がみられた。
- ・地域別では、すべての地域で『感じる』が『感じない』を上回っており、特に第6ブロック、第7ブロックは8割を超えている。『感じる』の割合が最も高い第6ブロック81.0%と、最も低い第1ブロック73.6%では、7.4ポイントの差がみられた。
- ・居住経験別では、すべての居住経験で『感じる』が『感じない』を上回っており、特に生まれてからずっと松山市に居住しているは8割を超えている。『感じる』の割合が最も高い、生まれてからずっと松山市に居住している82.6%と、松山市外出身で、転入してきた（Iターン）71.9%では、10.7ポイントの差がみられた。
- ・居住年数別では、10年未満、10年以上ともに『感じる』が『感じない』を上回っており、10年未満55.3%、10年以上78.9%と、10年以上が10年未満に比べて23.6ポイント高い結果であった。

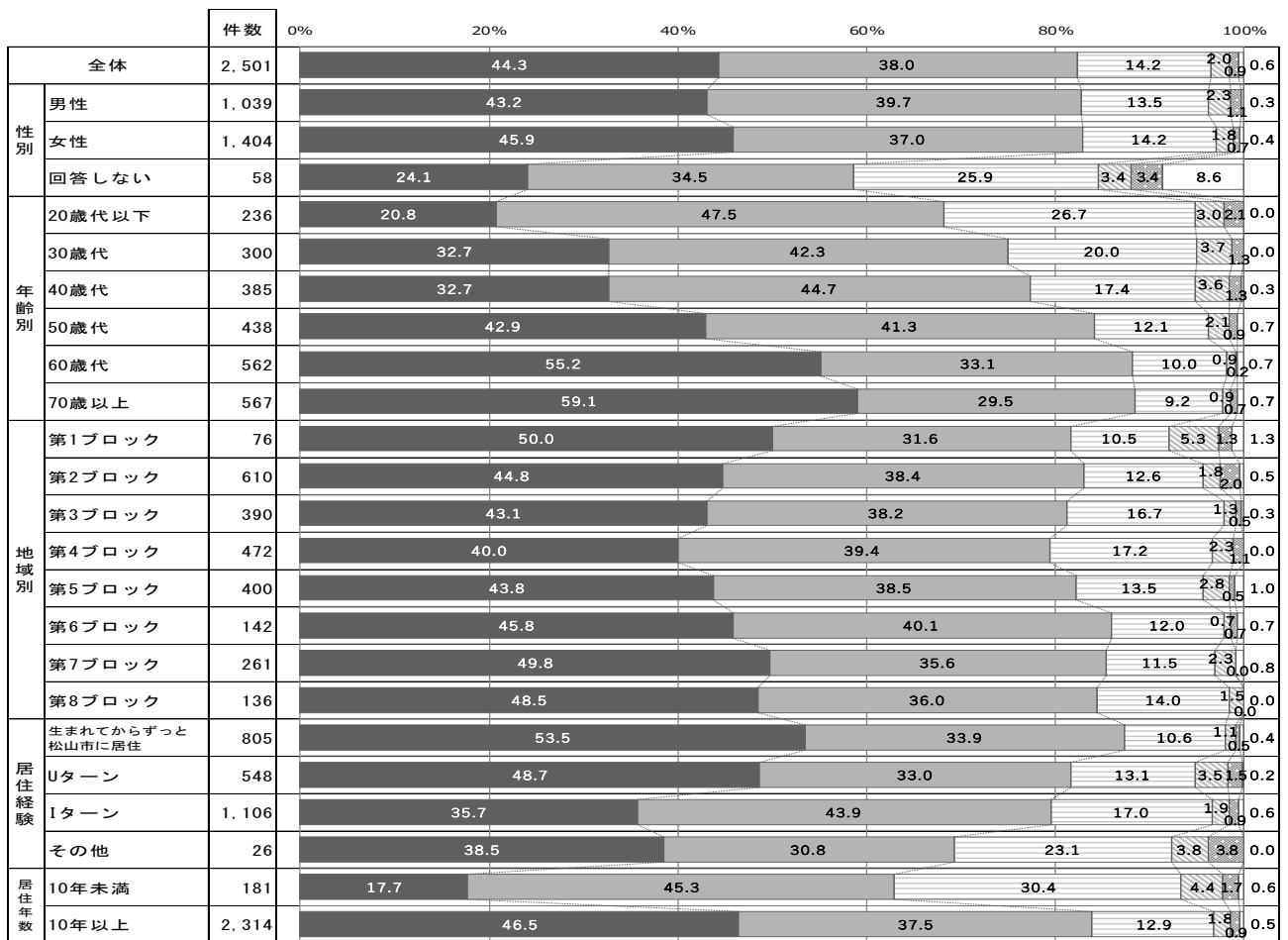
	件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
全体	2,501		28.1	48.8	17.0	4.0	0.8
性別	男性	1,039	27.7	47.9	17.4	4.6	0.4
	女性	1,404	29.1	50.4	15.7	3.3	0.8
	回答しない	58	13.8	27.6	39.7	6.9	5.2
年齢別	20歳代以下	236	23.3	51.3	19.9	3.8	0.0
	30歳代	300	20.0	46.7	25.0	6.0	0.3
	40歳代	385	23.6	47.5	20.8	5.5	0.3
	50歳代	438	30.8	45.9	16.7	5.0	0.9
	60歳代	562	29.4	52.3	13.9	2.3	0.9
	70歳以上	567	34.6	49.0	12.2	2.5	0.7
	地域別	第1ブロック	76	28.9	44.7	17.1	2.6
第2ブロック		610	27.0	48.5	17.9	4.3	0.8
第3ブロック		390	30.0	49.7	15.4	4.1	0.3
第4ブロック		472	28.8	46.6	17.4	5.5	0.4
第5ブロック		400	25.0	51.0	18.5	2.8	1.0
第6ブロック		142	26.8	54.2	15.5	1.4	0.7
第7ブロック		261	31.8	48.7	14.6	3.8	0.8
第8ブロック		136	28.7	48.5	18.4	2.2	0.7
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住	805	36.3	46.3	13.7	2.5	0.4
	Iターン	548	32.5	47.4	14.6	3.6	0.5
	Iターン	1,106	20.5	51.4	20.4	5.1	1.0
	その他	26	11.5	53.8	26.9	3.8	0.0
居住年数	10年未満	181	10.5	44.8	30.9	7.7	1.7
	10年以上	2,314	29.6	49.3	15.9	3.6	0.6

■感じる ■まあまあ感じる □どちらともいえない □あまり感じない ■感じない □無回答

(7) 今後も松山市に住みたいか

問14 あなたは、今後も松山市に住みたいです。 (○は1つ)

- ・全体結果では、「ずっと住みたい」が44.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みたい」38.0%と続き、合わせて『住みたい』が82.3%となっている。
- ・性別では、男女ともに『住みたい』が『住みたくない』(「住みたくない」と「あまり住みたくない」を合わせた割合)を上回っており、男女ともに82.9%となっている。
- ・年齢別では、すべての年代で『住みたい』が『住みたくない』を上回っており、50歳以上は8割を超えている。『住みたい』の割合が最も高い70歳以上88.6%と、最も低い20歳代以下68.3%では、20.3ポイントの差がみられた。
- ・地域別では、すべての地域で『住みたい』が『住みたくない』を上回っており、第4ブロックを除く地域で8割を超えている。『住みたい』の割合が最も高い第6ブロック85.9%と、最も低い第4ブロック79.4%では、6.5ポイントの差がみられた。
- ・居住経験別では、すべての居住経験で『住みたい』が『住みたくない』を上回っている。『住みたい』の割合が最も高い、生まれてからずっと松山市に居住している87.4%と、松山市外出身で、転入してきた(Iターン)79.6%では、7.8ポイントの差がみられた。
- ・居住年数別では、10年未満、10年以上ともに『住みたい』が『住みたくない』を上回っており、10年未満63.0%、10年以上84.0%と、10年以上が10年未満を21.0ポイント上回る結果であった。



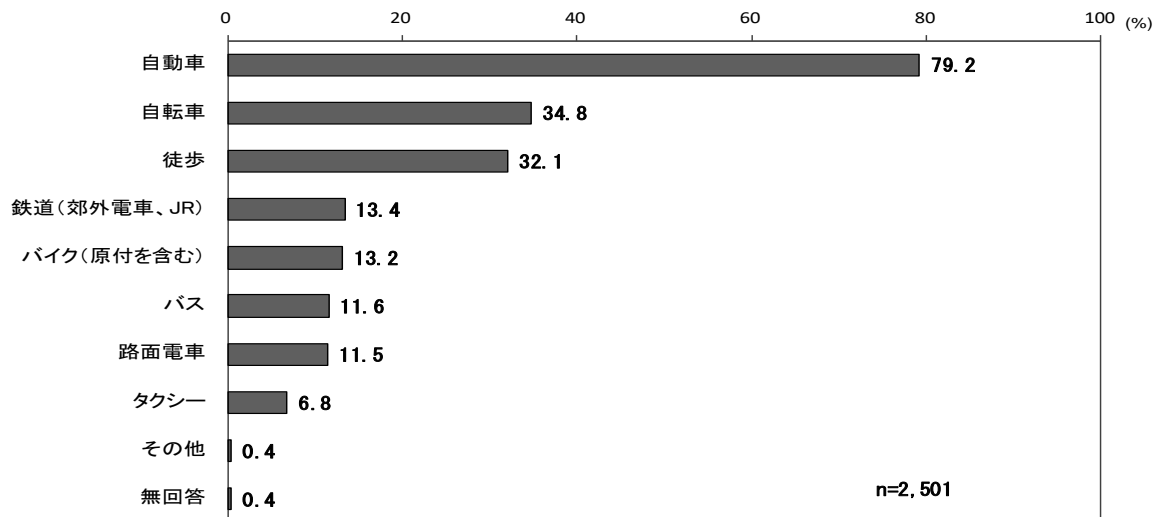
■ ずっと住みたい
 □ どちらともいえない
 ■ 住みたくない
 ■ どちらかといえば住みたい
 □ どちらかといえば住みたくない
 □ 無回答

3. 生活について

(1) 日常によく使う交通手段

問15 あなたが日常によく使う交通手段について、あてはまるものを選択肢の中からすべて選んでください。(〇はいくつでも)

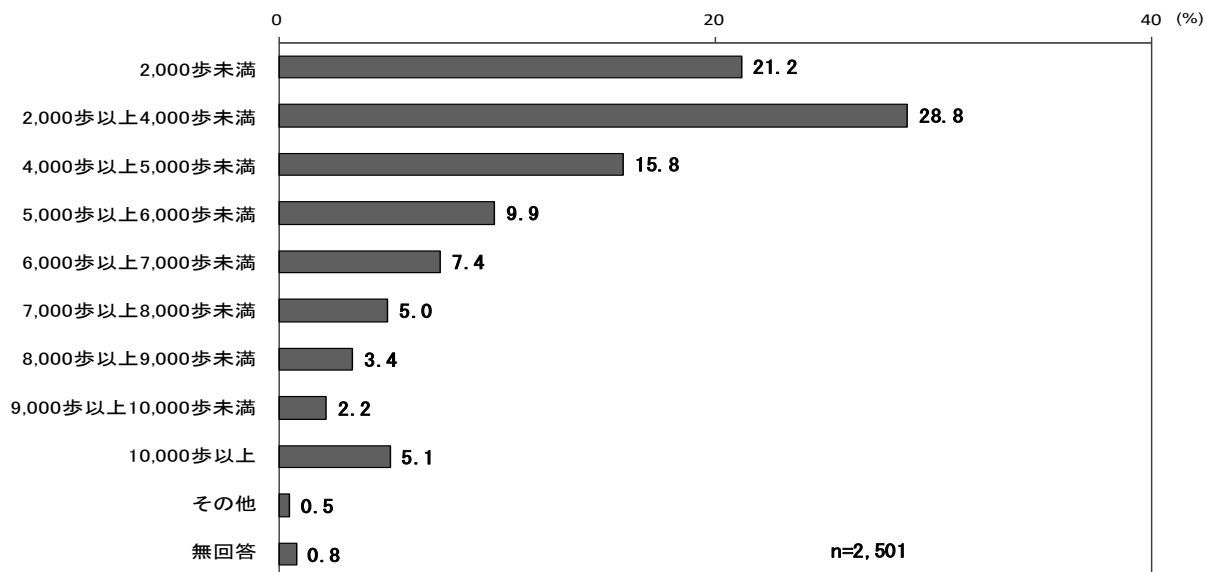
- ・全体結果では、「自動車」が79.2%と最も高く、次いで「自転車」34.8%、「徒歩」32.1%、「鉄道（郊外電車、JR）」13.4%、「バイク（原付を含む）」13.2%、「バス」11.6%、「路面電車」11.5%、「タクシー」6.8%となっている。



(2) 平均的な1日の歩数

問16 あなたの平均的な1日の歩数はどのくらいですか。(測定できない方は、「10分歩くと約1,000歩」を目安に選択してください。)(〇は1つ)

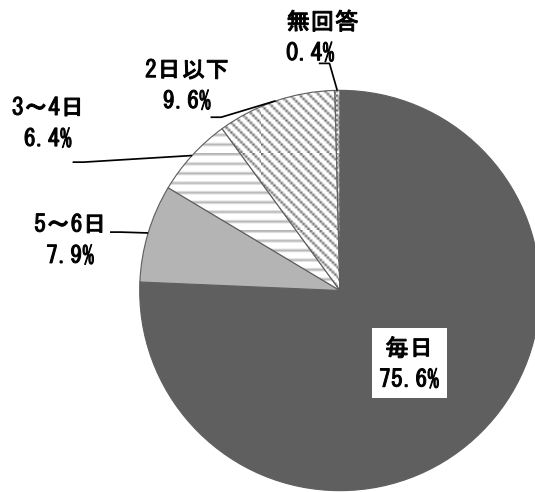
- ・全体結果では、「2,000歩以上4,000歩未満」が28.8%と最も高く、次いで「2,000歩未満」21.2%、「4,000歩以上5,000歩未満」15.8%となっている。5,000歩未満が65.8%と全体の6割を占める結果であった。



(3)1週間あたりの朝食を食べる日数

問17 あなたは、朝食を食べる日が1週間に何日ありますか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「毎日」が75.6%と最も高く、次いで「2日以下」9.6%、「5～6日」7.9%、「3～4日」6.4%となっている。

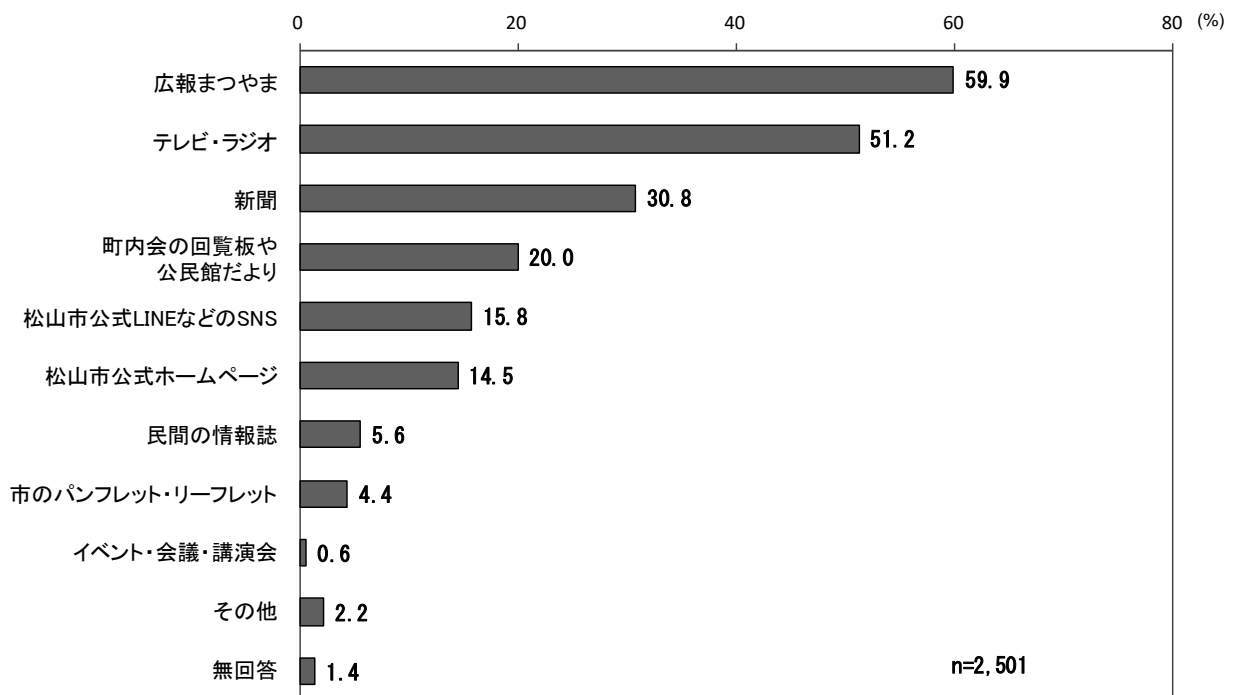


n=2,501

(4)松山市の市政に関する情報を主にどこから得ているか

問18 あなたは、松山市の市政に関する情報を主にどこから得ていますか。(○は3つまで)

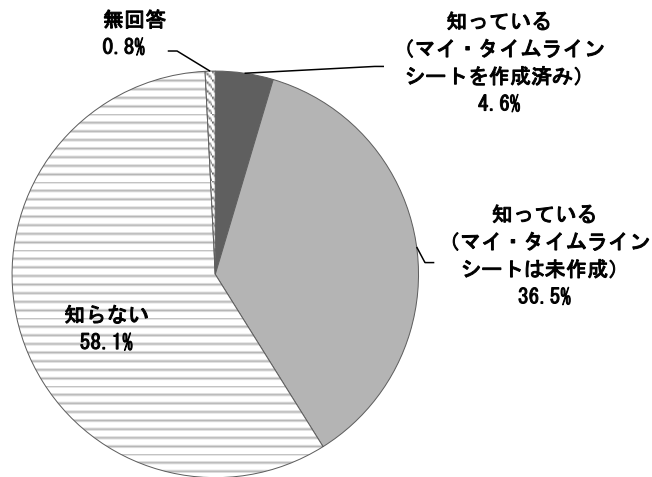
- ・全体結果では、「広報まつやま」が59.9%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」51.2%、「新聞」30.8%、「町内会の回覧板や公民館だより」20.0%、「松山市公式LINEなどのSNS」15.8%、「松山市公式ホームページ」14.5%となっている。



(5)マイ・タイムラインを知っているか

問19 あなたは、マイ・タイムライン（災害に備えて自分や家族がとるべき行動をあらかじめ決めた防災行動）を知っていますか。（○は1つ）

- ・全体結果では、「知らない」が58.1%と最も高く、次いで「知っている（マイ・タイムラインシートは未作成）」36.5%、「知っている（マイ・タイムラインシートを作成済み）」4.6%と続き、未作成と作成済みを合わせた『知っている』が41.1%と「知らない」より17.0ポイント低い結果であった。



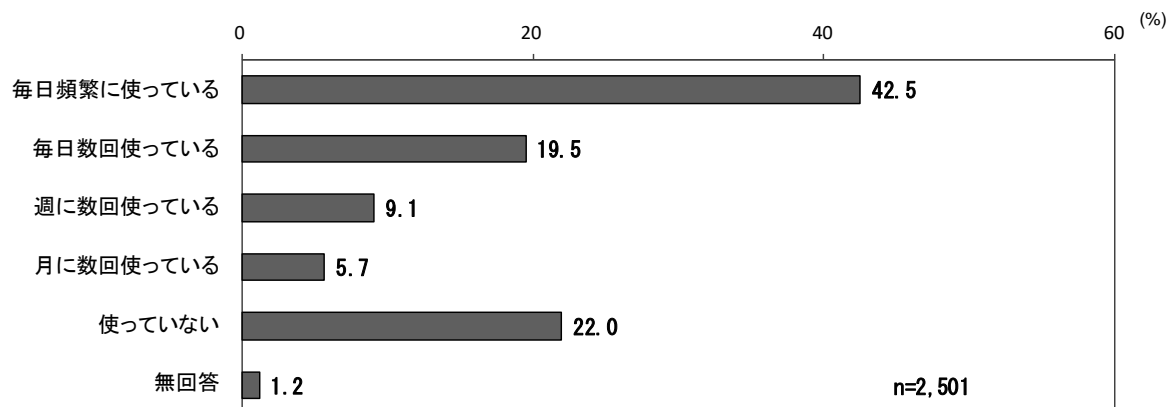
n=2,501

4. デジタルの活用について

(1)仕事や家事・学業の場面でのインターネットの利用頻度

問20 あなたの仕事や家事・学業の場面でのインターネットの利用頻度について、あてはまるものを選択肢の中から1つ選んでください。（○は1つ）

- ・全体結果では、「毎日頻繁に使っている」が42.5%と最も高く、次いで「使っていない」22.0%、「毎日数回使っている」19.5%、「週に数回使っている」9.1%、「月に数回使っている」5.7%となっている。『使っている』（「毎日頻繁に使っている」、「毎日数回使っている」、「週に数回使っている」、「月に数回使っている」を合わせた割合）は76.8%と大半を占める結果であった。

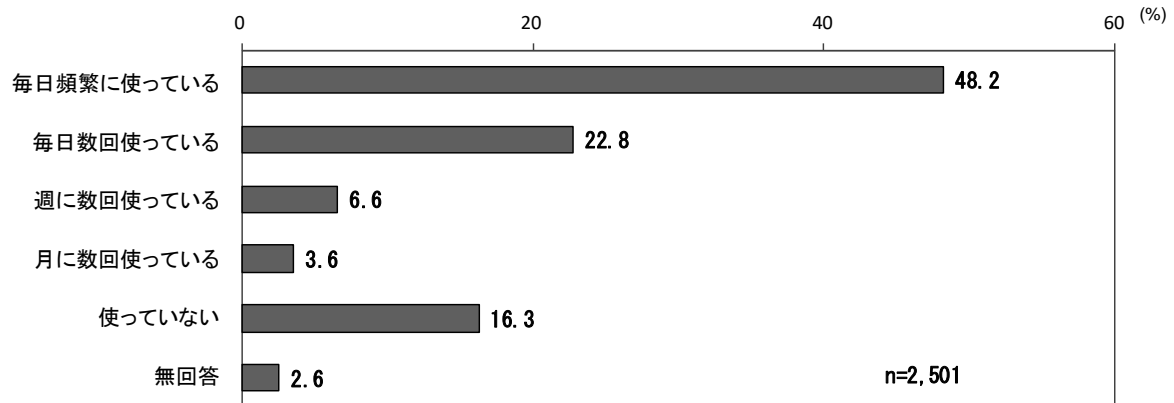


n=2,501

(2)プライベートでのインターネットの利用頻度

問21 あなたのプライベート（仕事や家事・学業の場面を除く時間）でのインターネットの利用頻度について、あてはまるものを選択肢の中から1つ選んでください（○は1つ）

- ・全体結果では、「毎日頻繁に使っている」が48.2%と最も高く、次いで「毎日数回使っている」22.8%、「使っていない」16.3%、「週に数回使っている」6.6%、「月に数回使っている」3.6%となっている。『使っている』（「毎日頻繁に使っている」、「毎日数回使っている」、「週に数回使っている」、「月に数回使っている」を合わせた割合）は81.2%と大半を占める結果であった。

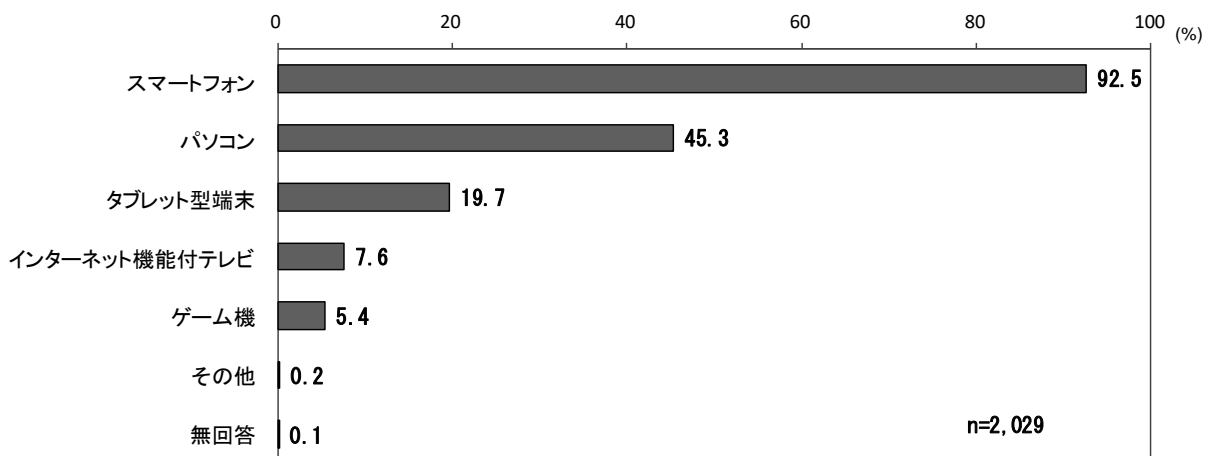


(3)プライベートでインターネットを利用するとき使用する機器

<問21で1～4「使っている」とお答えの方のみ>

問22 あなたがプライベートでインターネットを利用するとき使用する機器について、あてはまるものを選択肢の中から選んでください。（○はいくつでも）

- ・全体結果では、「スマートフォン」が92.5%と最も高く、次いで「パソコン」45.3%、「タブレット型端末」19.7%、「インターネット機能付テレビ」7.6%と続いた。

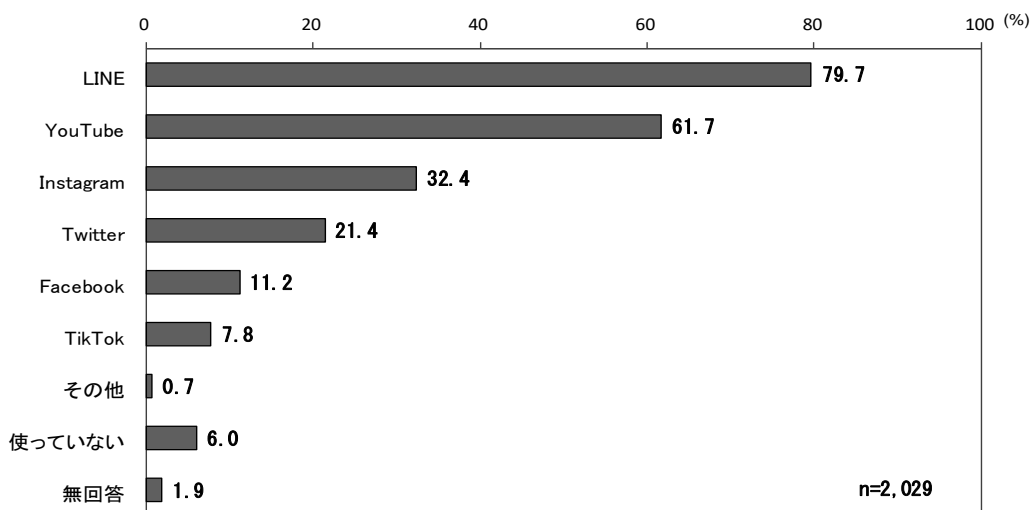


(4)よく利用するSNS

＜問21で1～4「使っている」とお答えの方のみ＞

問23 あなたがよく利用するSNSについて、あてはまるものを選択肢の中から選んでください。（〇はいくつでも）

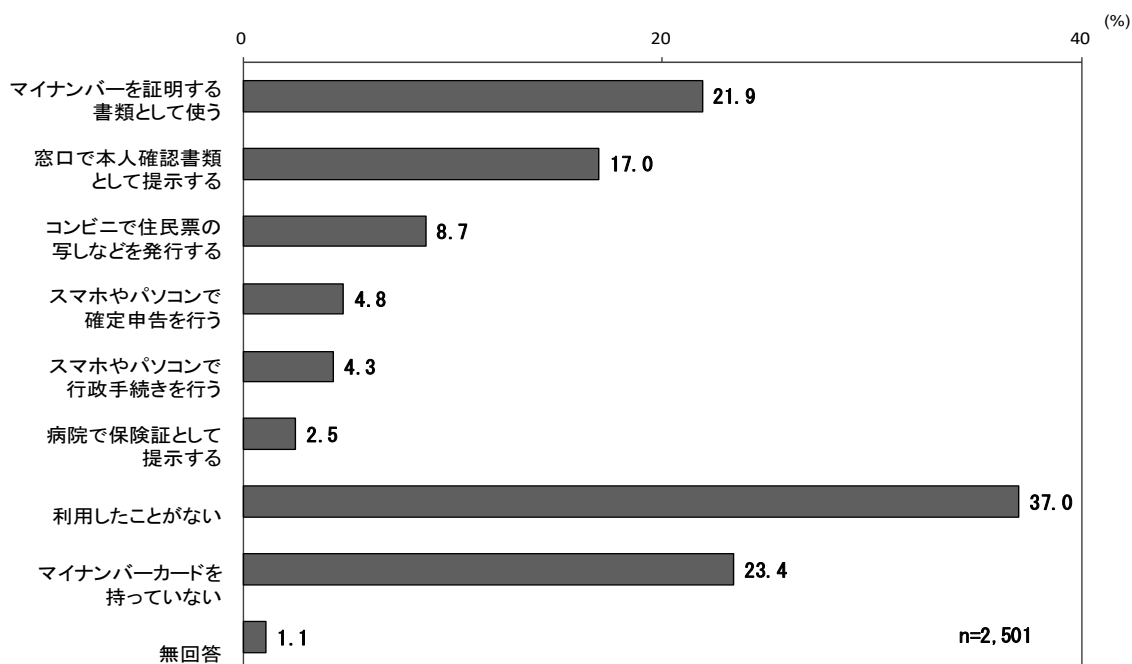
- ・全体結果では、「LINE」が79.7%と最も高く、次いで「YouTube」61.7%、「Instagram」32.4%、「Twitter」21.4%、「Facebook」11.2%、「TikTok」7.8%となっている。



(5)マイナンバーカードの利用状況

問24 あなたは、どのような場面でマイナンバーカードを利用したことがありますか。（〇はいくつでも）

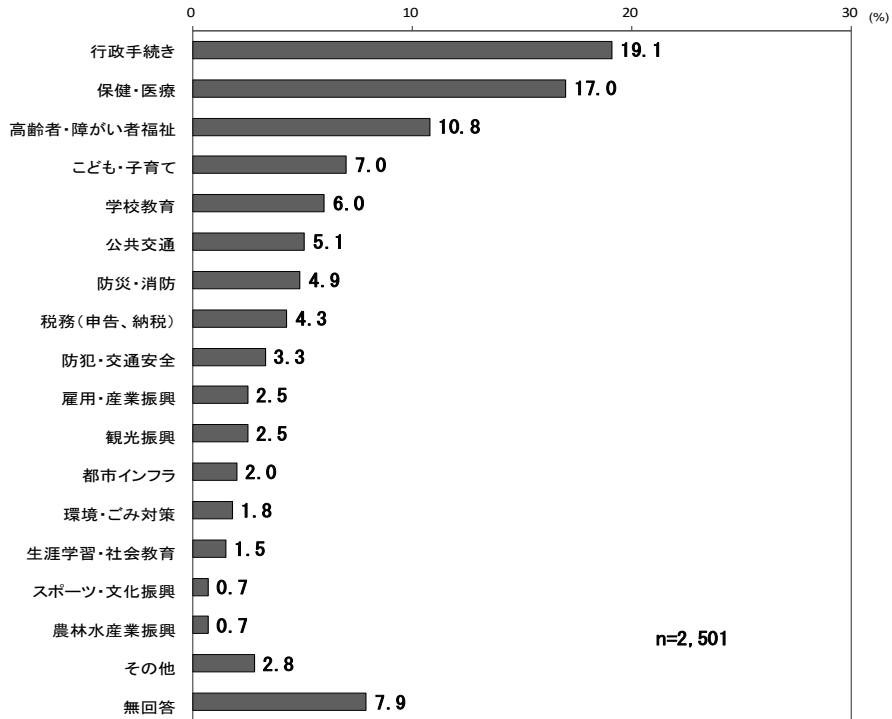
- ・全体結果では、「利用したことがない」が37.0%と最も高く、次いで「マイナンバーカードを持っていない」23.4%と続いた。マイナンバーカードを利用したことがある方の中では、「マイナンバーを証明する書類として使う」が21.9%と最も高く、次いで「窓口で本人確認書類として提示する」17.0%、「コンビニで住民票の写しなどを発行する」8.7%となっている。



(6) デジタル化が進むことを特に期待する分野

問25 松山市の取り組みの中で、デジタル化が進むことを特に期待する分野について、選択肢の中から選んでください。(〇は1つ)

・全体結果では、「行政手続き」が19.1%と最も高く、次いで「保健・医療」17.0%、「高齢者・障がい者福祉」10.8%、「こども・子育て」7.0%となっている。

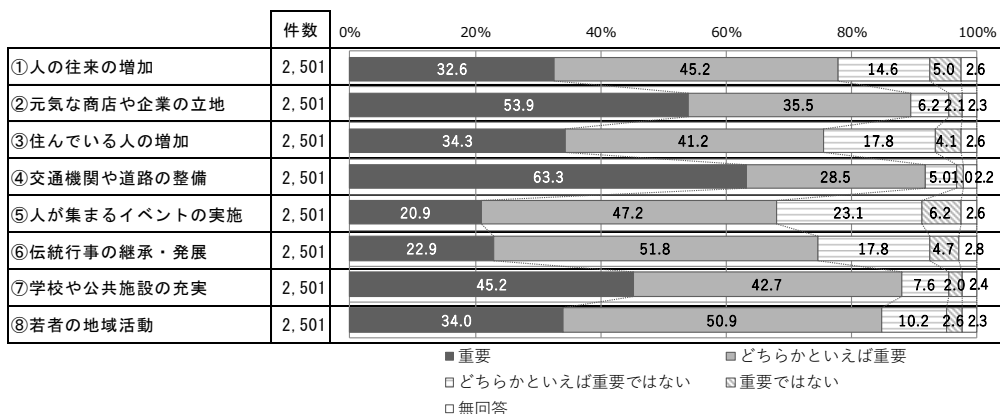


5. 地域のまちづくりについて

(1) 地域活性化のために重要なこと

問26 あなたが住んでいる地域が活性化していくために、以下の項目について、重要度を選んでください。(①から⑧の項目ごとに〇は1つ)

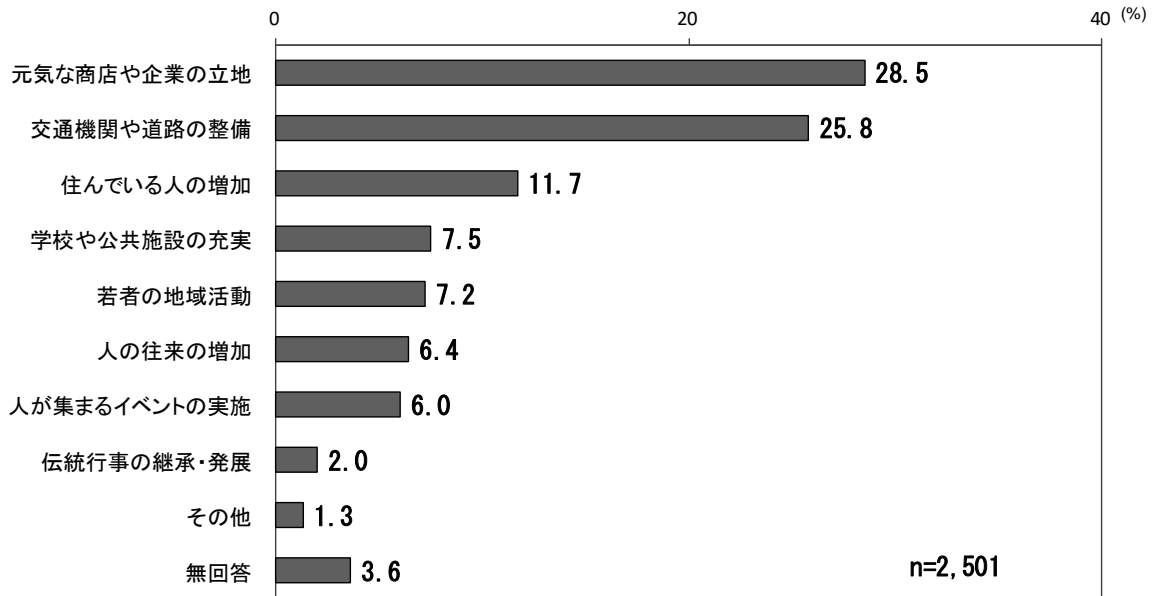
・全体結果では、『重要である』(「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた割合)では「④交通機関や道路の整備」(91.8%)が最も高く、次いで「②元気な商店や企業の立地」(89.4%)、「⑦学校や公共施設の充実」(87.9%)、「⑧若者の地域活動」(84.9%)と続いた。居住地域が活性化していくために重要なこととして、9割を超える方が交通機関や道路の整備を挙げている。



(2)地域活性化のために、特に優先して取り組むべきこと

問27 あなたが住んでいる地域が活性化していくために、特に優先して取り組むべきことは何だと思いますか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「元気な商店や企業の立地」が28.5%と最も高く、次いで「交通機関や道路の整備」25.8%、「住んでいる人の増加」11.7%、「学校や公共施設の充実」7.5%、「若者の地域活動」7.2%と続いた。

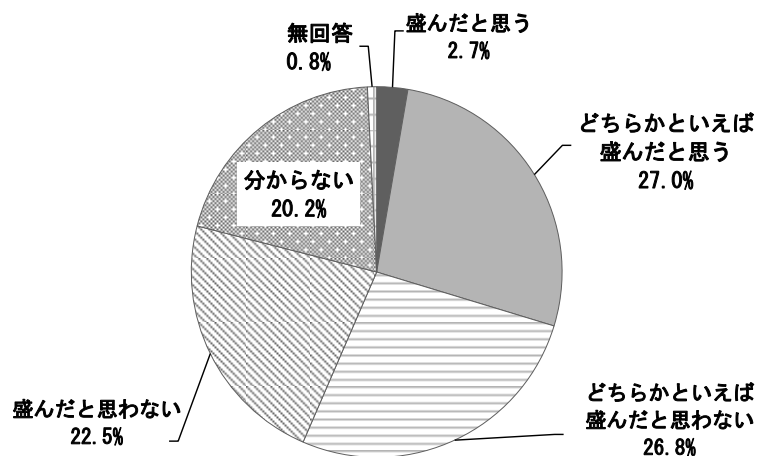


(3)居住地域のまちづくり活動

問28 あなたの住んでいる地域は、まちづくり活動が盛んだと思いますか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「どちらかといえば盛んだと思う」が27.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば盛んだと思わない」26.8%、「盛んだと思わない」22.5%となっている。

『盛んだと思う』（「盛んだと思う」と「どちらかといえば盛んだと思う」を合わせた割合）は29.7%、『盛んだと思わない』（「盛んだと思わない」と「どちらかといえば盛んだと思わない」を合わせた割合）は49.3%となっており、『盛んだと思わない』が19.6ポイント上回る結果であった。

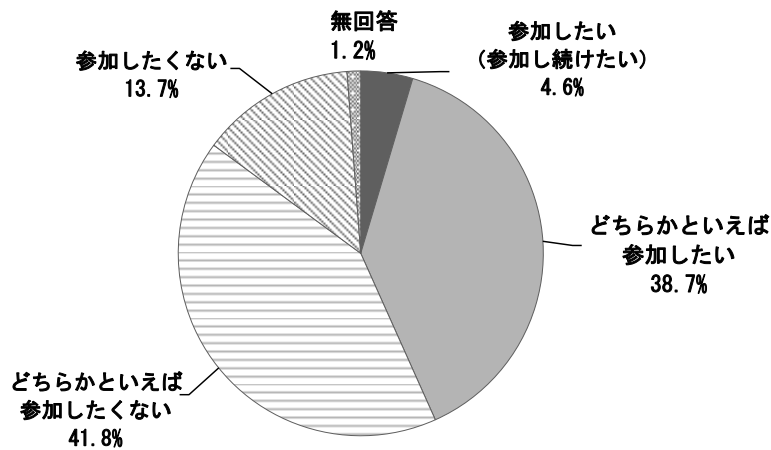


(4)まちづくり活動への参加

問29 あなたは、まちづくり活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「どちらかといえば参加したくない」が41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」38.7%、「参加したくない」13.7%と続いた。

『参加したい』（「参加したい（参加し続けたい）」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合）は43.3%、『参加したくない』（「参加したくない」と「どちらかといえば参加したくない」を合わせた割合）は55.5%となっており、『参加したくない』が12.2ポイント上回る結果であった。

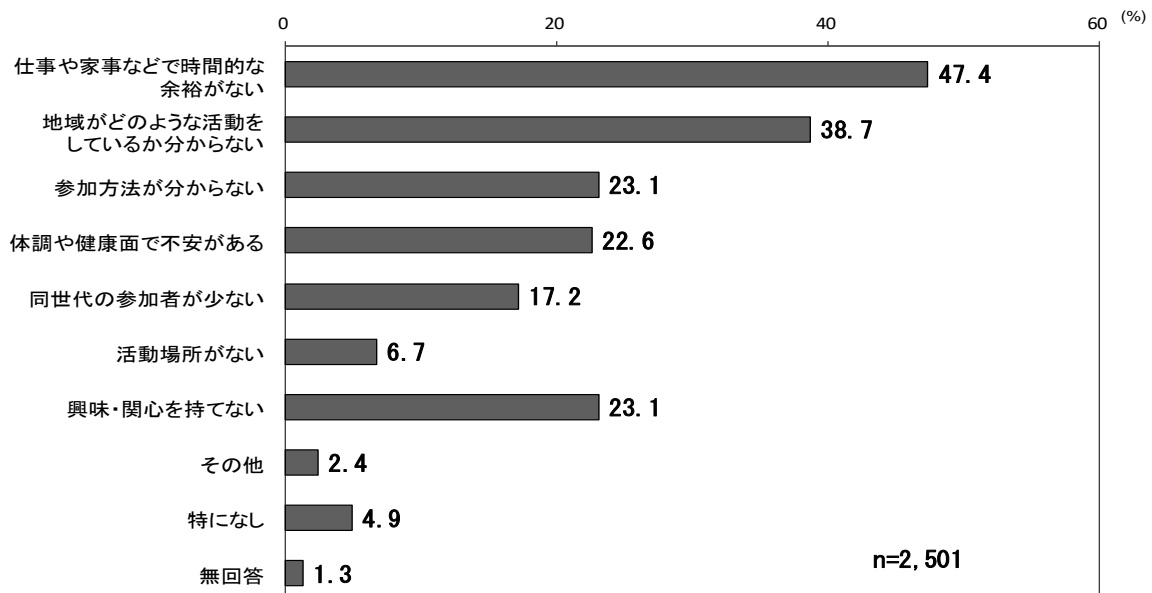


n=2,501

(5)まちづくりに参加する上で、課題や支障になること

問30 まちづくりに参加する上で、課題や支障になることは何ですか。(○は3つまで)

- ・全体結果では、「仕事や家事などで時間的な余裕がない」が47.4%と最も高く、次いで「地域がどのような活動をしているか分からない」38.7%、「参加方法が分からない」「興味・関心を持ってない」はともに23.1%、「体調や健康面で不安がある」22.6%と続いた。



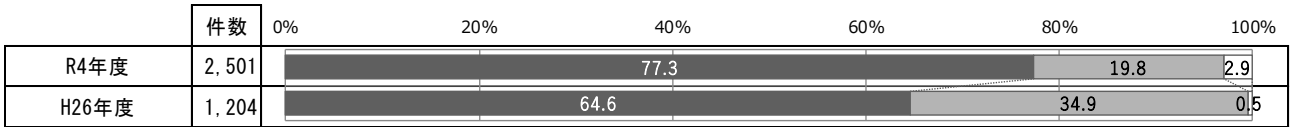
n=2,501

6. 人口減少について

(1) 松山市の将来人口の減少について知っているか

問31 あなたは、松山市の将来人口が減少していることを知っていますか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「知っている」が77.3%、「知らない」19.8%であった。
平成26年度と比較すると、「知っている」は平成26年度の64.6%より12.7ポイント上回る結果であった。

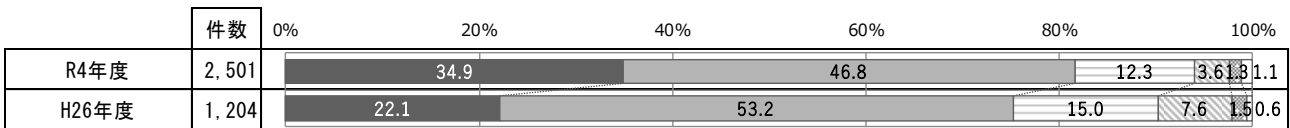


■知っている ■知らない □無回答

(2) 松山市の人口が減少することについて問題であると感じるか

問32 あなたは、松山市の人口が減少することについて、問題であると感じますか。(○は1つ)

- ・全体結果では、「問題であると感じる」が46.8%と最も高く、次いで「深刻な問題であると感じる」34.9%と続き、合わせた『問題であると感じる』は81.7%となっている。
平成26年度と比較すると、『問題であると感じる』は平成26年度の75.3%から6.4ポイント上回る結果であった。

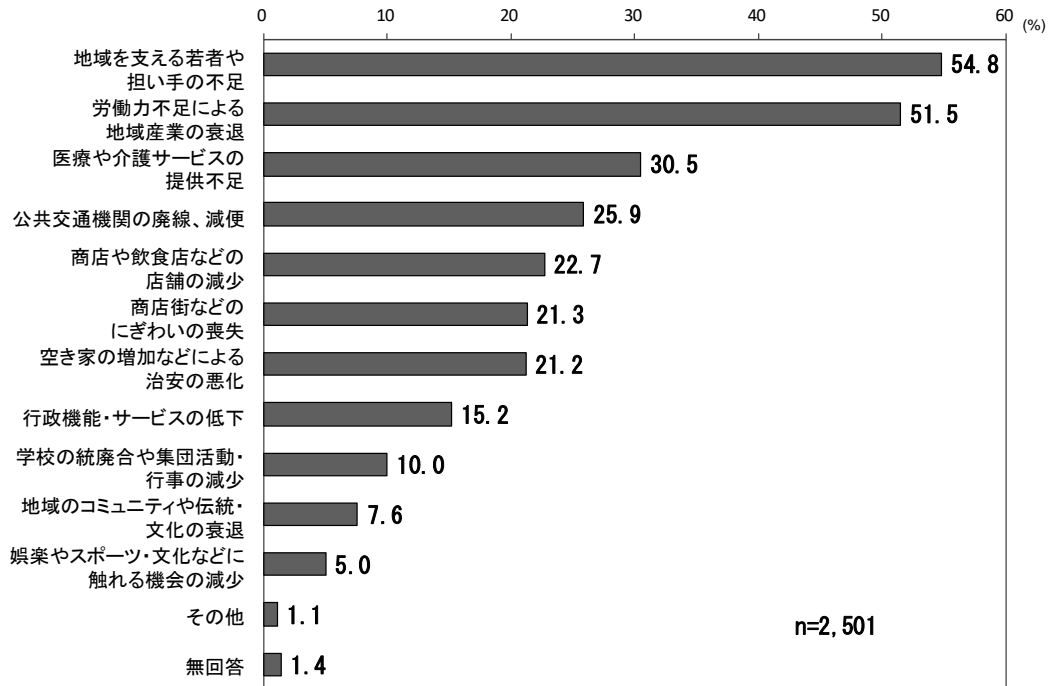


■深刻な問題であると感じる ■問題であると感じる □どちらともいえない
□あまり問題であると感じない ■問題であると感じない □無回答

(3)人口減少が与える影響

問33 あなたは、人口減少が与える影響について、次のうちどれが深刻であると感じますか。
(○は3つまで)

- ・全体結果では、「地域を支える若者や担い手の不足」が54.8%と最も高く、次いで「労働力不足による地域産業の衰退」51.5%、「医療や介護サービスの提供不足」30.5%、「公共交通機関の廃線、減便」25.9%と続いた。

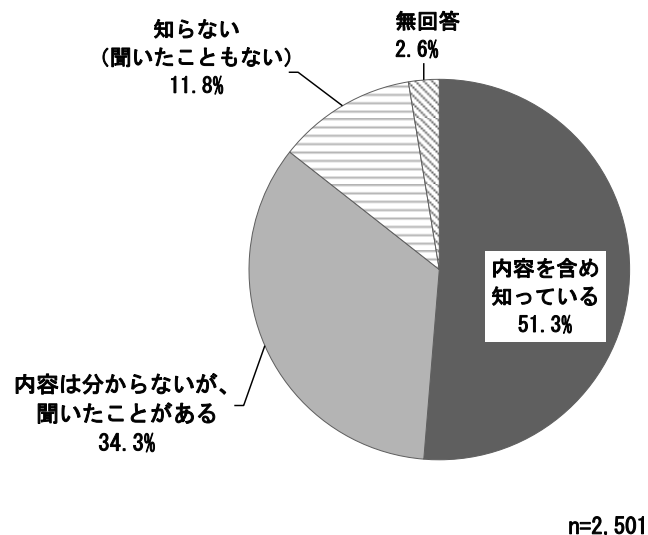


7. SDGs (エスディージーズ) について

(1)SDGsについて知っているか

問34 あなたは、SDGsについて知っていますか。(○は1つ)

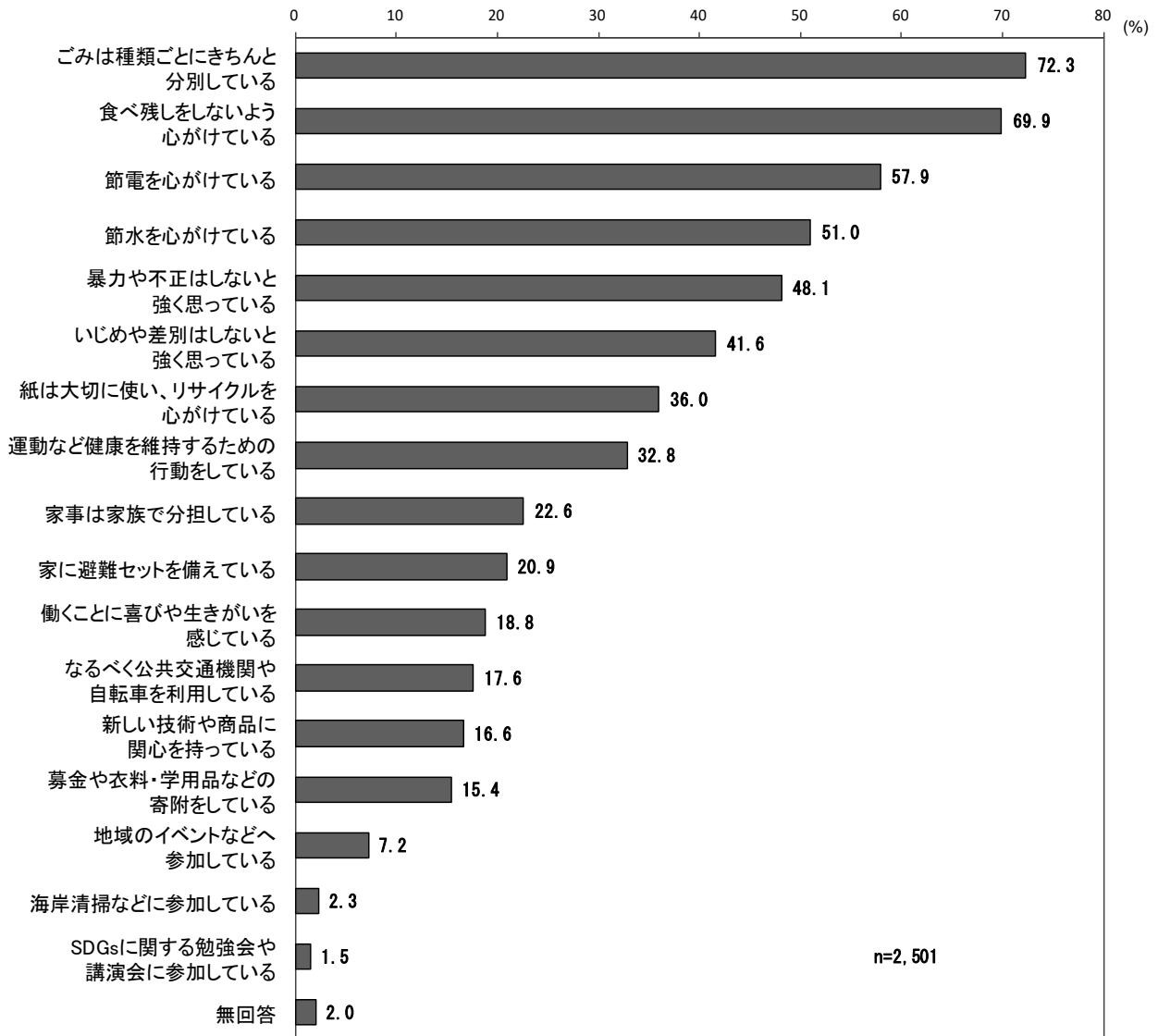
- ・全体結果では、「内容を含め知っている」が51.3%と最も高く、次いで「内容は分からないが、聞いたことがある」34.3%、「知らない(聞いたこともない)」11.8%となっている。



(2)SDGsゴールにつながる行動の実践

問35 SDGsゴールにつながる下記の行動の中で、あなたが実践しているものを選んでください。(〇はいくつでも)

- ・全体結果では、「ごみは種類ごとにきちんと分別している」が72.3%と最も高く、次いで「食べ残しをしないよう心がけている」が69.9%、「節電を心がけている」57.9%、「節水を心がけている」51.0%となっている。

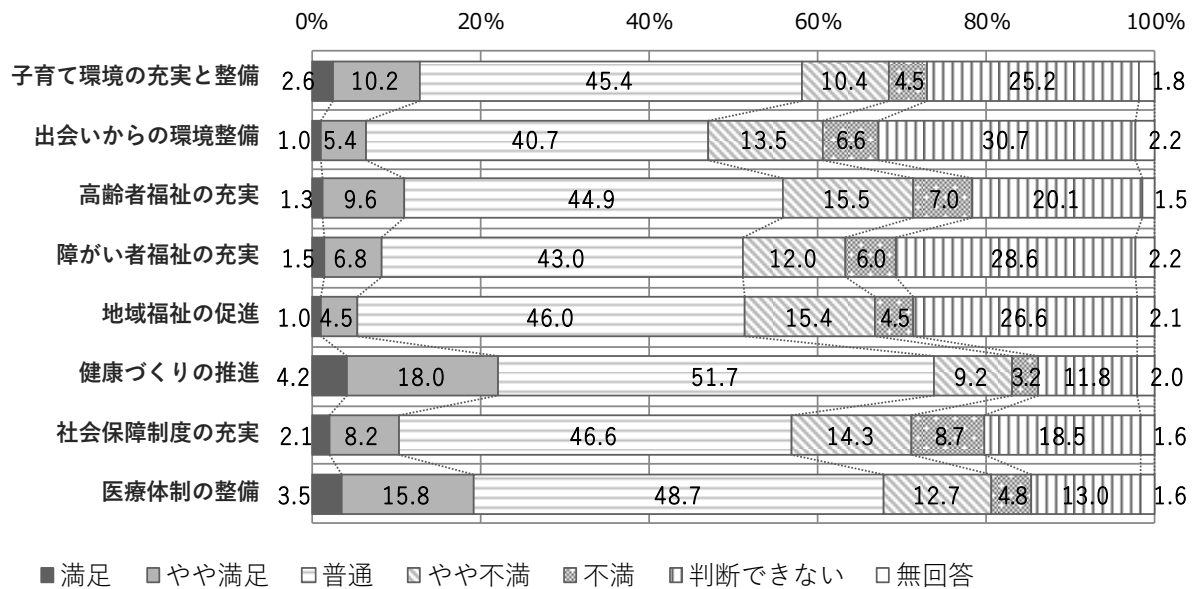


8. 市の取り組んでいる施策の満足度について

問36 松山市では現在、総合計画にまちづくりの基本目標を定め、6分野、43の施策に取り組んでいます。(調査票) 10ページから15ページの施策について、現時点であなたの考える満足度をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

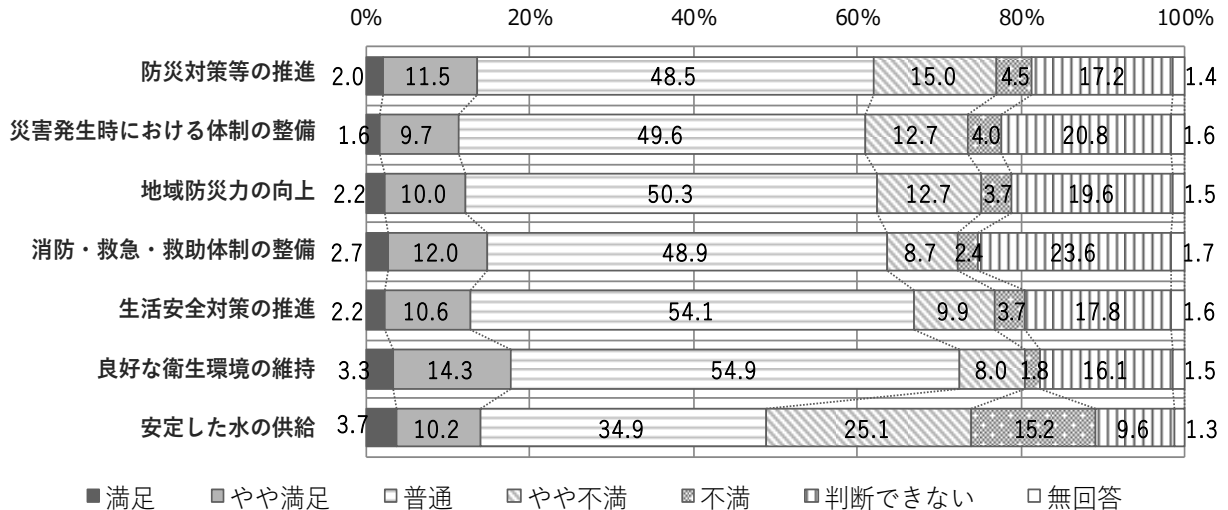
(1) 健康・福祉に関する施策

- ・「健康・福祉」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、4割～5割を占めている。
- ・「判断できない」は「出会いからの環境整備」で30.7%と最も高い。
- ・『満足』(「満足」と「やや満足」を合わせた割合)の割合が高い上位3施策は、「健康づくりの推進」(22.2%)、「医療体制の整備」(19.3%)、「子育て環境の充実と整備」(12.8%)である。
- ・『不満』(「不満」と「やや不満」を合わせた割合)の割合が高い上位3施策は、「社会保障制度の充実」(23.0%)、「高齢者福祉の充実」(22.5%)、「出会いからの環境整備」(20.1%)である。



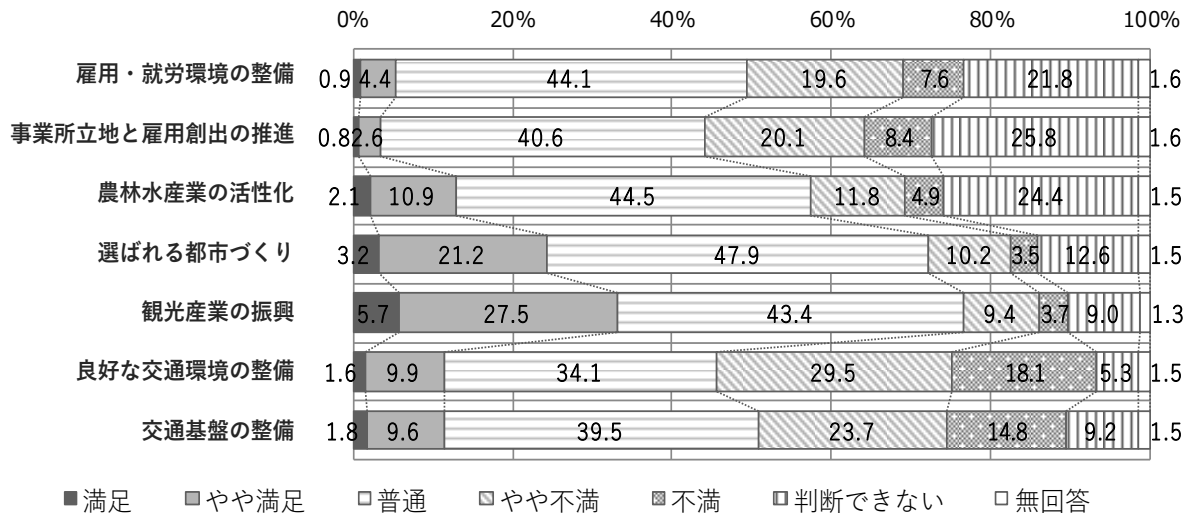
(2) 安全・安心に関する施策

- ・「安全・安心」に関する施策で、満足度は「普通」との評価は「安定した水の供給」が3割半ば、その他の施策では4割～5割を占めている。
- ・「判断できない」は「消防・救急・救助体制の整備」で23.6%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は、「良好な衛生環境の維持」(17.6%)、「消防・救急・救助体制の整備」(14.7%)、「安定した水の供給」(13.9%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は、「安定した水の供給」(40.3%)が4割を超えて特に高く、次いで「防災対策等の推進」(19.5%)、「災害発生時における体制の整備」(16.7%)となった。



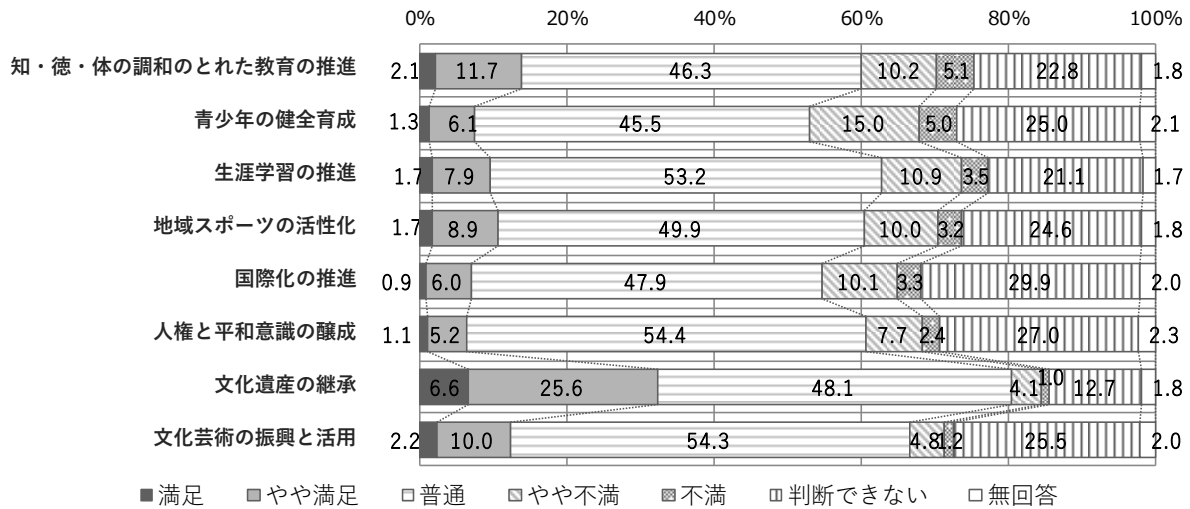
(3) 産業・交流に関する施策

- ・「産業・交流」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、3割～4割を占めている。
- ・「判断できない」は「事業所立地と雇用創出の推進」で25.8%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は、「観光産業の振興」(33.2%)、「選ばれる都市づくり」(24.4%)、「農林水産業の活性化」(13.0%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は、「良好な交通環境の整備」(47.6%)と4割を超えて高く、次いで「交通基盤の整備」(38.5%)、「事業所立地と雇用創出の推進」(28.5%)となった。



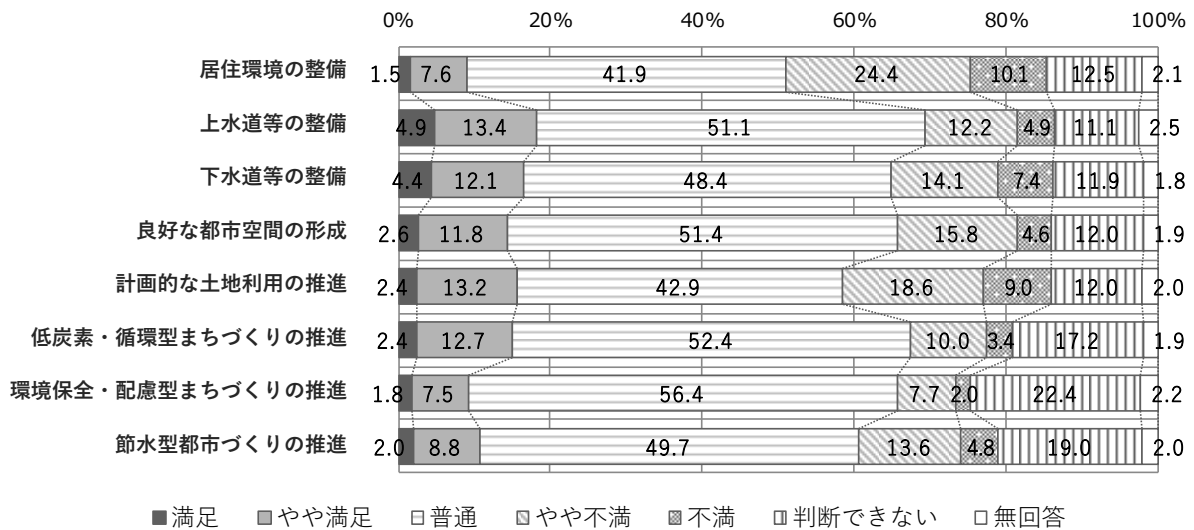
(4) 教育・文化に関する施策

- ・「教育・福祉」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、4割～5割を占めている。
- ・「判断できない」は「国際化の推進」で29.9%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は、「文化遺産の継承」(32.2%)、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」(13.8%)、「文化芸術の振興と活用」(12.2%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は、「青少年の健全育成」(20.0%)、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」(15.8%)、「生涯学習の推進」(14.4%)である。



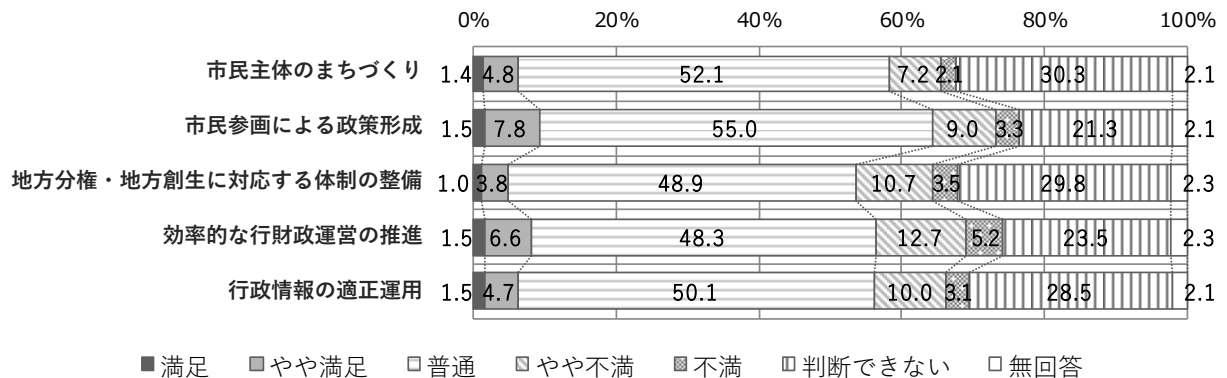
(5) 環境・都市に関する施策

- ・「環境・都市」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、4割～5割を占めている。
- ・「判断できない」は「環境保全・配慮型まちづくりの推進」で22.4%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は、「上水道等の整備」(18.3%)、「下水道等の整備」(16.5%)、「計画的な土地利用の推進」(15.6%)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は、「居住環境の整備」(34.5%)、「計画的な土地利用の推進」(27.6%)、「下水道等の整備」(21.5%)である。



(6) 自治・行政に関する施策

- ・「自治・行政」に関するすべての施策で、満足度は「普通」との評価が、4割～5割を占めている。
- ・「判断できない」は「市民主体のまちづくり」で30.3%と最も高い。
- ・『満足』の割合が高い上位3施策は、「市民参画による政策形成」(9.3%)、「効率的な行財政運営の推進」(8.1%)、「市民主体のまちづくり」「行政情報の適正運用」(6.2%で同率)である。
- ・『不満』の割合が高い上位3施策は、「効率的な行財政運営の推進」(17.9%)、「地方分権・地方創生に対応する体制の整備」(14.2%)、「行政情報の適正運用」(13.1%)である。



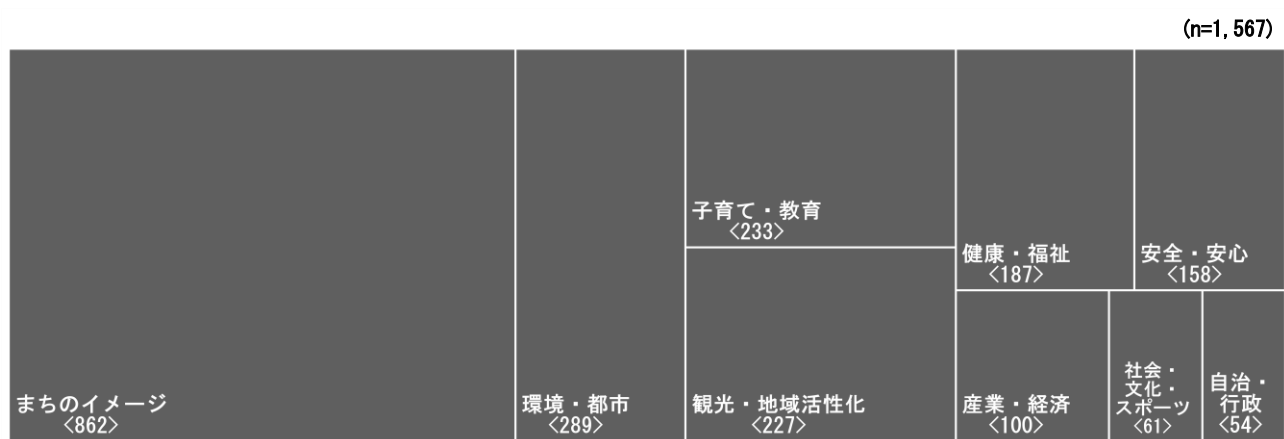
9. これからの松山市について

(1)10年後の松山市の理想の姿をイメージしたキーワード

問37 10年後の松山市について「こんなまちになってほしい!」「こんなまちなら住み続けたい!」という理想の姿をイメージして、1~20文字以内で表現してください。

①全体結果

- ・分野別延べ件数は、「まちのイメージ」(862件)が最も多く、次いで「環境・都市」(289件)、「子育て・教育」(233件)、「観光・地域活性化」(227件)、「健康・福祉」(187件)、「安全・安心」(158件)、「産業・経済」(100件)、「社会・文化・スポーツ」(61件)、「自治・行政」(54件)と続いた。



(※) 1つの回答が複数の分野に該当する場合があります、回答数と各分野の合計とは一致しません。
()内は回答者数の総数、< >内は当該分野に該当する回答の延べ件数を示しています。

②分野別結果

(i)まちのイメージ

- ・分野別キーワード延べ件数は、「住みやすい・働きやすい」(219件)が最も多く、次いで「楽しい・笑顔」(187件)、「優しい・癒し」(172件)、「世代を超える・多様性」(129件)、「明るい・温かい・活気」(121件)、「発展・充実・挑戦」(118件)、「強い・安心」(90件)、「最先端・都会」(57件)、「伝統・田舎」(50件)、「調和・融合」(27件)と続いた。



(※) 1つの回答が複数のキーワードに該当する場合があります、回答数と各キーワードの合計は一致しません。

【 】内は当該キーワードに該当する回答の延べ件数を示しています。

(ii) 子育て・教育

- ・分野別キーワード延べ件数は、「こども・子育てしやすい」(188件)が最も多く、次いで「遊べる」(30件)、「若者に人気」(25件)、「安心」(21件)、「夢が叶う」(16件)、「教育」(9件)と続いた。

<子育て・教育分野：延べ233件>

こども・子育てしやすい 【188】	遊べる 【30】	安心 【21】
	若者に人気 【25】	夢が叶う 【16】
		教育 【9】

(iii) 健康・福祉

- ・分野別キーワード延べ件数は、「高齢者」(137件)が最も多く、次いで「住みやすい・楽しい」(57件)、「充実・優しい」(45件)、「安全・安心」(37件)、「福祉・障がい者」(27件)、「医療・健康」(23件)と続いた。

<健康・福祉分野：延べ187件>

高齢者 【137】	住みやすい・楽しい 【57】	充実・優しい 【45】	安全・安心 【37】	福祉・障がい者 【27】
			医療・健康 【23】	

(iv) 安全・安心

- ・分野別キーワード延べ件数は、「安全・安心」(104件)が最も多く、次いで「防災」(18件)、「交通安全」、「水の心配がない」(ともに12件)、「治安」、「歩行者・自転車・車」(ともに11件)、「動物にやさしい・感染症」(8件)、「高齢者・誰もが」(6件)と続いた。

<安全・安心分野：延べ158件>

安全・安心 【104】	防災 【18】	水の心配がない 【12】	歩行者・自転車・車 【11】	
	交通安全 【12】	治安 【11】	動物にやさしい・感染症 【8】	高齢者・誰もが 【6】

(v) 産業・経済

- ・分野別キーワード延べ件数は、「雇用・労働」(50件)が最も多く、次いで「商業」(34件)、「活気・充実」(28件)、「農業・漁業」(12件)、「若者に人気」(5件)と続いた。

<産業・経済分野：延べ100件>

雇用・労働 【50】	商業 【34】	活気・充実 【28】	農業・漁業 【12】
			若者に人気 【5】

(vi) 観光・地域活性化

- ・分野別キーワード延べ件数は、「若者・定住」(87件)が最も多く、次いで「観光・温泉」(74件)、「交流・共生」(65件)、「優しい・活気」(41件)、「移住」(5件)と続いた。

〈観光・地域活性化分野：延べ227件〉

若者・定住 【87】	観光・温泉 【74】	交流・共生 【65】	優しい・活気 【41】
			移住 【5】

(vii) 社会・文化・スポーツ

- ・分野別キーワード延べ件数は、「文化・文化的」(22件)が最も多く、次いで「歴史・伝統」(20件)、「スポーツ」(11件)、「ジェンダー・平等」(10件)、「俳句・文学」(6件)、「芸術」(4件)、「文化遺産・古い建築」(1件)と続いた。

〈社会・文化・スポーツ分野：延べ61件〉

文化・文化的 【22】	歴史・伝統 【20】	スポーツ 【11】	ジェンダー・平等 【10】	俳句・文学 (6)
			芸術 【4】	文化遺産・古い建築 (1)

(viii) 環境・都市

- ・分野別キーワード延べ件数は、「自然・緑・環境保護」(106件)が最も多く、次いで「公共交通・交通網」(69件)、「利便性・充実・調和」(54件)、「まちなみ・景観」(46件)、「コンパクトシティ」(30件)、「本州・アクセス・新幹線」(27件)、「運転しやすい・道路環境等」(19件)、「車がいない・高齢者」(15件)、「スマートシティ・環境未来都市」(10件)と続いた。

〈環境・都市分野：延べ289件〉

自然・緑・環境保護 【106】	公共交通・交通網 【69】	利便性・充実・調和 【54】	まちなみ・景観 【46】	コンパクトシティ 【30】		本州・アクセス・新幹線 【27】
				運転しやすい・道路環境等 【19】	車がいない・高齢者 【15】	スマートシティ・環境未来都市 【10】

(ix) 自治・行政

- ・分野別キーワード延べ件数は、「行財政運営」(14件)が最も多く、次いで「情報発信・市民参画」(13件)、「人口減少」(12件)、「デジタル化」(10件)、「SDGs」(4件)、「連携」(2件)と続いた。

〈自治・行政分野：延べ54件〉

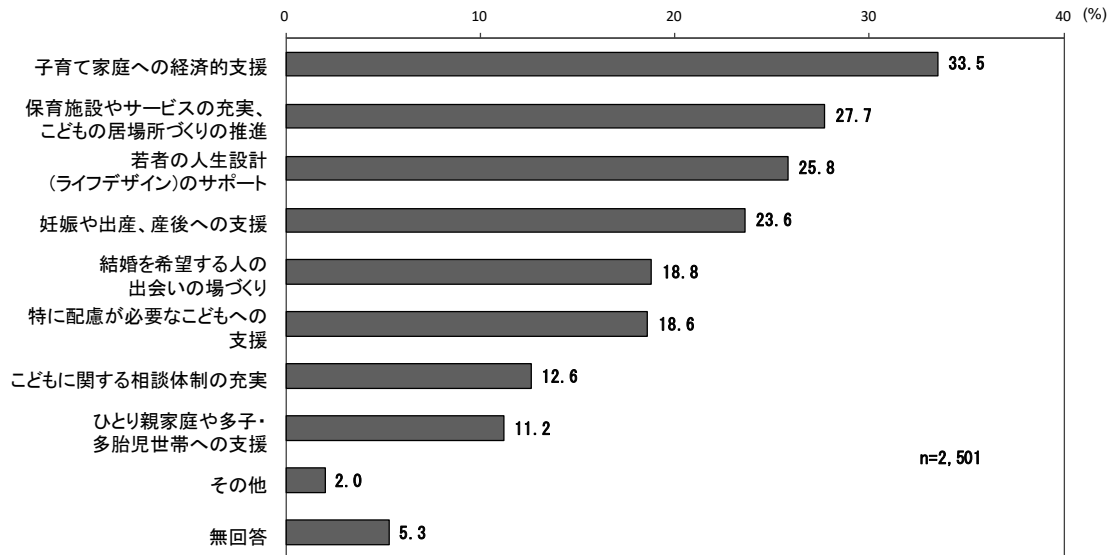
行財政運営 【14】	情報発信・市民参画 【13】	人口減少 【12】	デジタル化 【10】	
			SDGs 【4】	連携 【2】

(2)力を入れるべき取り組み

問38 あなたは、10年後の松山市が理想的なまち（問37でイメージしたまち）になるために、どのような取り組みに力を入れるべきだと考えていますか。①～⑨のテーマごとに2つまで選んでください。（あてはまる番号2つまでに○）

テーマ①子ども・子育て

- ・全体結果では、「子育て家庭への経済的支援」が33.5%と最も高く、次いで「保育施設やサービスの充実、子どもの居場所づくりの推進」27.7%、「若者の人生設計（ライフデザイン）のサポート」25.8%、「妊娠や出産、産後への支援」23.6%となっている。



- ・性別では、男女ともに「子育て家庭への経済的支援」が最も高く、男性37.6%、女性30.7%と男性が6.9ポイント上回る結果であった（女性は「保育施設やサービスの充実、子どもの居場所づくりの推進」と同率）。
- ・年齢別では、30歳代以下は「妊娠や出産、産後への支援」が全体結果より10.0ポイント以上高くなっている。30歳代は「子育て家庭への経済的支援」が55.3%と唯一5割を超えており、他の年代に比べて高い結果であった。

<性別>

(上段:件数 下段%)

		テーマ① 子ども・子育て										
		子育て家庭への経済的支援	保育施設やサービスの充実、 子どもの居場所づくりの推進	若者の人生設計 (ライフデザイン)のサポート	妊娠や出産、産後への支援	結婚を希望する人の 出会いの場づくり	特に配慮が必要な子どもへの 支援	子どもに関する相談体制の充実	ひとり親家庭や 多胎児世帯への支援	その他	無回答	
性別	男性	1,039 -	391 (37.6)	249 (24.0)	286 (27.5)	234 (22.5)	224 (21.6)	146 (14.1)	129 (12.4)	127 (12.2)	24 (2.3)	54 (5.2)
	女性	1,404 -	431 (30.7)	431 (30.7)	349 (24.9)	348 (24.8)	236 (16.8)	307 (21.9)	179 (12.7)	148 (10.5)	20 (1.4)	70 (5.0)
	回答しない	58 -	17 (29.3)	13 (22.4)	10 (17.2)	9 (15.5)	10 (17.2)	12 (20.7)	7 (12.1)	4 (6.9)	7 (12.1)	8 (13.8)

<年齢別>

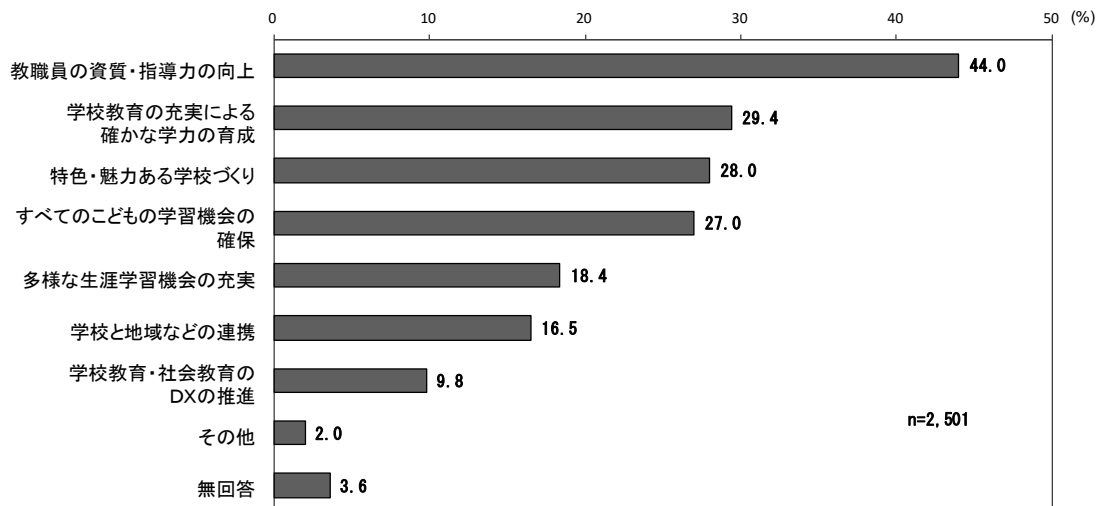
(上段:件数 下段%)

		テーマ① 子育て										
		子育て家庭への経済的支援	保育施設やサービスクリの充実、居場所づくりの推進	若者の人生設計(ライフデザイン)のサポート	妊娠や出産、産後への支援	結婚や出産、産後への支援	出合いの場づくり	結婚を希望する人の	支援に配慮が必要な子どもへの	子どもに関する相談体制の充実	ひとり親家庭や多胎児世帯への支援	その他
年齢別	20歳代以下	236 -	101 (42.8)	47 (19.9)	71 (30.1)	85 (36.0)	40 (16.9)	30 (12.7)	12 (5.1)	24 (10.2)	4 (1.7)	9 (3.8)
	30歳代	300 -	166 (55.3)	71 (23.7)	67 (22.3)	134 (44.7)	35 (11.7)	28 (9.3)	22 (7.3)	34 (11.3)	8 (2.7)	2 (0.7)
	40歳代	385 -	148 (38.4)	108 (28.1)	111 (28.8)	79 (20.5)	56 (14.5)	73 (19.0)	45 (11.7)	41 (10.6)	13 (3.4)	13 (3.4)
	50歳代	438 -	106 (24.2)	119 (27.2)	124 (28.3)	94 (21.5)	82 (18.7)	104 (23.7)	68 (15.5)	51 (11.6)	6 (1.4)	20 (4.6)
	60歳代	562 -	156 (27.8)	180 (32.0)	141 (25.1)	116 (20.6)	116 (20.6)	114 (20.3)	77 (13.7)	60 (10.7)	10 (1.8)	30 (5.3)
	70歳以上	567 -	158 (27.9)	163 (28.7)	131 (23.1)	80 (14.1)	137 (24.2)	115 (20.3)	91 (16.0)	68 (12.0)	10 (1.8)	54 (9.5)
	全体											

(※) 全体の割合より 10 ポイント以上大きい値を**白抜き**、10 ポイント以上小さい値を**斜体字**で示している。

テーマ②教育

- ・全体結果では、「教職員の資質・指導力の向上」が44.0%と最も高く、次いで「学校教育の充実による確かな学力の育成」29.4%、「特色・魅力ある学校づくり」28.0%、「すべてのこどもの学習機会の確保」27.0%となっている。



- ・性別では、男女ともに「教職員の資質・指導力の向上」が最も高く、男性40.5%、女性46.5%と女性が男性より6.0ポイント上回る結果であった。「特色・魅力ある学校づくり」では男性31.2%、女性26.1%と、男性が女性より5.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、40歳代以上は「教職員の資質・指導力の向上」が最も高く、30歳代以下は「学校教育の充実による確かな学力の育成」が最も高くなっている。特に30歳代はその割合が42.3%と全体結果に比べて10.0ポイント以上高い結果であった。

<性別>

(上段:件数 下段%)

		全 体	テーマ② 教育								
			教職員の資質・指導力の向上	確かな学力の育成	特色・魅力ある学校づくり	すべてのこどもの学習機会の確保	多様な生涯学習機会の充実	学校と地域などの連携	D学校の推進	学校教育・社会教育の	その他
性別	男性	1,039 -	421 (40.5)	318 (30.6)	324 (31.2)	251 (24.2)	173 (16.7)	206 (19.8)	121 (11.6)	22 (2.1)	32 (3.1)
	女性	1,404 -	653 (46.5)	396 (28.2)	367 (26.1)	413 (29.4)	276 (19.7)	203 (14.5)	119 (8.5)	25 (1.8)	51 (3.6)
	回答しない	58 -	27 (46.6)	21 (36.2)	9 (15.5)	11 (19.0)	11 (19.0)	3 (5.2)	5 (8.6)	4 (6.9)	6 (10.3)

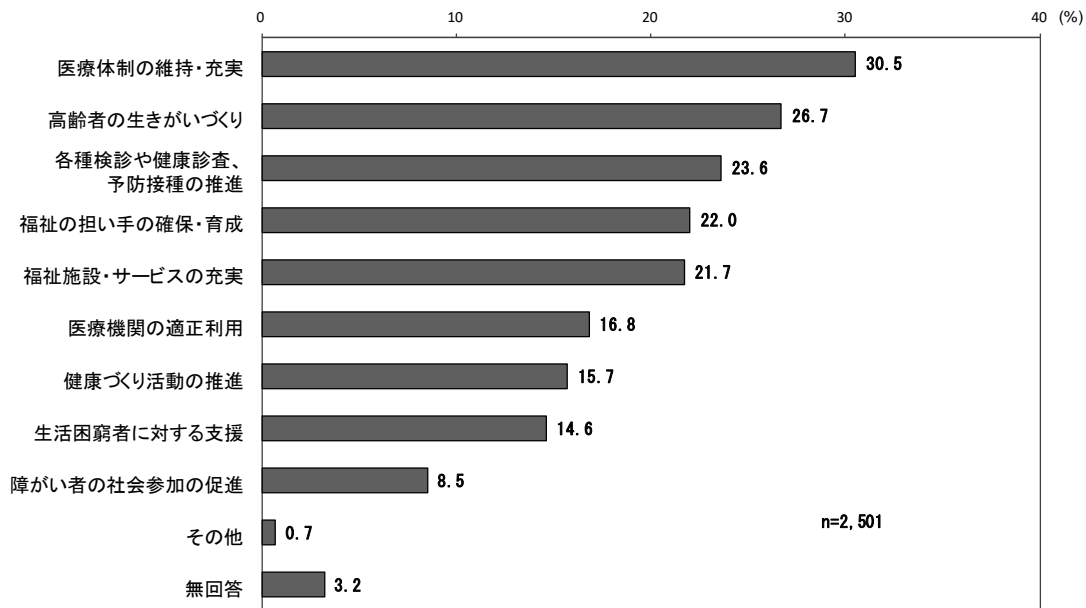
<年齢別>

(上段:件数 下段%)

		全 体	テーマ② 教育								
			教職員の資質・指導力の向上	確かな学力の育成	特色・魅力ある学校づくり	すべてのこどもの学習機会の確保	多様な生涯学習機会の充実	学校と地域などの連携	D学校の推進	学校教育・社会教育の	その他
年齢別	20歳代以下	236 -	85 (36.0)	87 (36.9)	60 (25.4)	60 (25.4)	32 (13.6)	53 (22.5)	23 (9.7)	5 (2.1)	5 (2.1)
	30歳代	300 -	119 (39.7)	127 (42.3)	74 (24.7)	84 (28.0)	54 (18.0)	47 (15.7)	44 (14.7)	5 (1.7)	1 (0.3)
	40歳代	385 -	158 (41.0)	118 (30.6)	102 (26.5)	88 (22.9)	82 (21.3)	73 (19.0)	55 (14.3)	8 (2.1)	11 (2.9)
	50歳代	438 -	199 (45.4)	109 (24.9)	120 (27.4)	128 (29.2)	82 (18.7)	66 (15.1)	44 (10.0)	15 (3.4)	8 (1.8)
	60歳代	562 -	271 (48.2)	147 (26.2)	162 (28.8)	155 (27.6)	107 (19.0)	85 (15.1)	39 (6.9)	12 (2.1)	17 (3.0)
	70歳以上	567 -	266 (46.9)	145 (25.6)	177 (31.2)	157 (27.7)	103 (18.2)	87 (15.3)	38 (6.7)	6 (1.1)	43 (7.6)

テーマ③健康・福祉

- ・全体結果では、「医療体制の維持・充実」が30.5%と最も高く、次いで「高齢者の生きがいがづくり」26.7%、「各種検診や健康診査、予防接種の推進」23.6%、「福祉の担い手の確保・育成」22.0%となっている。



- ・性別では、男女ともに「医療体制の維持・充実」が最も高く、男性29.7%、女性30.7%と女性が男性より1.0ポイント高いものの、あまり差はみられなかった。
- ・年齢別では、50歳代以下は「医療体制の維持・充実」が最も高く、60歳代以上は「高齢者の生きがいがづくり」が最も高くなっている。

<性別>

(上段:件数 下段%)

	性別	全体	テーマ③ 健康・福祉										
			医療体制の維持・充実	高齢者の生きがいがづくり	各種検診や健康診査、 予防接種の推進	福祉の担い手の確保・育成	福祉施設・サービスの充実	医療機関の適正利用	健康づくり活動の推進	生活困窮者に対する支援	障がい者の社会参加の促進	その他	無回答
	男性	1,039	309 (29.7)	290 (27.9)	254 (24.4)	210 (20.2)	214 (20.6)	170 (16.4)	176 (16.9)	157 (15.1)	96 (9.2)	6 (0.6)	29 (2.8)
	女性	1,404	431 (30.7)	373 (26.6)	322 (22.9)	329 (23.4)	318 (22.6)	239 (17.0)	215 (15.3)	199 (14.2)	111 (7.9)	11 (0.8)	43 (3.1)
	回答しない	58	22 (37.9)	5 (8.6)	14 (24.1)	11 (19.0)	11 (19.0)	10 (17.2)	2 (3.4)	9 (15.5)	5 (8.6)	1 (1.7)	8 (13.8)

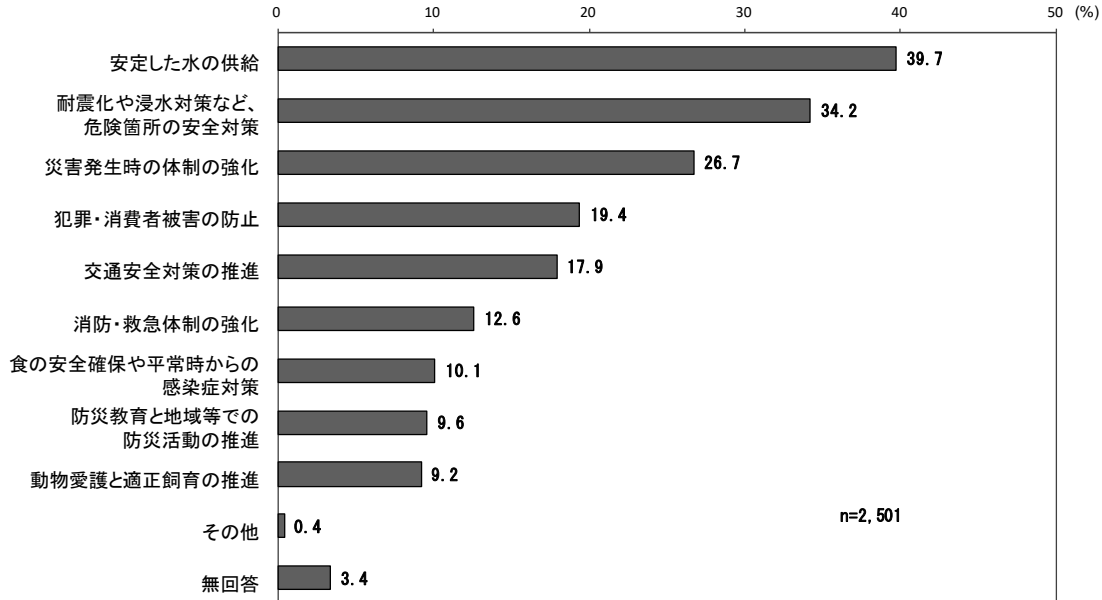
<年齢別>

(上段:件数 下段%)

		テーマ③ 健康・福祉											
全体		医療体制の維持・充実	高齢者の生きがいづくり	各種検診や健康診査、予防接種の推進	福祉の担い手の確保・育成	福祉施設・サービスの充実	医療機関の適正利用	健康づくり活動の推進	生活困窮者に対する支援	障がい者の社会参加の促進	その他	無回答	
年齢別	20歳代以下	236 -	72 (30.5)	43 (18.2)	65 (27.5)	48 (20.3)	46 (19.5)	41 (17.4)	44 (18.6)	36 (15.3)	27 (11.4)	2 (0.8)	4 (1.7)
	30歳代	300 -	108 (36.0)	47 (15.7)	97 (32.3)	62 (20.7)	49 (16.3)	63 (21.0)	53 (17.7)	40 (13.3)	34 (11.3)	1 (0.3)	2 (0.7)
	40歳代	385 -	142 (36.9)	83 (21.6)	95 (24.7)	78 (20.3)	84 (21.8)	73 (19.0)	52 (13.5)	51 (13.2)	33 (8.6)	3 (0.8)	13 (3.4)
	50歳代	438 -	133 (30.4)	124 (28.3)	112 (25.6)	83 (18.9)	108 (24.7)	76 (17.4)	58 (13.2)	56 (12.8)	36 (8.2)	5 (1.1)	11 (2.5)
	60歳代	562 -	165 (29.4)	169 (30.1)	114 (20.3)	137 (24.4)	144 (25.6)	92 (16.4)	83 (14.8)	85 (15.1)	44 (7.8)	4 (0.7)	11 (2.0)
	70歳以上	567 -	139 (24.5)	200 (35.3)	102 (18.0)	141 (24.9)	109 (19.2)	74 (13.1)	102 (18.0)	95 (16.8)	38 (6.7)	2 (0.4)	35 (6.2)

テーマ④安全・安心

- ・全体結果では、「安定した水の供給」が39.7%と最も高く、次いで「耐震化や浸水対策など、危険箇所の安全対策」34.2%、「災害発生時の体制の強化」26.7%となっている。



- ・性別では、男女ともに「安定した水の供給」が最も高く、男性40.1%、女性39.7%とあまり差がみられなかった。
- ・年齢別では、30歳代以下は「耐震化や浸水対策など、危険箇所の安全対策」が最も高く、40歳代以上は「安定した水の供給」が最も高くなっている。

<性別>

(上段:件数 下段%)

		全 体	テーマ④ 安全・安心										
			安定した水の供給	危険箇所や浸水対策など、耐震化や浸水対策など、	災害発生時の体制の強化	犯罪・消費者被害の防止	交通安全対策の推進	消防・救急体制の強化	食の安全確保や平時からの感染症対策	防災活動の推進	防災教育と地域等での	動物愛護と適正飼育の推進	その他
性別	男性	1,039 -	417 (40.1)	358 (34.5)	263 (25.3)	229 (22.0)	222 (21.4)	140 (13.5)	78 (7.5)	104 (10.0)	72 (6.9)	7 (0.7)	31 (3.0)
	女性	1,404 -	557 (39.7)	483 (34.4)	391 (27.8)	243 (17.3)	213 (15.2)	169 (12.0)	169 (12.0)	134 (9.5)	154 (11.0)	4 (0.3)	45 (3.2)
	回答しない	58 -	20 (34.5)	15 (25.9)	13 (22.4)	12 (20.7)	12 (20.7)	6 (10.3)	6 (10.3)	2 (3.4)	3 (5.2)	0 (0.0)	8 (13.8)

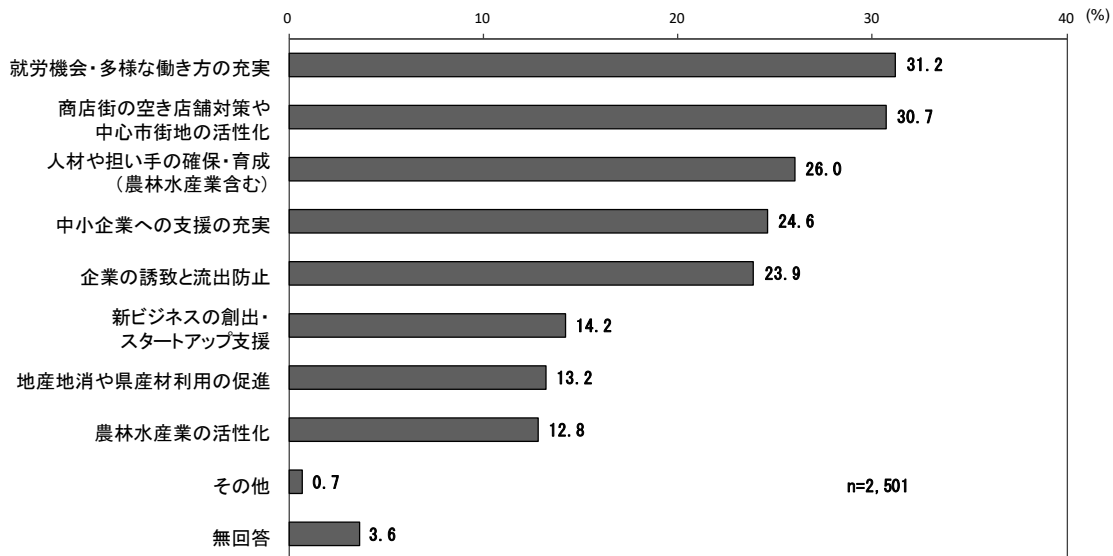
<年齢別>

(上段:件数 下段%)

		全 体	テーマ④ 安全・安心										
			安定した水の供給	危険箇所や浸水対策など、耐震化や浸水対策など、	災害発生時の体制の強化	犯罪・消費者被害の防止	交通安全対策の推進	消防・救急体制の強化	食の安全確保や平時からの感染症対策	防災活動の推進	防災教育と地域等での	動物愛護と適正飼育の推進	その他
年齢別	20歳代以下	236 -	69 (29.2)	94 (39.8)	63 (26.7)	54 (22.9)	55 (23.3)	19 (8.1)	22 (9.3)	19 (8.1)	28 (11.9)	1 (0.4)	7 (3.0)
	30歳代	300 -	114 (38.0)	122 (40.7)	81 (27.0)	55 (18.3)	60 (20.0)	34 (11.3)	29 (9.7)	28 (9.3)	31 (10.3)	1 (0.3)	3 (1.0)
	40歳代	385 -	166 (43.1)	112 (29.1)	100 (26.0)	81 (21.0)	71 (18.4)	52 (13.5)	26 (6.8)	49 (12.7)	49 (12.7)	3 (0.8)	8 (2.1)
	50歳代	438 -	196 (44.7)	143 (32.6)	125 (28.5)	83 (18.9)	64 (14.6)	48 (11.0)	37 (8.4)	41 (9.4)	40 (9.1)	3 (0.7)	12 (2.7)
	60歳代	562 -	229 (40.7)	201 (35.8)	150 (26.7)	100 (17.8)	95 (16.9)	77 (13.7)	67 (11.9)	58 (10.3)	42 (7.5)	2 (0.4)	15 (2.7)
	70歳以上	567 -	218 (38.4)	179 (31.6)	147 (25.9)	108 (19.0)	100 (17.6)	84 (14.8)	70 (12.3)	44 (7.8)	39 (6.9)	1 (0.2)	35 (6.2)

テーマ⑤産業・経済

- ・全体結果では、「就労機会・多様な働き方の充実」が31.2%と最も高く、次いで「商店街の空き店舗対策や中心市街地の活性化」30.7%、「人材や担い手の確保・育成（農林水産業含む）」26.0%となっている。



- ・性別では、男性は「企業の誘致と流出防止」が最も高く、女性は「商店街の空き店舗対策や中心市街地の活性化」が最も高くなっている。
- ・年齢別では、50歳代以下は「就労機会・多様な働き方の充実」が最も高く、60歳代は「商店街の空き店舗対策や中心市街地の活性化」、70歳以上は「人材や担い手の確保・育成（農林水産業含む）」がそれぞれ最も高くなっている。

<性別>

(上段:件数 下段%)

		全体	テーマ⑤ 産業・経済									
			就労機会・多様な働き方の充実	商店街の空き店舗対策や中心市街地の活性化	人材や担い手の確保・育成（農林水産業含む）	中小企業への支援の充実	企業の誘致と流出防止	新ビジネスの創出・スタートアップ支援	地産地消や県産材利用の促進	農林水産業の活性化	その他	無回答
性別	男性	1,039	281 (27.0)	272 (26.2)	269 (25.9)	277 (26.7)	316 (30.4)	178 (17.1)	114 (11.0)	154 (14.8)	9 (0.9)	31 (3.0)
	女性	1,404	476 (33.9)	484 (34.5)	364 (25.9)	327 (23.3)	275 (19.6)	169 (12.0)	212 (15.1)	158 (11.3)	7 (0.5)	51 (3.6)
	回答しない	58	23 (39.7)	11 (19.0)	17 (29.3)	12 (20.7)	7 (12.1)	9 (15.5)	5 (8.6)	7 (12.1)	1 (1.7)	8 (13.8)

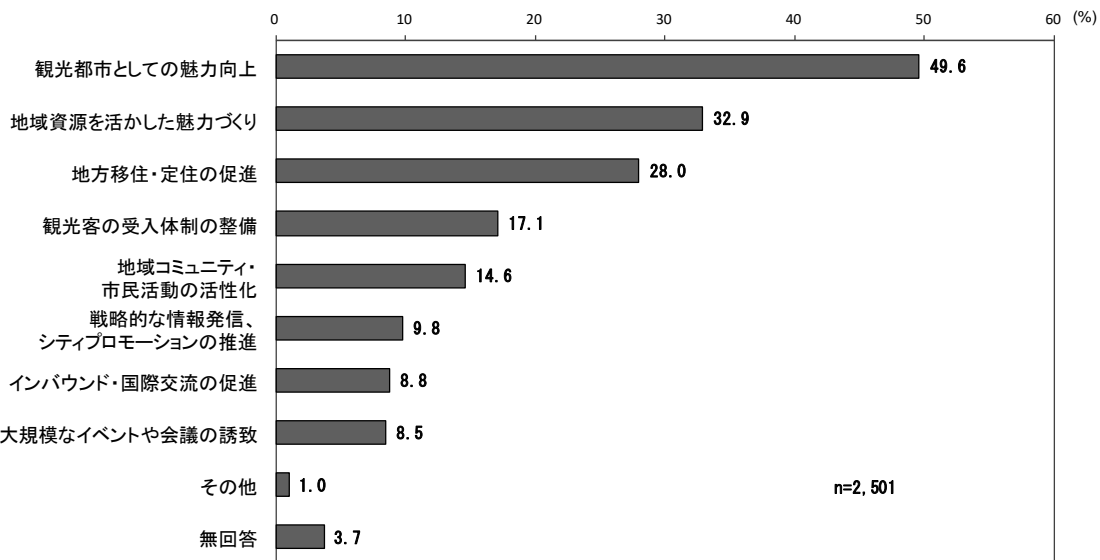
<年齢別>

(上段:件数 下段%)

		全体	テーマ⑤ 産業・経済									
			充 就 実 機 会 ・ 多 様 な 働 き 方 の	中 心 市 街 の 空 き 店 舗 対 策 や 活 性 化	人 材 や 担 い 手 の 確 保 ・ 育 成 (農 林 水 産 業 含 む)	中 小 企 業 へ の 支 援 の 充 実	企 業 の 誘 致 と 流 出 防 止	新 ス タ ー ト ア ッ プ の 創 出 支 援	地 産 地 消 や 県 産 材 利 用 の 促 進	農 林 水 産 業 の 活 性 化	そ の 他	無 回 答
年 齢 別	20歳代以下	236 -	84 (35.6)	72 (30.5)	66 (28.0)	52 (22.0)	55 (23.3)	42 (17.8)	21 (8.9)	19 (8.1)	2 (0.8)	6 (2.5)
	30歳代	300 -	96 (32.0)	84 (28.0)	82 (27.3)	84 (28.0)	66 (22.0)	71 (23.7)	30 (10.0)	32 (10.7)	3 (1.0)	2 (0.7)
	40歳代	385 -	142 (36.9)	119 (30.9)	88 (22.9)	110 (28.6)	85 (22.1)	65 (16.9)	46 (11.9)	37 (9.6)	5 (1.3)	10 (2.6)
	50歳代	438 -	153 (34.9)	142 (32.4)	104 (23.7)	112 (25.6)	118 (26.9)	61 (13.9)	48 (11.0)	47 (10.7)	2 (0.5)	9 (2.1)
	60歳代	562 -	167 (29.7)	192 (34.2)	149 (26.5)	147 (26.2)	122 (21.7)	56 (10.0)	88 (15.7)	84 (14.9)	3 (0.5)	17 (3.0)
	70歳以上	567 -	134 (23.6)	155 (27.3)	159 (28.0)	109 (19.2)	151 (26.6)	58 (10.2)	97 (17.1)	99 (17.5)	2 (0.4)	42 (7.4)
	全体	2,501	1,000	800	600	700	600	400	400	400	100	100

テーマ⑥観光・地域活性化

- ・全体結果では、「観光都市としての魅力向上」が49.6%と最も高く、次いで「地域資源を活かした魅力づくり」32.9%、「地方移住・定住の促進」28.0%となっている。



- ・性別では、男女ともに「観光都市としての魅力向上」が最も高く、男性48.4%、女性51.1%と女性が男性より2.7ポイント高い結果であった。
- ・年齢別では、すべての年代で「観光都市としての魅力向上」が最も高く、特に50歳代以下は5割を超えている。

<性別>

(上段:件数 下段%)

	全体	テーマ⑥ 観光・地域活性化									
		観光都市としての魅力向上	魅力地域資源を活かした	地方移住・定住の促進	観光客の受入体制の整備	市民活動の活性化	地域コミュニティの推進	戦略的な情報発信、プロモーションの推進	国際交流の促進	インバウンド	大規模なイベントや会議の誘致
男性	1,039 -	503 (48.4)	307 (29.5)	308 (29.6)	199 (19.2)	145 (14.0)	122 (11.7)	112 (10.8)	91 (8.8)	11 (1.1)	34 (3.3)
女性	1,404 -	717 (51.1)	506 (36.0)	380 (27.1)	223 (15.9)	213 (15.2)	114 (8.1)	99 (7.1)	119 (8.5)	11 (0.8)	52 (3.7)
回答しない	58 -	20 (34.5)	10 (17.2)	13 (22.4)	6 (10.3)	7 (12.1)	9 (15.5)	8 (13.8)	3 (5.2)	3 (5.2)	7 (12.1)

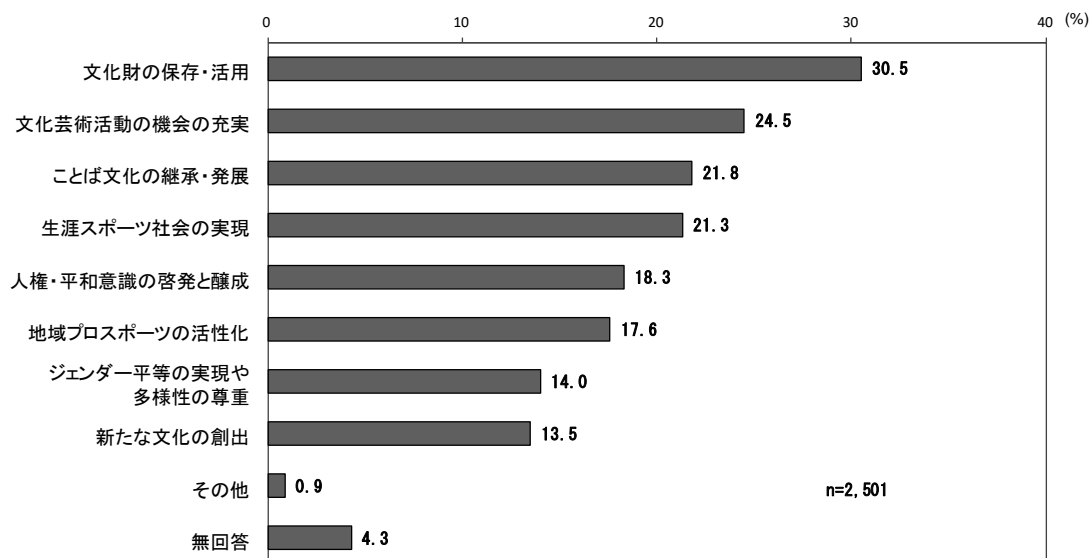
<年齢別>

(上段:件数 下段%)

	全体	テーマ⑥ 観光・地域活性化									
		観光都市としての魅力向上	魅力地域資源を活かした	地方移住・定住の促進	観光客の受入体制の整備	市民活動の活性化	地域コミュニティの推進	戦略的な情報発信、プロモーションの推進	国際交流の促進	インバウンド	大規模なイベントや会議の誘致
20歳代以下	236 -	131 (55.5)	48 (20.3)	61 (25.8)	51 (21.6)	19 (8.1)	23 (9.7)	39 (16.5)	27 (11.4)	2 (0.8)	8 (3.4)
30歳代	300 -	162 (54.0)	74 (24.7)	100 (33.3)	59 (19.7)	34 (11.3)	27 (9.0)	39 (13.0)	41 (13.7)	3 (1.0)	3 (1.0)
40歳代	385 -	193 (50.1)	111 (28.8)	105 (27.3)	68 (17.7)	50 (13.0)	43 (11.2)	41 (10.6)	42 (10.9)	5 (1.3)	13 (3.4)
50歳代	438 -	229 (52.3)	137 (31.3)	122 (27.9)	75 (17.1)	49 (11.2)	52 (11.9)	38 (8.7)	31 (7.1)	9 (2.1)	10 (2.3)
60歳代	562 -	276 (49.1)	213 (37.9)	164 (29.2)	79 (14.1)	102 (18.1)	53 (9.4)	32 (5.7)	40 (7.1)	5 (0.9)	14 (2.5)
70歳以上	567 -	243 (42.9)	236 (41.6)	148 (26.1)	94 (16.6)	111 (19.6)	45 (7.9)	29 (5.1)	32 (5.6)	1 (0.2)	41 (7.2)

テーマ⑦社会・文化・スポーツ

- ・全体結果では、「文化財の保存・活用」が30.5%と最も高く、次いで「文化芸術活動の機会の充実」24.5%、「ことば文化の継承・発展」21.8%、「生涯スポーツ社会の実現」21.3%となっている。



- ・性別では、男女ともに「文化財の保存・活用」が最も高く、男性32.1%、女性29.5%と男性が女性より2.6ポイント高い結果であった。

- ・年齢別では、すべての年代で「文化財の保存・活用」が最も高くなっている。「ジェンダー平等の実現や多様性の尊重」では30歳代以下が25%以上と、全体結果より10.0ポイント以上高い結果であった。

<性別>

(上段:件数 下段%)

		全体	テーマ⑦ 社会・文化・スポーツ									
			文化財の保存・活用	文化芸術活動の機会の充実	ことば文化の継承・発展	生涯スポーツ社会の実現	人権・平和意識の啓発と醸成	地域プロスポーツの活性化	多様性の尊重	ジェンダー平等の実現や	新たな文化の創出	その他
性別	男性	1,039	333 (32.1)	230 (22.1)	211 (20.3)	260 (25.0)	172 (16.6)	236 (22.7)	103 (9.9)	157 (15.1)	10 (1.0)	39 (3.8)
	女性	1,404	414 (29.5)	376 (26.8)	322 (22.9)	265 (18.9)	275 (19.6)	194 (13.8)	235 (16.7)	178 (12.7)	10 (0.7)	60 (4.3)
	回答しない	58	17 (29.3)	6 (10.3)	11 (19.0)	8 (13.8)	11 (19.0)	10 (17.2)	13 (22.4)	3 (5.2)	2 (3.4)	8 (13.8)

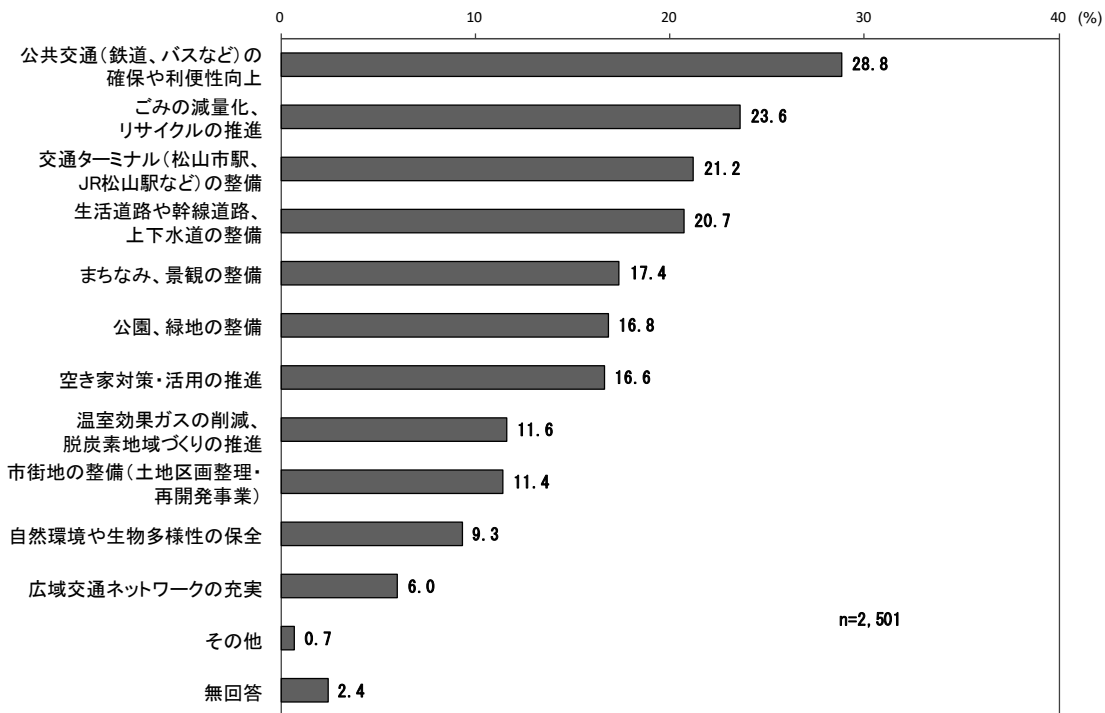
<年齢別>

(上段:件数 下段%)

		全体	テーマ⑦ 社会・文化・スポーツ									
			文化財の保存・活用	文化芸術活動の機会の充実	ことば文化の継承・発展	生涯スポーツ社会の実現	人権・平和意識の啓発と醸成	地域プロスポーツの活性化	多様性の尊重	ジェンダー平等の実現や	新たな文化の創出	その他
年齢別	20歳代以下	236	73 (30.9)	41 (17.4)	40 (16.9)	47 (19.9)	42 (17.8)	38 (16.1)	60 (25.4)	39 (16.5)	1 (0.4)	8 (3.4)
	30歳代	300	87 (29.0)	71 (23.7)	52 (17.3)	63 (21.0)	48 (16.0)	61 (20.3)	77 (25.7)	49 (16.3)	1 (0.3)	4 (1.3)
	40歳代	385	128 (33.2)	86 (22.3)	79 (20.5)	73 (19.0)	61 (15.8)	93 (24.2)	57 (14.8)	58 (15.1)	4 (1.0)	11 (2.9)
	50歳代	438	124 (28.3)	102 (23.3)	102 (23.3)	90 (20.5)	71 (16.2)	84 (19.2)	72 (16.4)	66 (15.1)	9 (2.1)	12 (2.7)
	60歳代	562	170 (30.2)	149 (26.5)	142 (25.3)	121 (21.5)	120 (21.4)	92 (16.4)	50 (8.9)	59 (10.5)	3 (0.5)	20 (3.6)
	70歳以上	567	178 (31.4)	160 (28.2)	126 (22.2)	138 (24.3)	113 (19.9)	72 (12.7)	34 (6.0)	66 (11.6)	4 (0.7)	48 (8.5)
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

テーマ⑧環境・都市

・全体結果では、「公共交通（鉄道、バスなど）の確保や利便性向上」が28.8%と最も高く、次いで「ごみの減量化、リサイクルの推進」23.6%、「交通ターミナル（松山市駅、JR松山駅など）の整備」21.2%、「生活道路や幹線道路、上下水道の整備」20.7%となっている。



・性別では、男女ともに「公共交通（鉄道、バスなど）の確保や利便性向上」が最も高く、男性25.9%、女性30.9%と女性が男性より5.0ポイント高い結果であった。

・年齢別では、20歳代以下、40歳代以上50歳代以下は「公共交通（鉄道、バスなど）の確保や利便性向上」が最も高く、60歳代以上は「ごみの減量化、リサイクルの推進」が最も高くなっている。30歳代は「公園、緑地の整備」が31.3%と唯一3割を超えており、全体結果より10.0ポイント以上高い結果であった。

<性別>

(上段:件数 下段%)

		全体	テーマ⑧ 環境・都市												
			公共交通（鉄道、バスなど）の確保や利便性向上	ごみの減量化、リサイクルの推進	JR松山駅など（松山市駅、）の整備	交通ターミナル（松山市駅、）の整備	生活道路や幹線道路、上下水道の整備	まちなみ、景観の整備	公園、緑地の整備	空き家対策・活用の推進	脱炭素地域づくりの推進	温室効果ガスの削減、	再開発事業（土地区画整理・市街地の整備）	自然環境や生物多様性の保全	広域交通ネットワークの充実
性別	男性	1,039 -	269 (25.9)	223 (21.5)	229 (22.0)	248 (23.9)	200 (19.2)	157 (15.1)	152 (14.6)	130 (12.5)	150 (14.4)	101 (9.7)	66 (6.4)	9 (0.9)	21 (2.0)
	女性	1,404 -	434 (30.9)	361 (25.7)	292 (20.8)	258 (18.4)	226 (16.1)	255 (18.2)	254 (18.1)	156 (11.1)	129 (9.2)	126 (9.0)	77 (5.5)	8 (0.6)	34 (2.4)
	回答しない	58 -	18 (31.0)	6 (10.3)	10 (17.2)	11 (19.0)	10 (17.2)	9 (15.5)	10 (17.2)	3 (5.2)	6 (10.3)	5 (8.6)	7 (12.1)	1 (1.7)	6 (10.3)

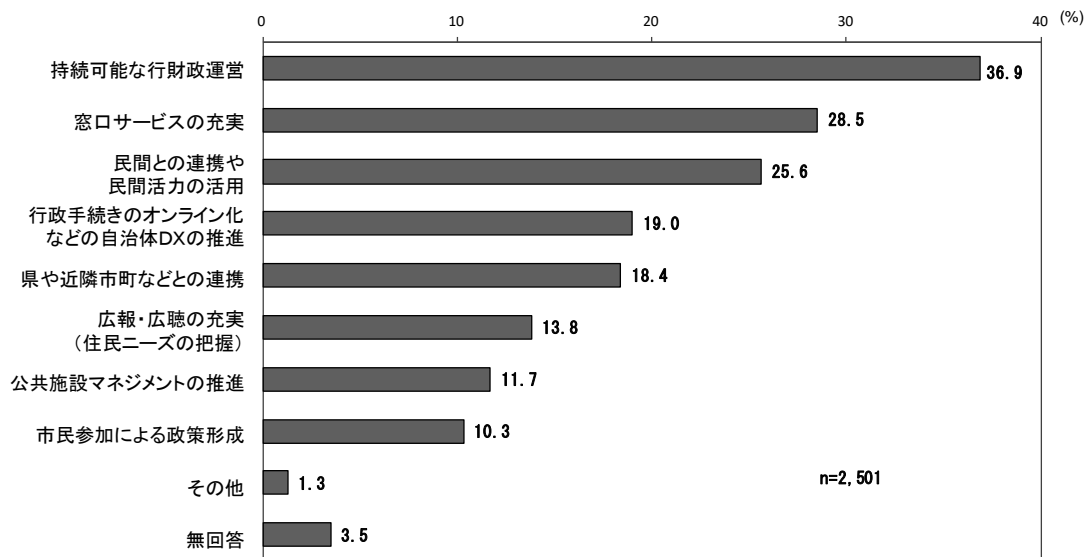
<年齢別>

(上段:件数 下段%)

		全体	テーマ⑧ 環境・都市												
			公共交通（鉄道、バスなど）の確保や利便性向上	ごみの減量化、リサイクルの推進	JR松山駅など（松山市駅、）の整備	交通ターミナル（松山市駅、）の整備	生活道路や幹線道路、上下水道の整備	まちなみ、景観の整備	公園、緑地の整備	空き家対策・活用の推進	脱炭素地域づくりの推進	温室効果ガスの削減、	再開発事業（土地区画整理・市街地の整備）	自然環境や生物多様性の保全	広域交通ネットワークの充実
年齢別	20歳代以下	236 -	83 (35.2)	46 (19.5)	74 (31.4)	23 (9.7)	42 (17.8)	30 (12.7)	28 (11.9)	34 (14.4)	25 (10.6)	17 (7.2)	20 (8.5)	1 (0.4)	4 (1.7)
	30歳代	300 -	82 (27.3)	68 (22.7)	53 (17.7)	58 (19.3)	59 (19.7)	94 (31.3)	39 (13.0)	30 (10.0)	46 (15.3)	29 (9.7)	10 (3.3)	1 (0.3)	1 (0.3)
	40歳代	385 -	123 (31.9)	66 (17.1)	86 (22.3)	83 (21.6)	65 (16.9)	66 (17.1)	50 (13.0)	32 (8.3)	63 (16.4)	45 (11.7)	33 (8.6)	8 (2.1)	9 (2.3)
	50歳代	438 -	151 (34.5)	86 (19.6)	96 (21.9)	99 (22.6)	76 (17.4)	60 (13.7)	80 (18.3)	38 (8.7)	53 (12.1)	30 (6.8)	29 (6.6)	4 (0.9)	9 (2.1)
	60歳代	562 -	131 (23.3)	155 (27.6)	132 (23.5)	133 (23.7)	105 (18.7)	86 (15.3)	97 (17.3)	71 (12.6)	48 (8.5)	48 (8.5)	31 (5.5)	2 (0.4)	11 (2.0)
	70歳以上	567 -	148 (26.1)	167 (29.5)	87 (15.3)	120 (21.2)	87 (15.3)	83 (14.6)	121 (21.3)	83 (14.6)	49 (8.6)	60 (10.6)	26 (4.6)	2 (0.4)	24 (4.2)

テーマ⑨自治・行政

- ・全体結果では、「持続可能な行財政運営」が36.9%と最も高く、次いで「窓口サービスの充実」28.5%、「民間との連携や民間活力の活用」25.6%となっている。



- ・性別では、男女ともに「持続可能な行財政運営」が最も高く、男性38.7%、女性36.0%と男性が女性より2.7ポイント高い結果であった。

- ・年齢別では、すべての年代で「持続可能な行財政運営」が最も高く、特に30歳代は唯一4割を超えている。また、「行政手続きのオンライン化などの自治体DXの推進」では30歳代が29.0%と、全体結果より10.0ポイント高い結果であった。

<性別>

(上段:件数 下段%)

		テーマ⑨ 自治・行政										
		持続可能な行財政運営	窓口サービスの充実	民間との連携や活用	行政手続きのオンライン化	県や近隣市町などとの連携	（広報・広聴の充実） （住民ニーズの把握）	公共施設マネジメントの推進	市民参加による政策形成	その他	無回答	
性別	男性	1,039 -	402 (38.7)	245 (23.6)	296 (28.5)	202 (19.4)	207 (19.9)	141 (13.6)	116 (11.2)	134 (12.9)	15 (1.4)	32 (3.1)
	女性	1,404 -	505 (36.0)	454 (32.3)	333 (23.7)	261 (18.6)	246 (17.5)	200 (14.2)	168 (12.0)	118 (8.4)	16 (1.1)	49 (3.5)
	回答しない	58 -	16 (27.6)	15 (25.9)	12 (20.7)	13 (22.4)	7 (12.1)	5 (8.6)	8 (13.8)	5 (8.6)	1 (1.7)	6 (10.3)

<年齢別>

(上段:件数 下段%)

		全 体	テーマ⑨ 自治・行政									
			持続可能な 行財政運営	窓口サ ービスの充 実	民間活 力の活用	行政手 続きのオ ンライ ン化	県や近 隣市町な どとの連 携	広報・広 聴の充 実 (住民ニ ーズの把 握)	公共施 設マネ ジメン トの推 進	市民参 加によ る政策 形成	その他	無回 答
年 齢 別	20歳代以下	236 -	75 (31.8)	56 (23.7)	45 (19.1)	49 (20.8)	49 (20.8)	43 (18.2)	28 (11.9)	34 (14.4)	1 (0.4)	9 (3.8)
	30歳代	300 -	129 (43.0)	79 (26.3)	76 (25.3)	87 (29.0)	48 (16.0)	38 (12.7)	45 (15.0)	18 (6.0)	1 (0.3)	2 (0.7)
	40歳代	385 -	140 (36.4)	95 (24.7)	114 (29.6)	77 (20.0)	75 (19.5)	40 (10.4)	58 (15.1)	39 (10.1)	12 (3.1)	14 (3.6)
	50歳代	438 -	151 (34.5)	120 (27.4)	120 (27.4)	111 (25.3)	69 (15.8)	52 (11.9)	44 (10.0)	47 (10.7)	6 (1.4)	11 (2.5)
	60歳代	562 -	211 (37.5)	187 (33.3)	140 (24.9)	92 (16.4)	97 (17.3)	78 (13.9)	64 (11.4)	56 (10.0)	11 (2.0)	15 (2.7)
	70歳以上	567 -	212 (37.4)	175 (30.9)	142 (25.0)	57 (10.1)	121 (21.3)	94 (16.6)	51 (9.0)	62 (10.9)	1 (0.2)	33 (5.8)

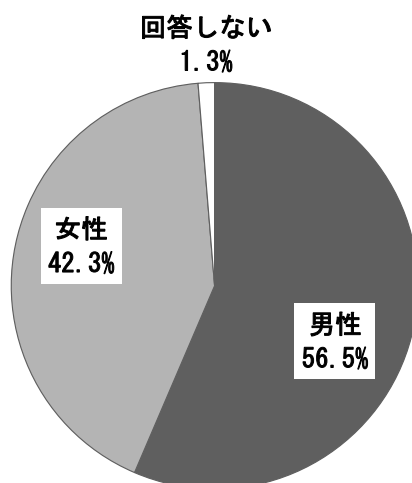
Ⅲ 県外在住者意識調査結果

1. 回答者について

(1)性別

問1 あなたの性別は。(選択は任意です)

・性別は、「男性」が56.5%、「女性」が42.3%であった。

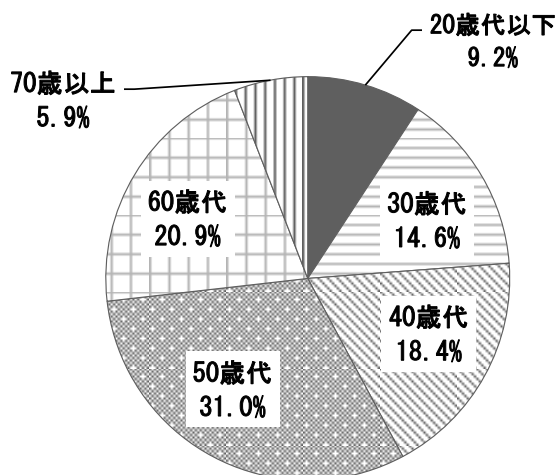


n=239

(2)年齢

問2 あなたの年齢は。(1つ選択)

・年齢は、「50歳代」が31.0%と最も高く、次いで「60歳代」20.9%、「40歳代」18.4%、「30歳代」14.6%、「20歳代以下」9.2%、「70歳以上」5.9%であった。

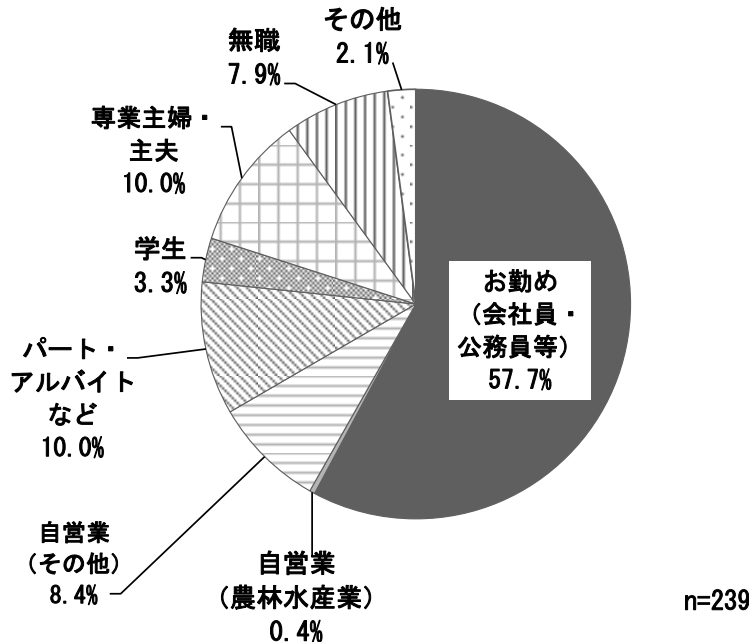


n=239

(3)職業

問3 あなたの職業は。(1つ選択)

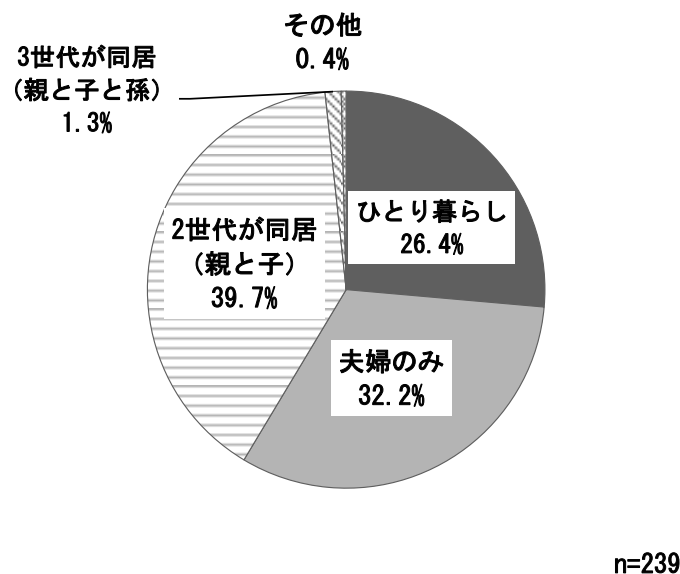
- ・職業は、「お勤め（会社員・公務員等）」が57.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなど」と「専業主婦・主夫」がともに10.0%、「自営業（その他）」8.4%、「無職」7.9%、「学生」3.3%、「その他」2.1%、「自営業（農林水産業）」0.4%であった。



(4)家族構成

問4 あなたの家族構成は。(1つ選択)

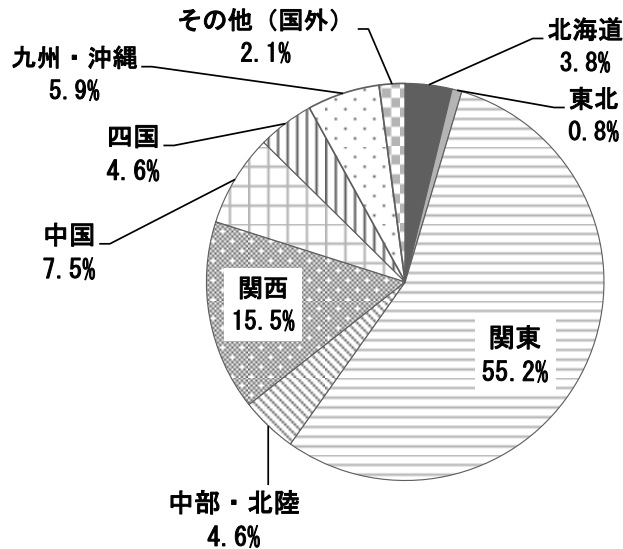
- ・家族構成は、「2世代が同居（親と子）」が39.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」32.2%、「ひとり暮らし」26.4%、「3世代が同居（親と子と孫）」1.3%、「その他」0.4%と続いた。



(5) 居住地域

問5 あなたのお住まいの地域は。(1つ選択)

- ・ 居住地域は、「関東」が55.2%と最も高く、次いで「関西」15.5%、「中国」7.5%、「九州・沖縄」5.9%、「中部・北陸」と「四国」がともに4.6%、「北海道」3.8%、「その他(国外)」2.1%、「東北」0.8%の順となった。

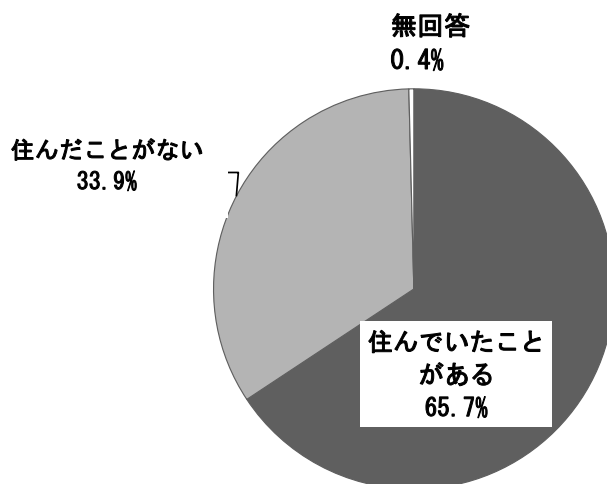


2. 松山市での暮らしについて

(1) 松山市での居住経験

問6 あなたはこれまでに松山市に住んでいたことはありますか。(旧北条市、旧中島町時代を含みます)(1つ選択)

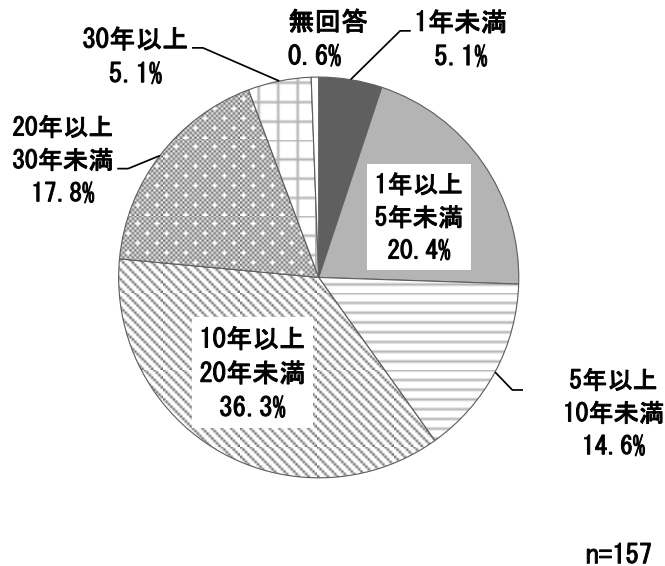
- ・ 松山市での居住経験は、「住んでいたことがある」が65.7%、「住んだことがない」が33.9%であった。



(2)松山市での居住年数

<問6で「1. 住んでいたことがある」とお答えの方に>
 問7 あなたは松山市に通算何年住んでいましたか。(1つ選択)

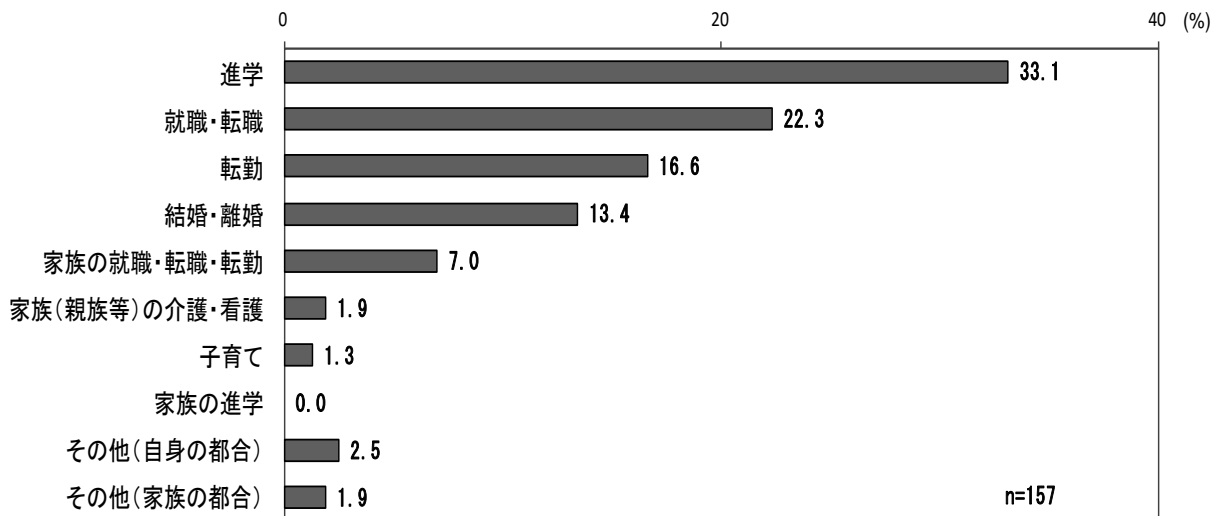
- ・松山市での居住年数は、「10年以上20年未満」が36.3%と最も高く、次いで「1年以上5年未満」20.4%、「20年以上30年未満」17.8%、「5年以上10年未満」14.6%、「1年未満」と「30年以上」がともに5.1%と続いた。通算10年以上の居住者が59.2%となっている。



(3)松山市外に転出したきっかけ

<問6で「1. 住んでいたことがある」とお答えの方に>
 問8 あなたが最後に松山市外に転出したきっかけは何ですか。(1つ選択)

- ・全体結果では、「進学」(33.1%)が最も高く、次いで「就職・転職」(22.3%)、「転勤」(16.6%)、「結婚・離婚」(13.4%)と続いた。



(4) 「進学」の際に松山市外に転出した理由

＜問6で「1. 住んでいたことがある」かつ問8で「1. 進学」とお答えの方に＞
 問9 「進学」にあたって、松山市外に転出した理由は何ですか。(1つ選択)

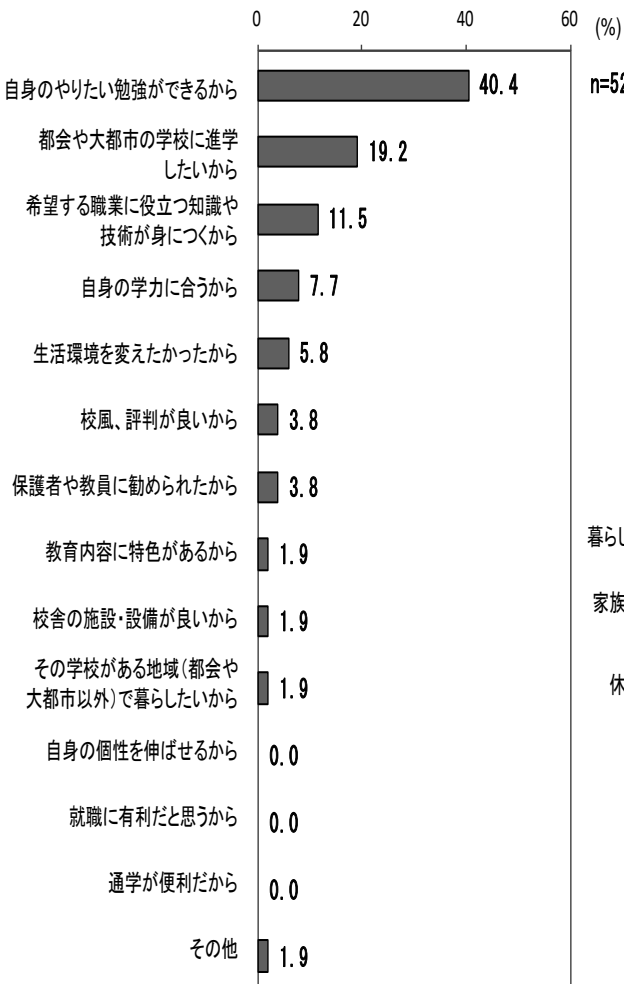
- ・全体結果では、「自身のやりたい勉強ができるから」(40.4%)が最も高く、次いで「都会や大都市の学校に進学したいから」(19.2%)、「希望する職業に役立つ知識や技術が身につくから」(11.5%)、「自身の学力に合うから」(7.7%)と続いた。

(5) 「就職・転職」の際に松山市外に転出した理由

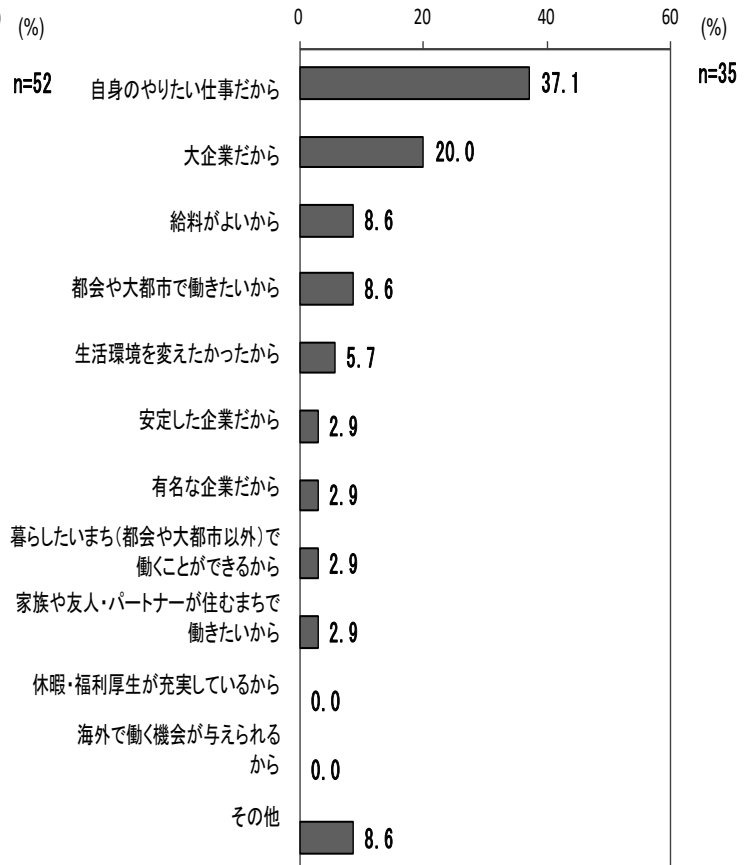
＜問6で「1. 住んでいたことがある」かつ問8で「2. 就職・転職」とお答えの方に＞
 問10 「就職・転職」にあたって、松山市外に転出した理由は何ですか。(1つ選択)

- ・全体結果では、「自身のやりたい仕事だから」(37.1%)が最も高く、次いで「大企業だから」(20.0%)、「給料がよいから」と「都会や大都市で働きたいから」がともに8.6%と続いた。

【問9】



【問10】



(6)松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じたか

＜問6で「1. 住んでいたことがある」とお答えの方に＞
 問11 松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じましたか。(3つまで選択)

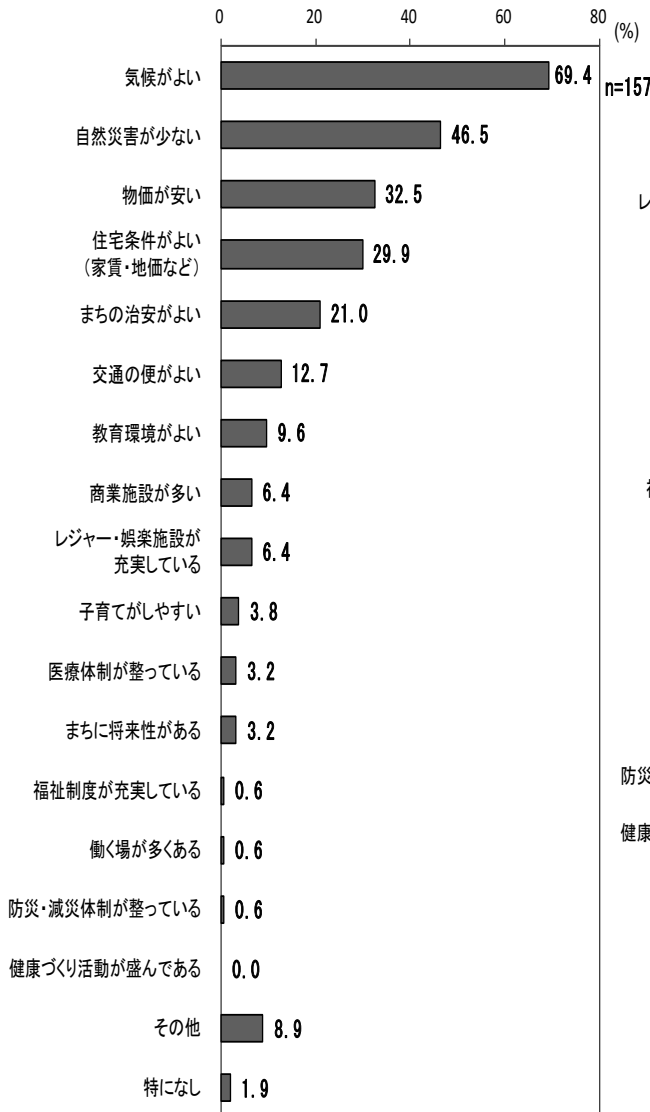
- ・全体結果では、「気候がよい」(69.4%)が最も高く、次いで「自然災害が少ない」(46.5%)、「物価が安い」(32.5%)、「住宅条件がよい(家賃・地価など)」(29.9%)、「まちの治安がよい」(21.0%)と続いた。

(7)松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じたか

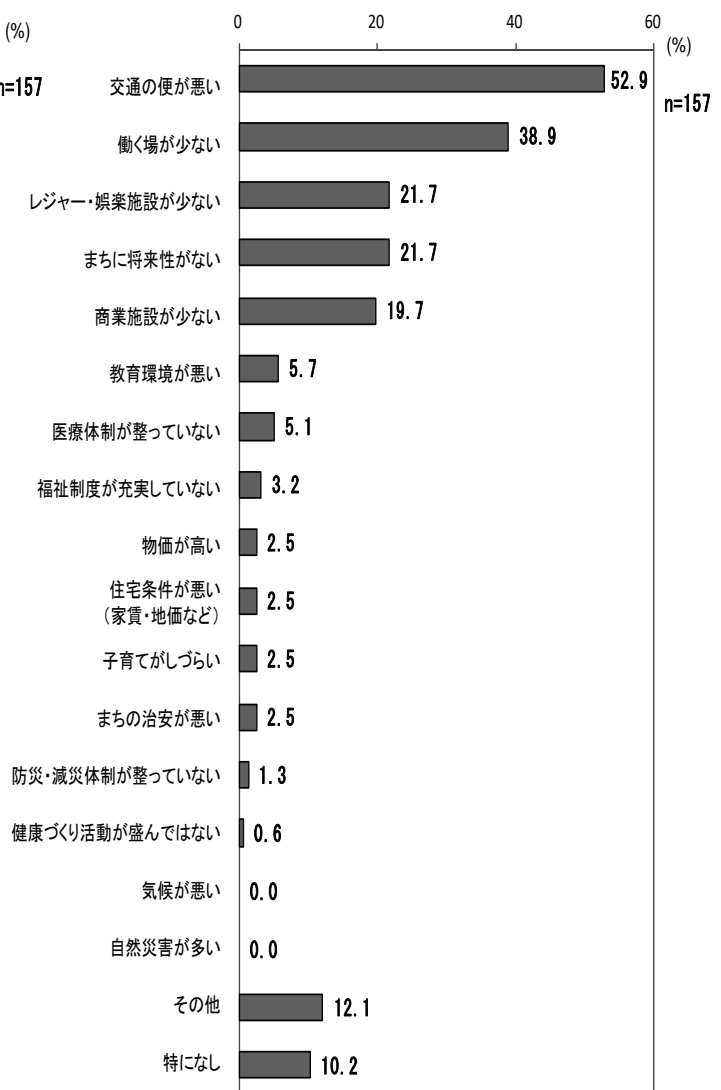
＜問6で「1. 住んでいたことがある」とお答えの方に＞
 問12 松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じましたか。(3つまで選択)

- ・全体結果では、「交通の便が悪い」(52.9%)が最も高く、次いで「働く場が少ない」(38.9%)、「レジャー・娯楽施設が少ない」と「まちに将来性がない」がともに21.7%、「商業施設が少ない」(19.7%)と続いた。

【問11】



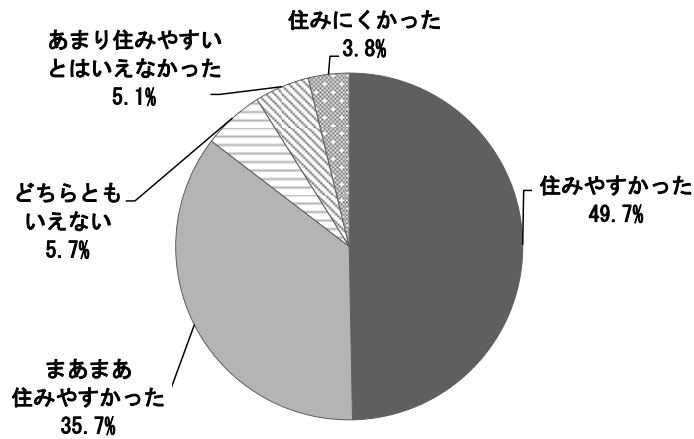
【問12】



(8)松山市は住みやすいまちであったか

＜問6で「1. 住んでいたことがある」とお答えの方に＞
 問13 あなたにとって松山市は住みやすいまちでしたか。(1つ選択)

- ・全体結果では、「住みやすかった」が49.7%と最も高く、次いで「まあまあ住みやすかった」が35.7%と続き、合わせて85.4%が『住みやすかった』と感じている。



n=157

- ・性別では、男女ともに『住みやすかった』が『住みにくかった』（「住みにくかった」と「あまり住みやすいとはいえなかった」を合わせた割合）を上回っており、男性86.9%、女性83.3%となっている。男性の『住みやすかった』が女性の回答を3.6ポイント上回っている。
- ・年齢別では、すべての年代で『住みやすかった』が『住みにくかった』を上回っており、60歳代が96.3%と年齢別の中で最も高く、次いで70歳以上92.3%、40歳代88.9%、50歳代84.0%、20歳代以下79.0%、30歳代71.5%と続いた。
- ・居住年数別では、10年未満、10年以上ともに『住みやすかった』が『住みにくかった』を上回っており、10年未満79.3%、10年以上89.3%となっている。また、10年以上の『住みやすかった』が10年未満の回答を10.0ポイント上回っている。

		件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
全体		157	49.7, 35.7, 5.7, 5.1, 3.8					
性別	男性	84	54.8, 32.1, 6.0, 2.4, 4.8					
	女性	72	44.4, 38.9, 5.6, 8.3, 2.8					
	回答しない	1	0.0, 100.0, 0.0, 0.0					
年齢別	20歳代以下	19	57.9, 21.1, 10.5, 5.3, 5.3					
	30歳代	21	28.6, 42.9, 4.8, 19.0, 4.8					
	40歳代	27	59.3, 29.6, 3.7, 0.0, 7.4					
	50歳代	50	38.0, 46.0, 8.0, 4.0, 4.0					
	60歳代	27	66.7, 29.6, 3.7, 0.0, 0.0					
	70歳以上	13	61.5, 30.8, 0.0, 7.7, 0.0					
居住年数別	10年未満	63	46.0, 33.3, 6.3, 7.9, 6.3					
	10年以上	94	52.1, 37.2, 5.3, 3.2, 2.1					

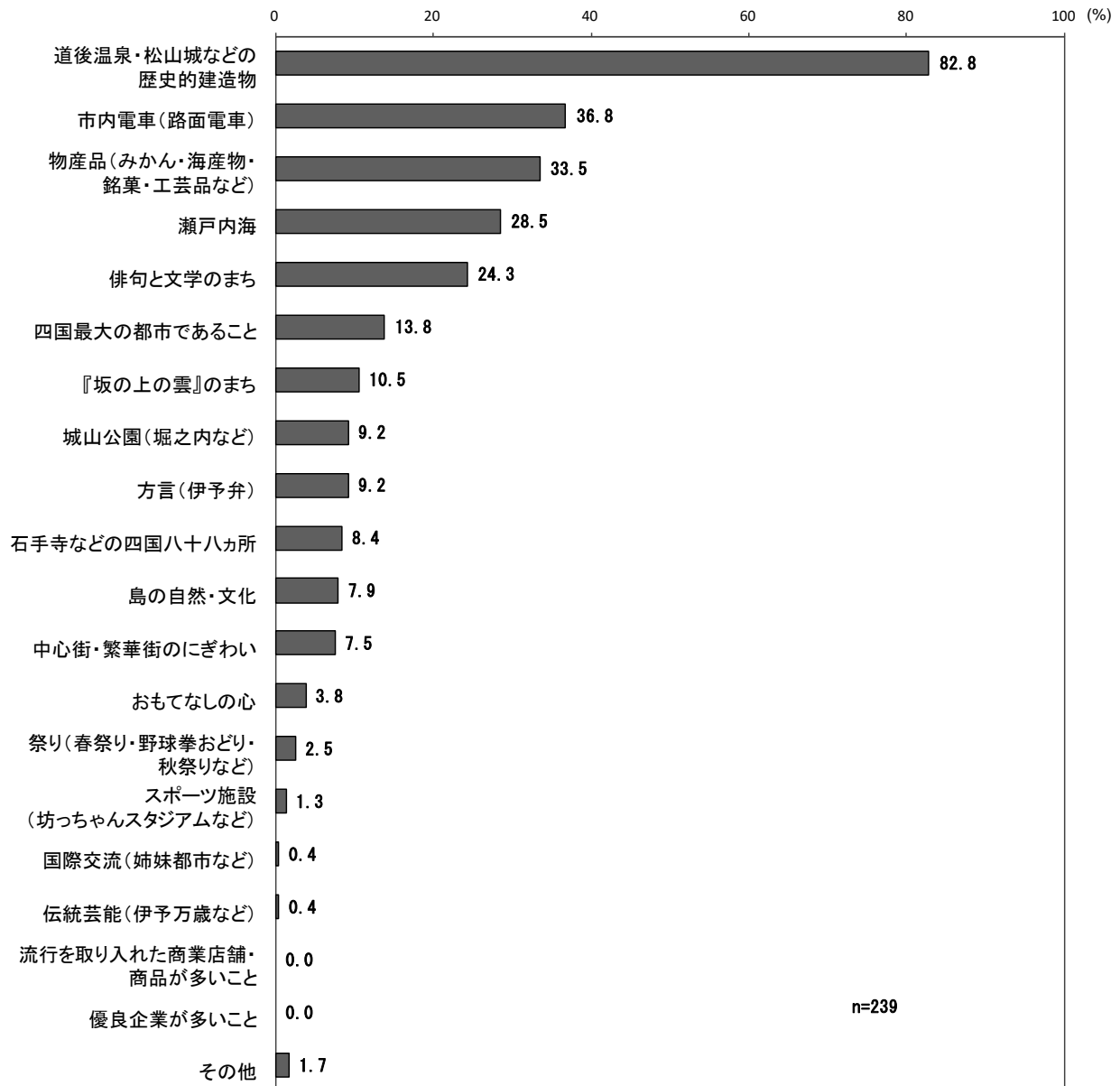
■住みやすかった ■まあまあ住みやすかった □どちらともいえない
 □あまり住みやすいとはいえなかった ■住みにくかった

3. 松山市のイメージについて

(1) 松山市について思い浮かべる「もの・こと・場所」

問14 松山市について、あなたが思い浮かべる「もの」、「こと」、「場所」は何ですか。
(3つまで選択)

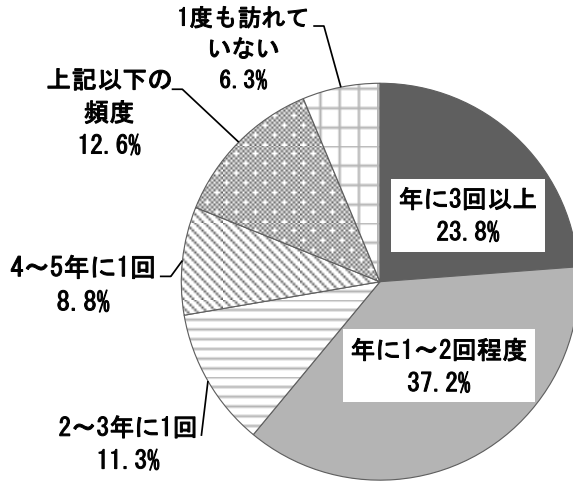
- ・ 全体結果では、「道後温泉・松山城などの歴史的建造物」(82.8%)が最も高く、次いで「市内電車(路面電車)」(36.8%)、「物産品(みかん・海産物・銘菓・工芸品など)」(33.5%)、「瀬戸内海」(28.5%)、「俳句と文学のまち」(24.3%)と続いた。



(2)松山市を訪問する頻度

問15 仕事や旅行を含め、松山市を訪問する頻度はどのくらいですか。(1つ選択)

- ・全体結果では、「年に1~2回程度」(37.2%)が最も高く、次いで「年に3回以上」(23.8%)、「上記以下の頻度」(12.6%)、「2~3年に1回」(11.3%)と続いた。

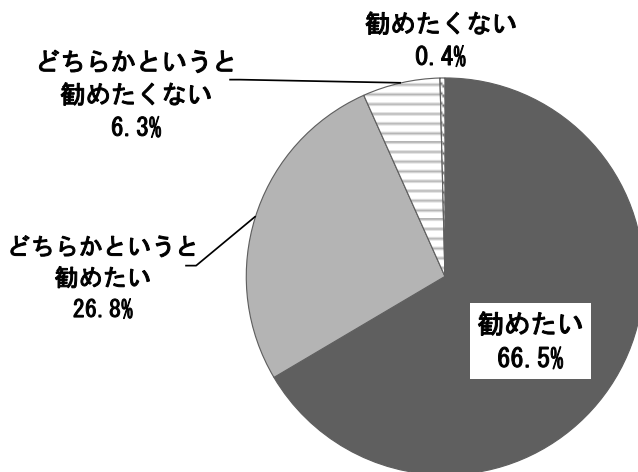


n=239

(3)松山市への旅行を勧めたいか

問16 あなたは、松山市への旅行を人に勧めたいですか。(1つ選択)

- ・全体結果では、「勧めたい」(66.5%)が最も高く、次いで「どちらかという勧めたい」(26.8%)と続き、合わせて大半の93.3%が『勧めたい』と感じている。



n=239

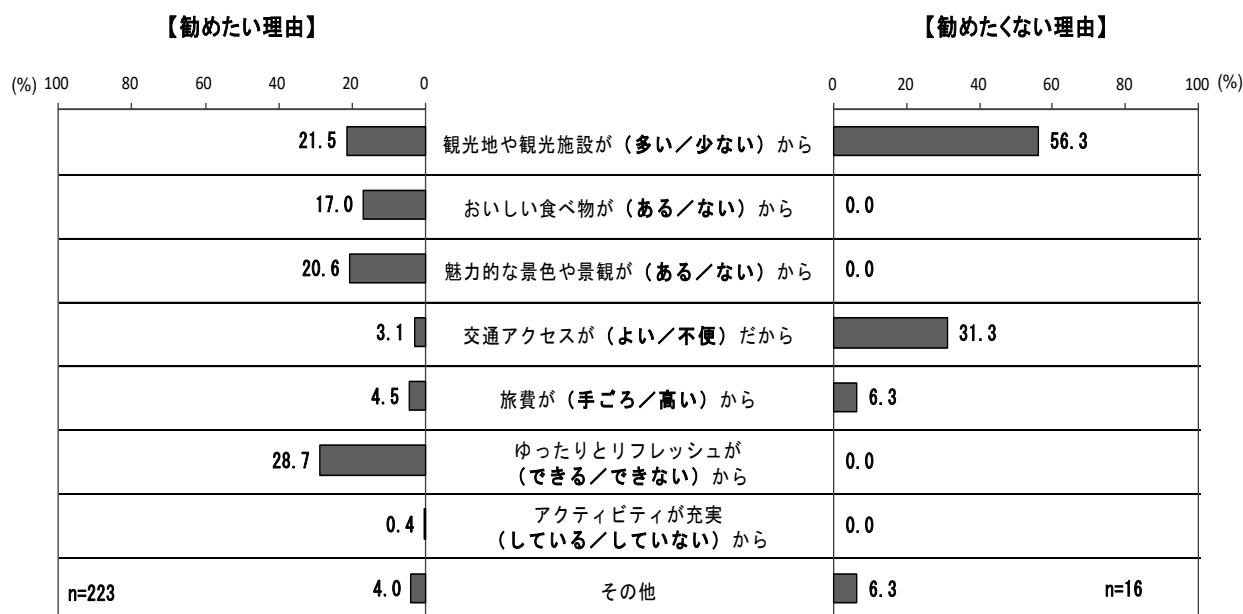
(4)松山市への旅行を勧めたい理由

＜問16で「1. 勧めたい」または「2. どちらかという勧めたい」とお答えの方に＞
 問17 松山市への旅行を人に勧めたい理由は何ですか。(1つ選択)

(5)松山市への旅行を勧めたくない理由

＜問16で「3. どちらかという勧めたくない」または「4. 勧めたくない」とお答えの方に＞
 問18 松山市への旅行を人に勧めたくない理由は何ですか。(1つ選択)

- ・勧めたい理由としては、「ゆったりとリフレッシュができるから」(28.7%)が最も高く、次いで「観光地や観光施設が多いから」(21.5%)、「魅力的な景色や景観があるから」(20.6%)と続いた。
- ・勧めたくない理由としては、「観光地や観光施設が少ないから」(56.3%)が最も高く、次いで「交通アクセスが不便だから」(31.3%)と続いた。

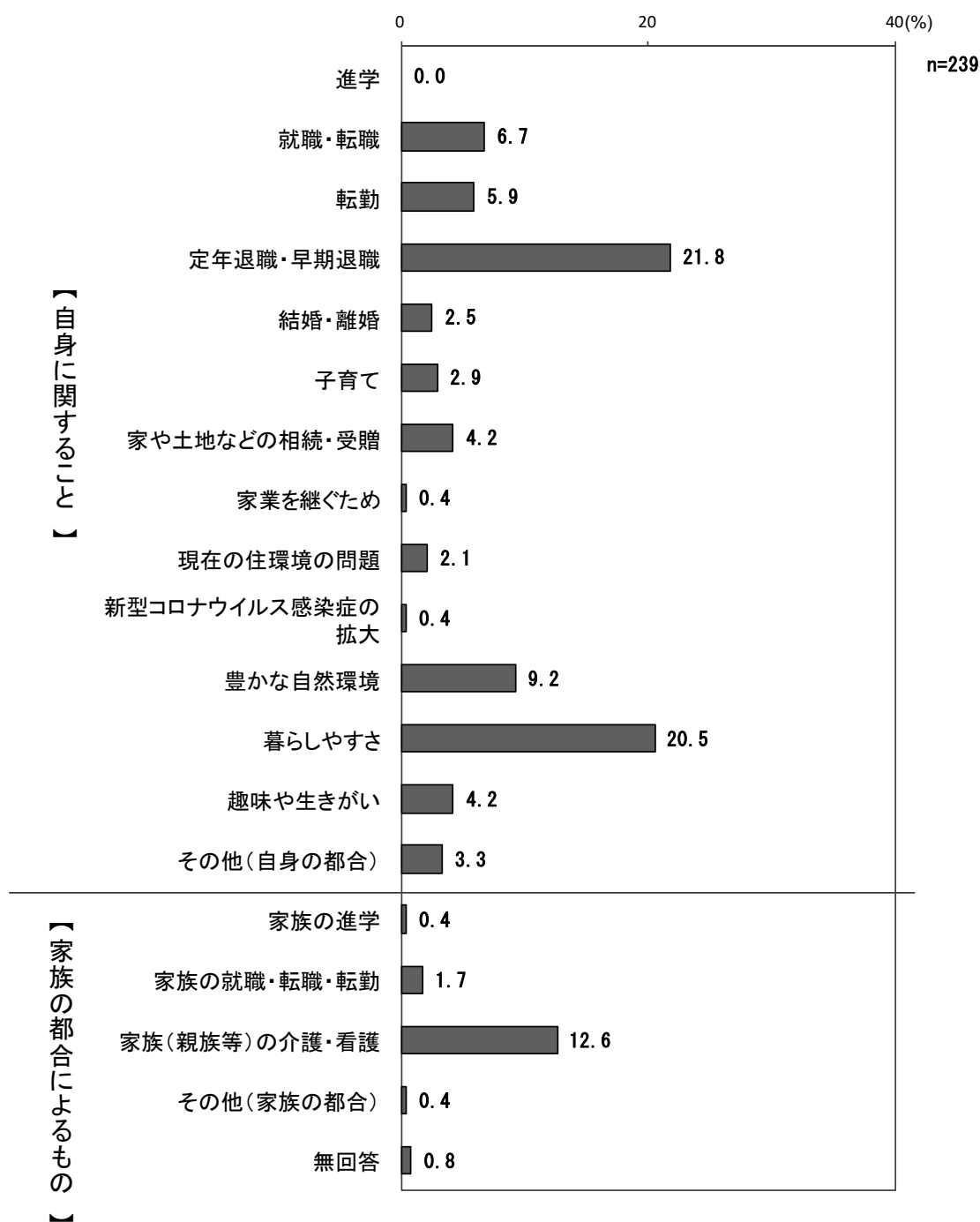


4. 松山市への移住について

(1) 移住のきっかけ

問19 仮にあなたが松山市へ移住するとしたら、何がきっかけになると思いますか。
(1つ選択)

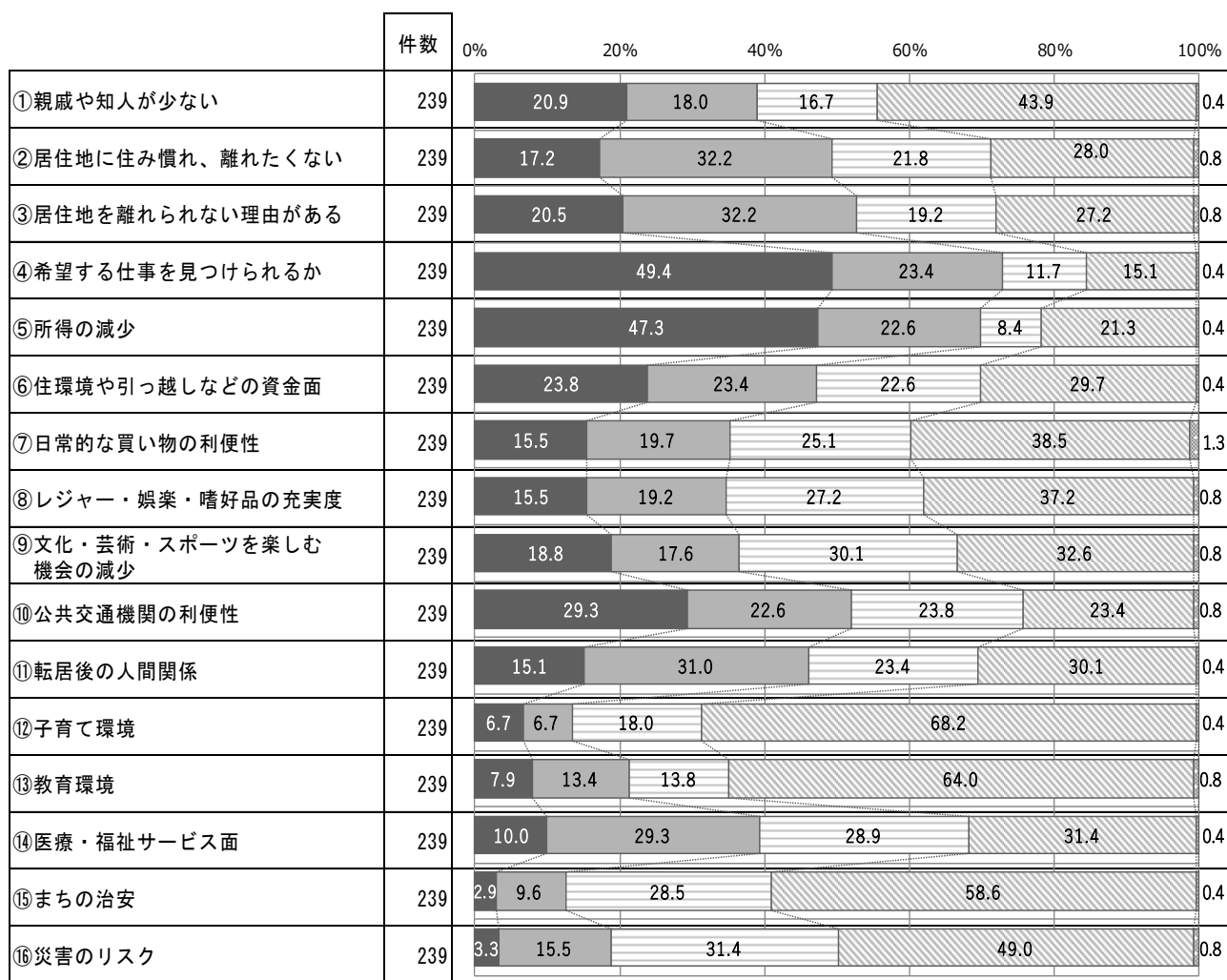
- ・全体結果では、回答者自身に関する項目については、「定年退職・早期退職」(21.8%)が最も高く、次いで「暮らしやすさ」(20.5%)と続いた。家族の都合によるものでは、「家族(親族等)の介護・看護」(12.6%)が最も高く、次いで「家族の就職・転職・転勤」(1.7%)と続いた。



(2)移住を検討する際に不安なこと

問20 仮にあなたが松山市への移住を検討する場合に不安なこととして、以下の項目についてどのようにお考えになりますか。(①～⑯の項目ごとに1つ選択)

- ・全体結果では、『当てはまる』（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合）は「④希望する仕事を見つけられるか」（72.8%）が最も高く、次いで「⑤所得の減少」（69.9%）、「③居住地を離れられない理由がある」（52.7%）、「⑩公共交通機関の利便性」（51.9%）、「②居住地に住み慣れ、離れたくない」（49.4%）と続いた。
- ・松山市への移住を検討する場合に不安なこととして、7割を超える方が就労への不安を感じている。

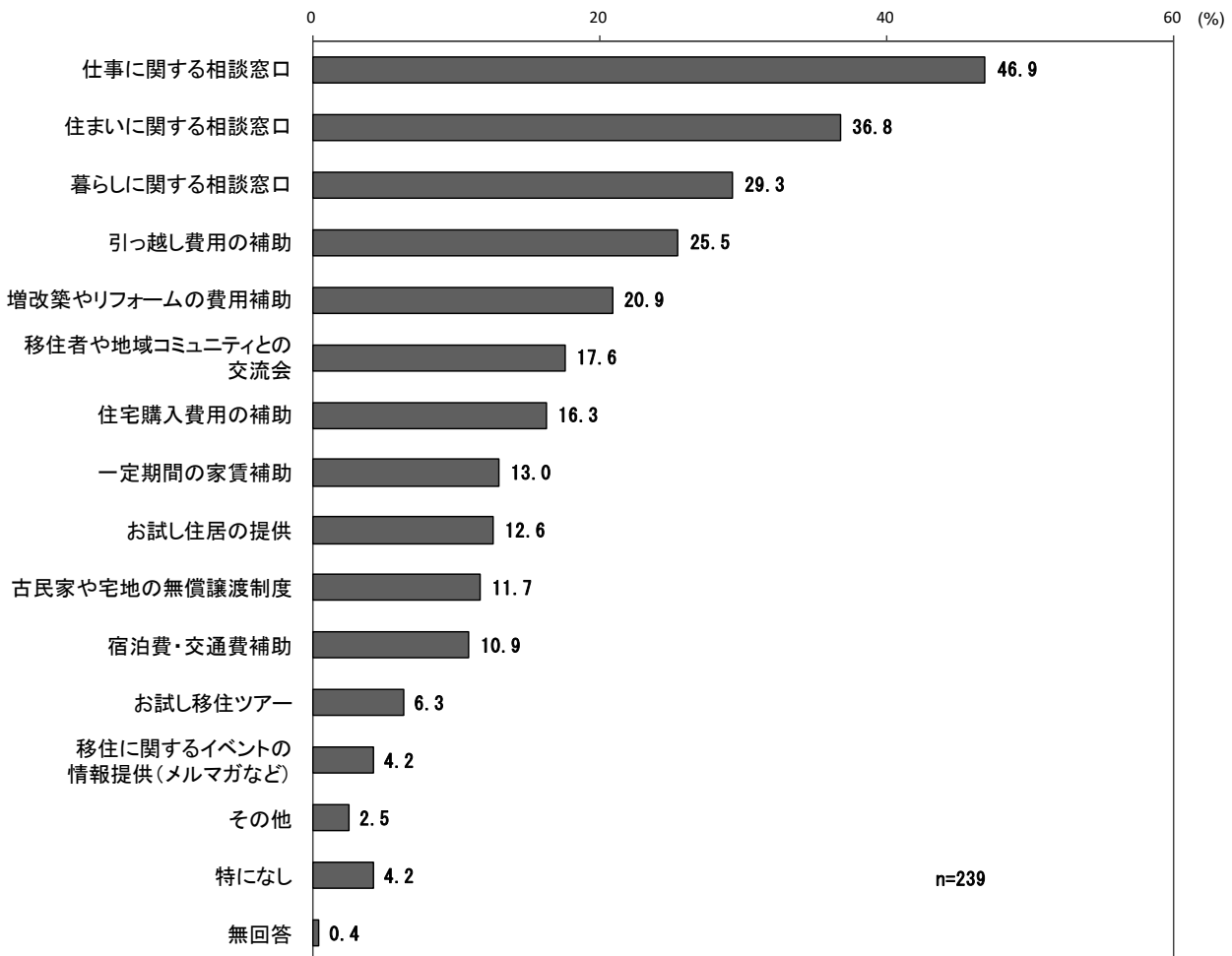


■ 当てはまる
 □ どちらかといえば当てはまる
 □ どちらかといえば当てはまらない
 □ 当てはまらない
 ■ 無回答

(3)移住を検討する際に重視する支援

問21 仮にあなたが松山市への移住を検討するとしたら、特に重視する支援は何ですか。
(3つまで選択)

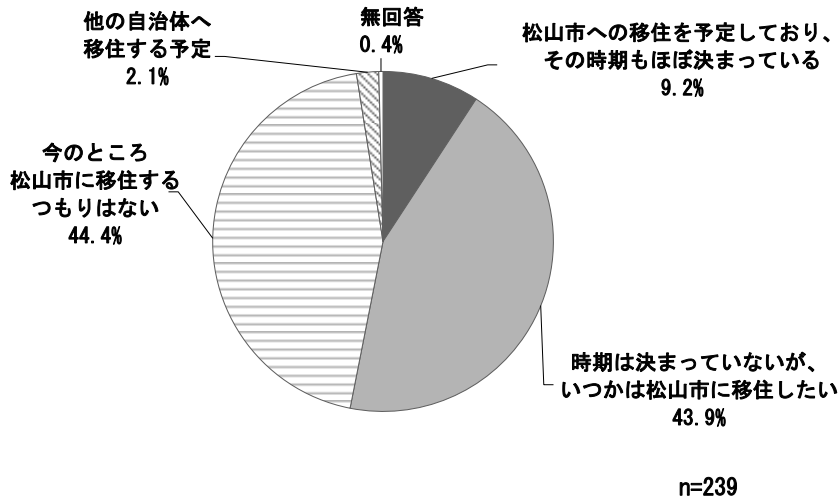
- ・全体結果では、「仕事に関する相談窓口」(46.9%)が最も高く、次いで「住まいに関する相談窓口」(36.8%)、「暮らしに関する相談窓口」(29.3%)、「引っ越し費用の補助」(25.5%)、「増改築やリフォームの費用補助」(20.9%)と続いた。



(4)今後、松山市に移住したいか

問22 あなたは今後、松山市に移住したいですか。(1つ選択)

- 全体結果では、「今のところ松山市に移住するつもりはない」(44.4%)が最も高く、次いで「時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」(43.9%)と続いた。
『移住したい』(「松山市への移住を予定しており、その時期もほぼ決まっている」と「時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」を合わせた割合)は、53.1%と半数の方が松山市への移住を希望している。



- 性別では、男性は「今のところ松山市に移住するつもりはない」が45.2%と最も高く、次いで「時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」41.5%と続いた。
女性は「時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」が46.5%と最も高く、次いで「今のところ松山市に移住するつもりはない」43.6%と続いた。
- 年齢別では、30歳代以下と70歳以上は「今のところ松山市に移住するつもりはない」が最も高く、次いで「時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」と続いた。(70歳以上では「松山市への移住を予定しており、その時期もほぼ決まっている」と「時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」が同率)。40歳代から60歳代では「時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」が最も高く、次いで「今のところ松山市に移住するつもりはない」と続いた。

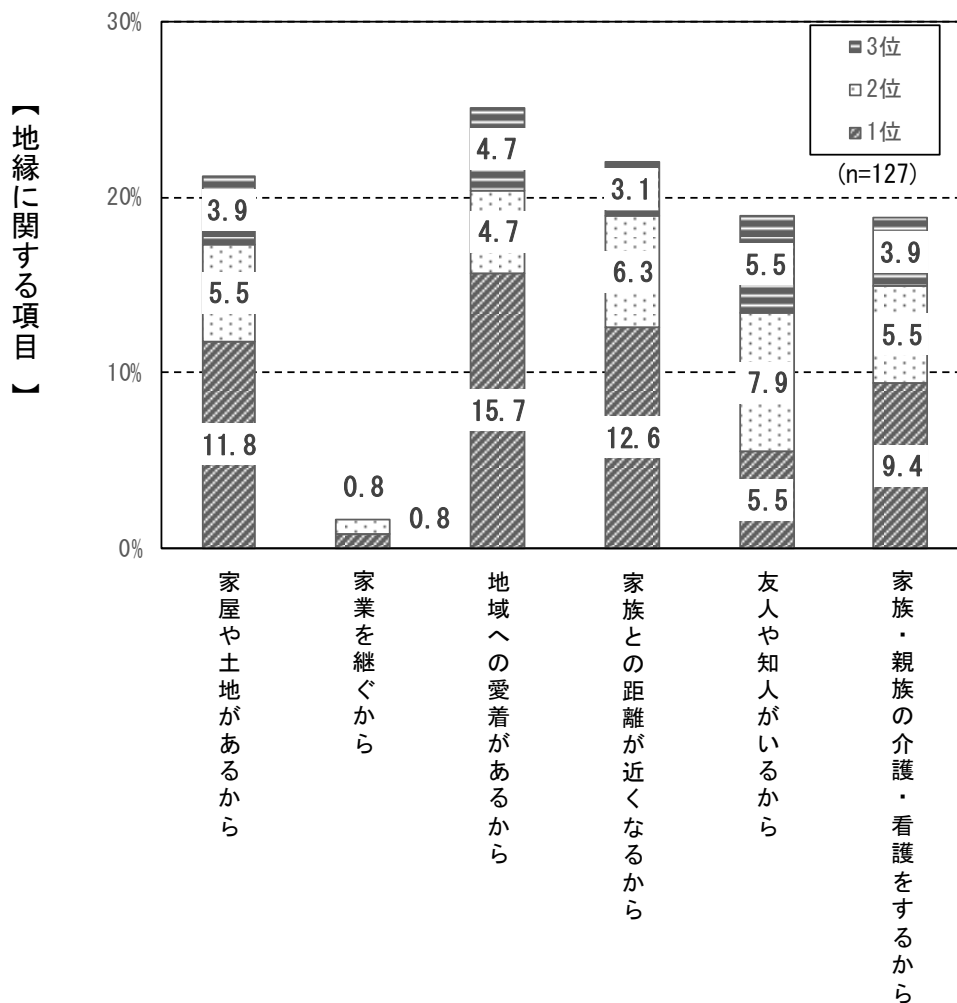
		件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
性別	全体	239	9.2	43.9	44.4	2.1	0.4	
	男性	135	9.6	41.5	45.2	3.0	0.7	
	女性	101	8.9	46.5	43.6	1.0	0.0	
	回答しない	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
年齢別	20歳代以下	22	4.5	40.9	54.5	0.0	0.0	
	30歳代	35	14.3	31.4	51.4	2.9	0.0	
	40歳代	44	4.5	59.1	36.4	0.0	0.0	
	50歳代	74	12.2	47.3	36.5	4.1	0.0	
	60歳代	50	8.0	46.0	42.0	2.0	2.0	
	70歳以上	14	7.1	7.1	85.7	0.0	0.0	

■松山市への移住を予定しており、その時期もほぼ決まっている
 □他の自治体へ移住する予定
 □無回答
 □時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい
 □今のところ松山市に移住するつもりはない

(5)松山市に移住したいと思う理由

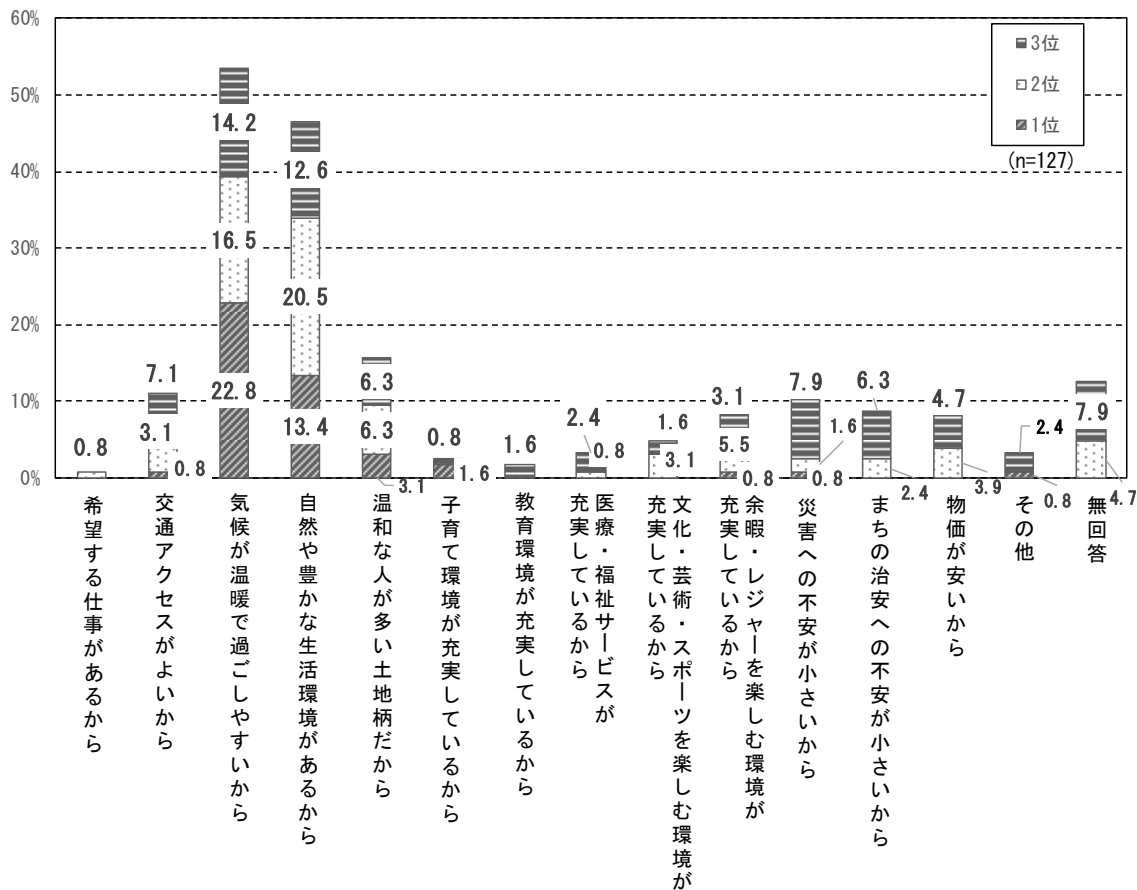
＜問22で「1. 松山市への移住を予定しており、その時期もほぼ決まっている」または「2. 時期は決まっていないが、いつかは松山市に移住したい」とお答えの方に＞
 問23 松山市に移住したいと思う理由は何ですか。①～⑳の中から上位3つを選択してください。（少なくとも1位は選択、上位3つまで選択）

- ・全体結果の地縁に関する項目では、1位は「地域への愛着があるから」（15.7%）が最も高く、次いで「家族との距離が近くなるから」（12.6%）、「家屋や土地があるから」（11.8%）と続いた。2位と3位は「友人や知人がいるから」がともに最も高く、2位が7.9%、3位が5.5%となっている。
- ・全体結果の生活環境に関する項目では、1位は「気候が温暖で過ごしやすいから」（22.8%）が最も高く、次いで「自然や豊かな生活環境があるから」（13.4%）、「温かな人が多い土地柄だから」（3.1%）と続いた。2位は「自然や豊かな生活環境があるから」（20.5%）が最も高く、次いで「気候が温暖で過ごしやすいから」（16.5%）、「温かな人が多い土地柄だから」（6.3%）と続いた。3位は「気候が温暖で過ごしやすいから」（14.2%）が最も高く、次いで「自然や豊かな生活環境があるから」（12.6%）と続いた。



(※) 回答数「0」は表示していない

【生活環境に関する項目】



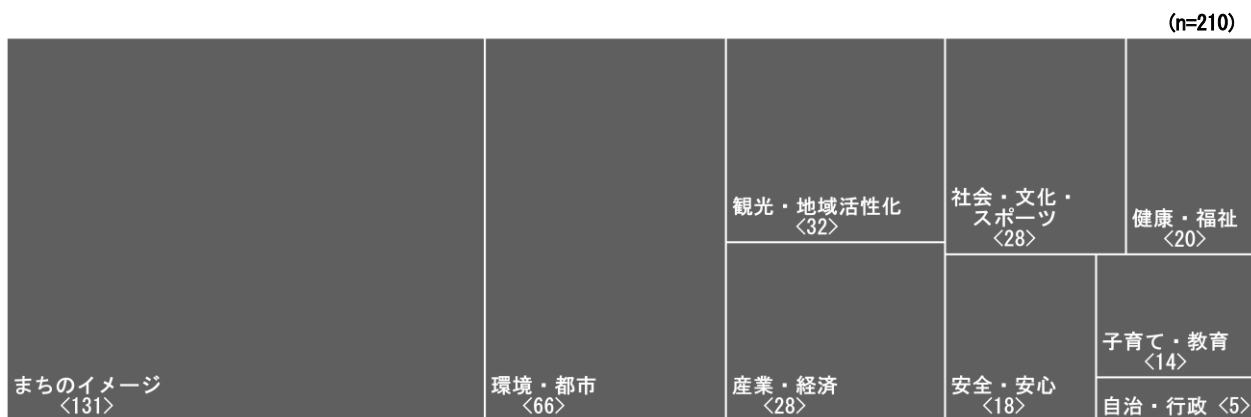
(※) 回答数「0」は表示していない

5. これからの松山市について

(1)10年後の松山市の理想の姿をイメージしたキーワード

問24 10年後の松山市について「こんなまちになってほしい!」「こんなまちなら住みたい!」という理想の姿をイメージして、1~20文字以内で表現してください。

- ・分野別延べ件数は、「まちのイメージ」(131件)が最も多く、次いで「環境・都市」(66件)、「観光・地域活性化」(32件)、「産業・経済」(28件)、「社会・文化・スポーツ」(ともに28件)、「健康・福祉」(20件)、「安全・安心」(18件)、「子育て・教育」(14件)、「自治・行政」(5件)と続いた。

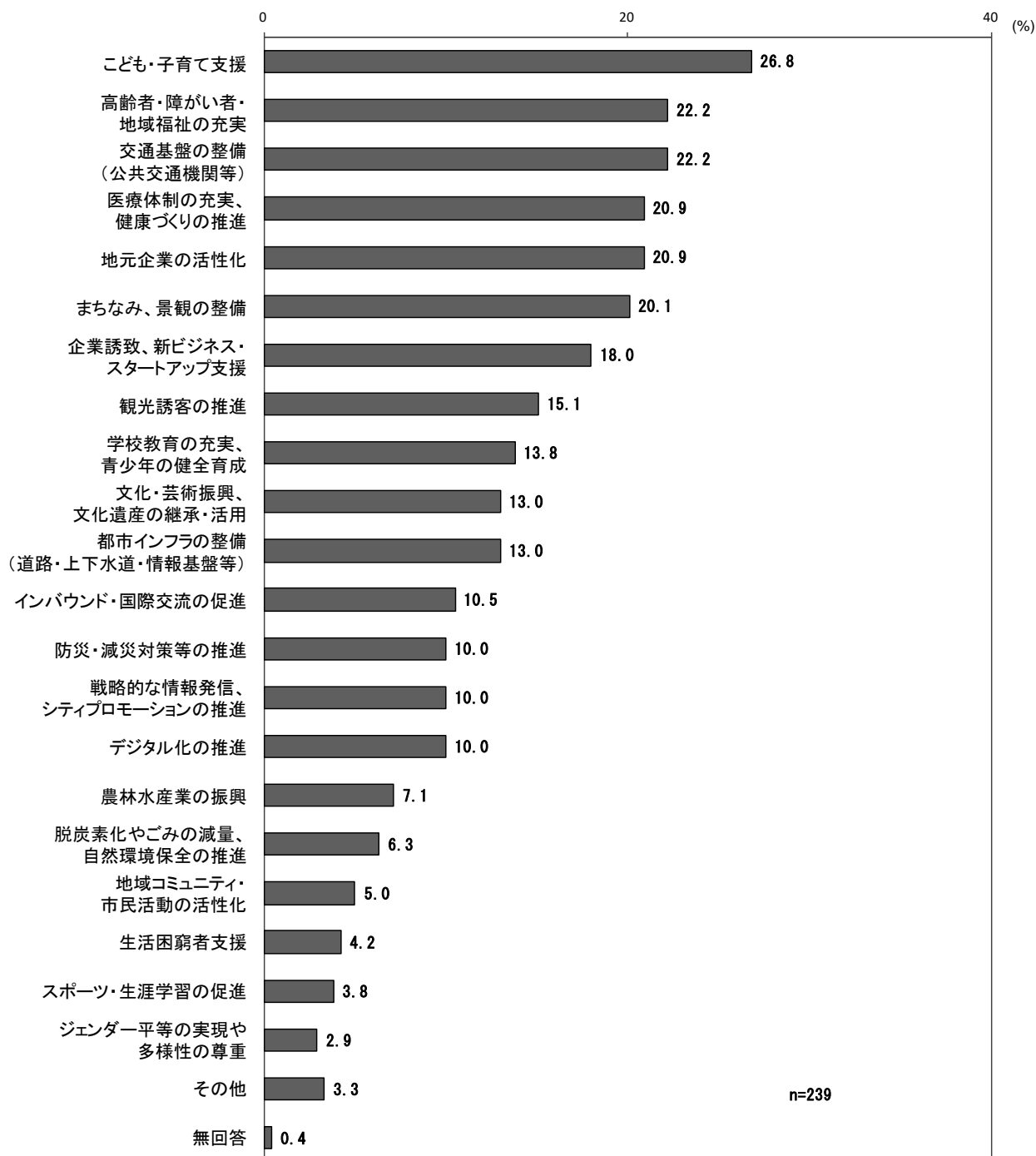


(※) 1つの回答が複数の分野に該当する場合があります、回答数と各分野の合計は一致しません。
()内は回答者数の総数、< >内は当該分野に該当する回答の延べ件数を示しています。

(2)力を入れるべき取り組み

問25 あなたは、10年後の松山市が理想的なまち（問24でイメージしたまち）になるために、どのような取り組みに力を入れるべきだと考えていますか。（3つまで選択）

- ・全体結果では、「こども・子育て支援」（26.8%）が最も高く、次いで「高齢者・障がい者・地域福祉の充実」と「交通基盤の整備（公共交通機関等）」がともに22.2%、「医療体制の充実、健康づくりの推進」と「地元企業の活性化」がともに20.9%、「まちなみ、景観の整備」（20.1%）と続いた。

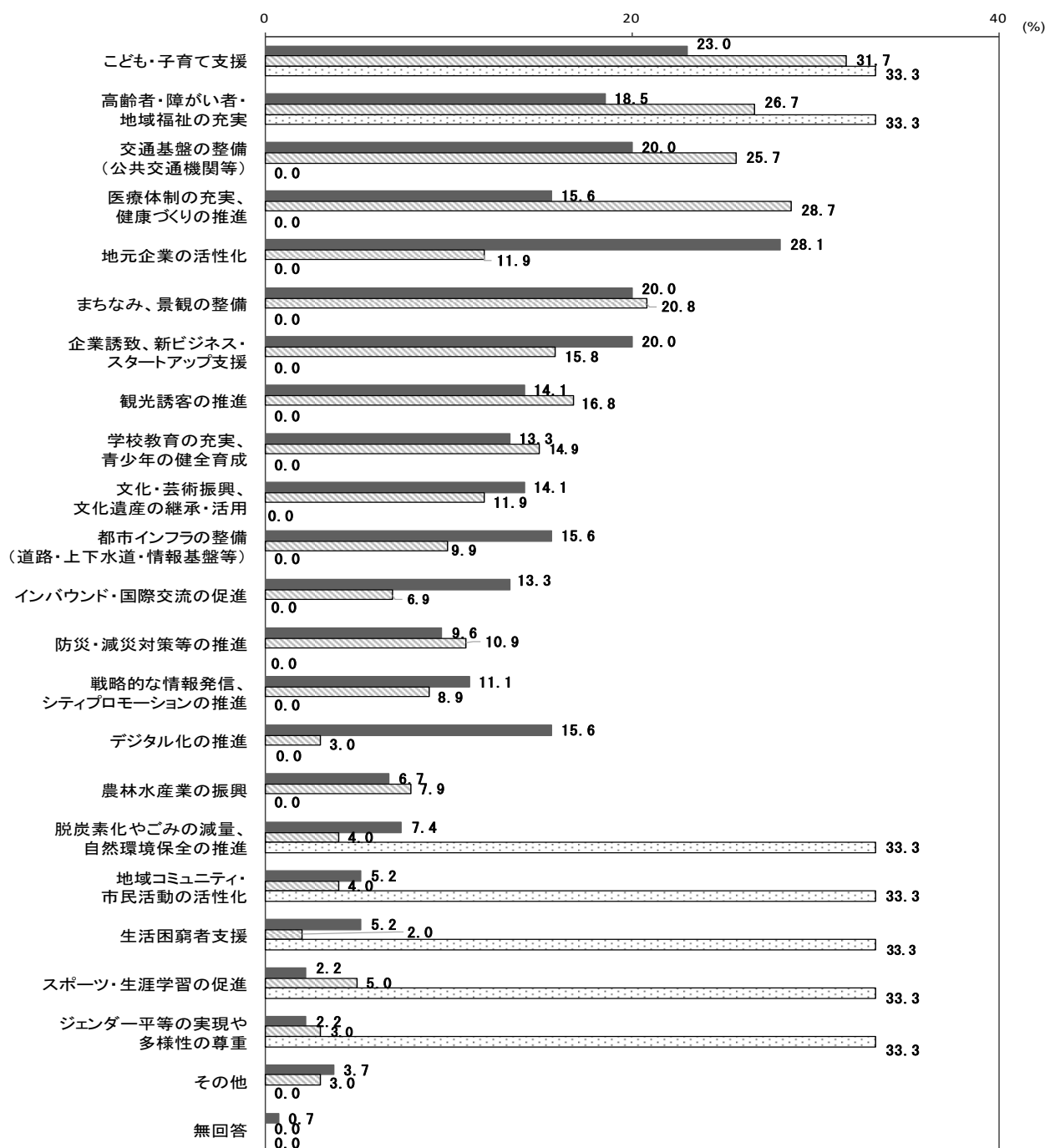


・性別では、男性は「地元企業の活性化」が28.1%と最も高く、次いで「こども・子育て支援」と続いた。

女性は「こども・子育て支援」が31.7%と最も高く、次いで「医療体制の充実、健康づくりの推進」「高齢者・障がい者・地域福祉の充実」と続いた。

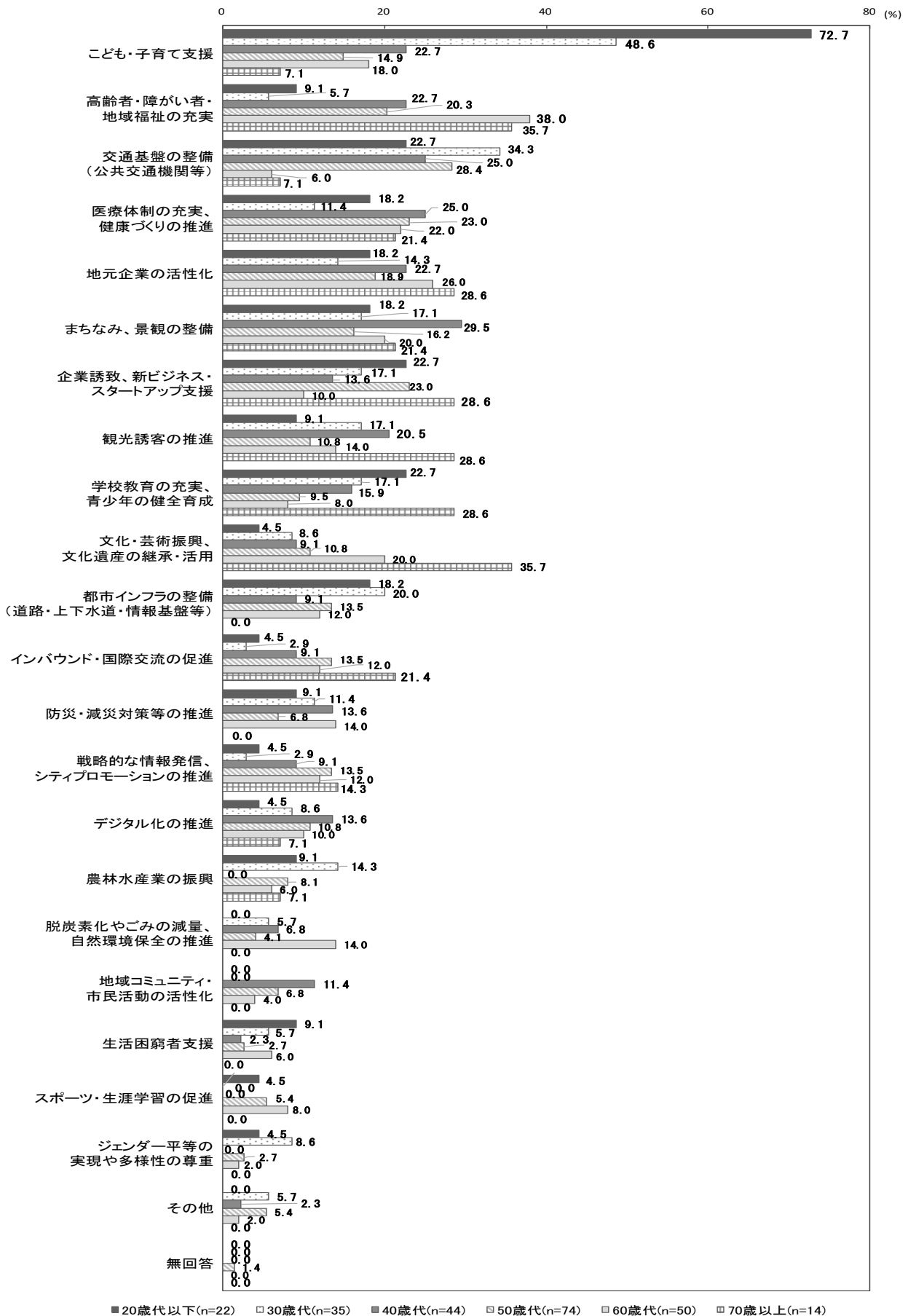
・年齢別では、30歳代以下は「こども・子育て支援」が最も高く、特に20歳代以下は7割を超えて高くなっている。40歳代は「まちなみ、景観の整備」が29.5%、50歳代は「交通基盤の整備（公共交通機関等）」が28.4%と最も高くなっている。60歳代以上では「高齢者・障がい者・地域福祉の充実」がともに35%程度と最も高くなっている（70歳以上は、「文化・芸術振興、文化遺産の継承・活用」と同率）。

<性別>



■ 男性(n=135) □ 女性(n=101) □ 回答しない(n=3)

<年齢別>



IV 調査分析

・ 施策の満足度分析（市民意識調査）

本章では、第6次松山市総合計画の施策ごとの満足度について、回答選択肢1（「不満」）から回答選択肢5（「満足」）まで、それぞれ1点から5点を与え、加重平均を算出した。なお、回答選択肢0「判断できない」と「無回答」のサンプルは、集計対象から除外している。また、得点については、小数点第3位を四捨五入しているため、同じ値で表示されていても順位が異なる場合がある。平均得点と得点差は、小数点第3位を四捨五入した値を基に分析している。

①全体集計

- ・ 全項目の平均得点は2.89で、普通（3.00）を下回るマイナス評価となった。
- ・ 分野ごとの平均では、【教育・文化】が最も高く、【産業・交流】が最も低い。

満足度平均得点（分野別）

	R4	R3	R2	R1	H30
全項目平均得点	2.89	2.95	2.92	2.91	2.90
①【健康・福祉】	2.86	2.95	2.93	2.92	2.89
②【安全・安心】	2.92	2.99	2.95	2.92	2.89
③【産業・交流】	2.78	2.85	2.83	2.83	2.82
④【教育・文化】	2.98	3.01	2.98	3.00	2.98
⑤【環境・都市】	2.89	2.95	2.90	2.88	2.90
⑥【自治・行政】	2.88	2.91	2.92	2.91	2.93

- ・ すべての分野が普通（3.00）を下回り、また令和3年度の平均得点を下回る。
- ・ 分野ごとの平均得点をみると、平均得点が高い順に④【教育・文化】、②【安全・安心】、⑤【環境・都市】、⑥【自治・行政】、①【健康・福祉】、③【産業・交流】となった。
- ・ 満足度が高い施策は、1位「④-7 文化遺産の継承」、2位「③-5 観光産業の振興」、3位「①-6 健康づくりの推進」となっており、上位3位は令和3年度と同順位であった。また、「③-4 選ばれる都市づくり」は令和3年度では7位であったが、令和4年度では4位と順位が上がった。
- ・ 満足度の低い施策は、下位から43位「③-6 良好な交通環境の整備」、42位「③-2 事業所立地と雇用創出の推進」、41位「③-7 交通基盤の整備」、「②-7 安定した水の供給」であった。

満足度ランキング（施策別）

R3年度より順位が高い施策 順位が低い施策 順位が同じ施策	↑ ↓ →	R4年度 順位	R3年度 順位	R2年度 順位	R1年度 順位	H30年度 順位	R4年度 得点	R3年度 得点	R2年度 得点	R1年度 得点	H30年度 得点
④-7 文化遺産の継承	→	1	1	1	1	1	3.38	3.30	3.25	3.26	3.27
③-5 観光産業の振興	→	2	2	2	2	2	3.25	3.15	3.21	3.25	3.25
①-6 健康づくりの推進	→	3	3	6	4	5	3.12	3.15	3.07	3.09	3.09
③-4 選ばれる都市づくり	↑	4	7	3	3	3	3.12	3.11	3.12	3.12	3.11
②-6 良好な衛生環境の維持	↓	5	4	7	6	4	3.11	3.14	3.07	3.07	3.09
④-8 文化芸術の振興と活用	↑	6	10	8	10	8	3.10	3.04	3.04	3.04	3.05
②-4 消防・救急・救助体制の整備	↓	7	6	5	7	7	3.05	3.13	3.07	3.07	3.06
⑤-2 上水道等の整備	↓	8	5	4	5	6	3.01	3.14	3.08	3.08	3.07
⑤-6 低炭素・循環型まちづくりの推進	↑	9	11	11	17	9	3.01	3.02	3.00	2.96	3.03
①-8 医療体制の整備	↓	10	8	9	9	10	3.01	3.05	3.03	3.04	3.01
⑤-7 環境保全・配慮型まちづくりの推進	↑	11	14	17	15	11	2.99	3.00	2.96	2.96	2.98
②-5 生活安全対策の推進	↑	12	15	12	11	15	2.97	3.00	2.98	2.99	2.97
⑥-1 市民主体のまちづくり	↑	13	19	18	16	14	2.95	2.97	2.96	2.96	2.97
④-4 地域スポーツの活性化	↓	14	12	13	12	16	2.94	3.02	2.97	2.99	2.97
①-1 子育て環境の充実と整備	↓	15	9	10	8	25	2.94	3.04	3.00	3.05	2.89
④-1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	↑	16	18	25	13	20	2.94	2.98	2.92	2.98	2.93
⑥-2 市民参画による政策形成	↑	17	24	15	20	12	2.94	2.93	2.96	2.93	2.98
④-6 人権と平和意識の醸成	↑	18	20	14	14	17	2.93	2.96	2.97	2.97	2.96
②-3 地域防災力の向上	↑	19	27	22	28	30	2.93	2.92	2.93	2.86	2.83
④-3 生涯学習の推進	↓	20	17	20	18	13	2.91	2.99	2.95	2.95	2.97
③-3 農林水産業の活性化	↑	21	22	16	33	34	2.91	2.96	2.96	2.84	2.77
⑤-4 良好な都市空間の形成	↓	22	21	27	24	23	2.91	2.96	2.89	2.90	2.91
⑤-3 下水道等の整備	↓	23	13	19	21	18	2.91	3.02	2.95	2.93	2.94
②-2 災害発生時における体制の整備	↑	24	28	29	35	37	2.90	2.91	2.89	2.82	2.76
②-1 防災対策等の推進	↑	25	33	33	37	40	2.90	2.88	2.84	2.77	2.69
⑥-5 行政情報の適正運用	↑	26	29	26	22	19	2.88	2.91	2.90	2.92	2.93
④-5 国際化の推進	↓	27	25	24	19	22	2.87	2.93	2.92	2.94	2.92
⑤-8 節水型都市づくりの推進	↓	28	16	23	23	21	2.87	2.99	2.92	2.91	2.92
⑥-3 地方分権・地方創生に対応する体制の整備	↑	29	31	21	25	24	2.82	2.90	2.93	2.88	2.91
⑥-4 効率的な行財政運営の推進	↑	30	36	34	27	27	2.82	2.82	2.84	2.87	2.88
①-4 障がい者福祉の充実	↓	31	30	32	31	28	2.79	2.90	2.87	2.84	2.84
⑤-5 計画的な土地利用の推進	↑	32	39	40	42	42	2.78	2.77	2.69	2.66	2.64
①-3 高齢者福祉の充実	↓	33	26	30	32	29	2.78	2.92	2.89	2.84	2.84
④-2 青少年の健全育成	↑	34	37	37	30	33	2.78	2.82	2.81	2.84	2.77
①-7 社会保障制度の充実	→	35	35	36	36	35	2.76	2.83	2.83	2.78	2.76
①-5 地域福祉の促進	↓	36	34	28	26	26	2.75	2.85	2.89	2.87	2.88
①-2 出会いからの環境整備	↓	37	32	35	29	31	2.71	2.88	2.84	2.85	2.82
③-1 雇用・就労環境の整備	↑	38	40	41	39	39	2.63	2.74	2.67	2.69	2.69
⑤-1 居住環境の整備	↑	39	41	39	40	38	2.60	2.72	2.69	2.67	2.72
②-7 安定した水の供給	↓	40	23	31	34	32	2.58	2.95	2.87	2.82	2.81
③-7 交通基盤の整備	↑	41	42	42	41	41	2.55	2.65	2.64	2.67	2.65
③-2 事業所立地と雇用創出の推進	↓	42	38	38	38	36	2.55	2.78	2.72	2.75	2.76
③-6 良好な交通環境の整備	→	43	43	43	43	43	2.44	2.54	2.51	2.53	2.53

②性別クロス集計

全項目平均得点【全体】2.89 【男性】2.85 【女性】2.92 【回答しない】2.79

- ・ほとんどの施策で、満足度は男性より女性の方が高い。
- ・得点が普通（3.00）を上回りプラスの評価がされている施策の数は、男性より女性が多い。
- ・男女ともに最も満足度が高い施策は、「④-7 文化遺産の継承」であった。
- ・満足度ランキング上位10位と下位5位に位置する施策は、順位に違いがあるものの、男女で大きな違いはみられない。

施策名	全体		男性		女性		回答しない	
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
④-7 文化遺産の継承	1	3.38	1	3.37	1	3.40	1	3.33
③-5 観光産業の振興	2	3.25	2	3.20	2	3.28	2	3.16
①-6 健康づくりの推進	3	3.12	4	3.09	4	3.15	13	2.91
③-4 選ばれる都市づくり	4	3.12	6	3.07	3	3.17	5	3.06
②-6 良好な衛生環境の維持	5	3.11	3	3.14	6	3.09	15	2.90
④-8 文化芸術の振興と活用	6	3.10	5	3.08	5	3.11	3	3.11
②-4 消防・救急・救助体制の整備	7	3.05	7	3.06	8	3.05	20	2.86
⑤-2 上水道等の整備	8	3.01	8	3.01	10	3.02	10	2.93
⑤-6 低炭素・循環型まちづくりの推進	9	3.01	13	2.93	7	3.07	14	2.90
①-8 医療体制の整備	10	3.01	10	2.98	9	3.03	16	2.89
⑤-7 環境保全・配慮型まちづくりの推進	11	2.99	11	2.96	11	3.02	4	3.08
②-5 生活安全対策の推進	12	2.97	9	2.98	14	2.97	22	2.82
⑥-1 市民主体のまちづくり	13	2.95	16	2.92	15	2.97	17	2.89
④-4 地域スポーツの活性化	14	2.94	14	2.93	18	2.95	7	3.03
①-1 子育て環境の充実と整備	15	2.94	15	2.92	16	2.96	12	2.92
④-1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	16	2.94	12	2.94	19	2.95	28	2.72
⑥-2 市民参画による政策形成	17	2.94	24	2.85	12	3.00	21	2.85
④-6 人権と平和意識の醸成	18	2.93	17	2.91	20	2.95	24	2.82
②-3 地域防災力の向上	19	2.93	20	2.89	17	2.96	35	2.67
④-3 生涯学習の推進	20	2.91	18	2.90	25	2.92	8	3.03
③-3 農林水産業の活性化	21	2.91	25	2.83	13	2.98	9	2.97
⑤-4 良好な都市空間の形成	22	2.91	22	2.87	23	2.94	11	2.93
⑤-3 下水道等の整備	23	2.91	19	2.90	26	2.92	23	2.82
②-2 災害発生時における体制の整備	24	2.90	23	2.86	22	2.94	34	2.67
②-1 防災対策等の推進	25	2.90	21	2.89	27	2.91	32	2.69
⑥-5 行政情報の適正運用	26	2.88	27	2.80	21	2.94	26	2.78
④-5 国際化の推進	27	2.87	26	2.82	28	2.90	18	2.88
⑤-8 節水型都市づくりの推進	28	2.87	30	2.77	24	2.94	19	2.88
⑥-3 地方分権・地方創生に対応する体制の整備	29	2.82	33	2.73	29	2.89	6	3.03
⑥-4 効率的な行政運営の推進	30	2.82	31	2.77	31	2.86	30	2.70
①-4 障がい者福祉の充実	31	2.79	29	2.78	33	2.81	36	2.60
⑤-5 計画的な土地利用の推進	32	2.78	36	2.69	30	2.86	27	2.73
①-3 高齢者福祉の充実	33	2.78	32	2.74	32	2.81	31	2.69
④-2 青少年の健全育成	34	2.78	28	2.78	35	2.78	37	2.59
①-7 社会保障制度の充実	35	2.76	35	2.71	34	2.80	33	2.67
①-5 地域福祉の促進	36	2.75	34	2.71	36	2.77	25	2.78
①-2 出会いからの環境整備	37	2.71	37	2.63	37	2.77	29	2.72
③-1 雇用・就労環境の整備	38	2.63	38	2.62	40	2.65	42	2.23
⑤-1 居住環境の整備	39	2.60	39	2.53	39	2.66	38	2.58
②-7 安定した水の供給	40	2.58	40	2.47	38	2.66	39	2.46
③-7 交通基盤の整備	41	2.55	41	2.46	42	2.63	40	2.38
③-2 事業所立地と雇用創出の推進	42	2.55	42	2.44	41	2.64	41	2.24
③-6 良好な交通環境の整備	43	2.44	43	2.40	43	2.47	43	2.22

③年齢別クロス集計

全項目平均得点【全体】2.89 【20歳代以下】2.97 【30歳代】2.94 【40歳代】2.85
 【50歳代】2.84 【60歳代】2.85 【70歳以上】2.92

- ・全項目平均得点は20歳代以下が最も高く、50歳代が最も低い。
- ・得点が普通（3.00）を上回りプラスの評価がされている施策の数は、20歳代以下が最も多く、50歳代と60歳代が最も少ない。
- ・「⑤-3 下水道等の整備」については、20歳代以下が3.24と唯一プラスの評価をしている。

施策名	全体		20歳代以下		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上	
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
④-7 文化遺産の継承	1	3.38	1	3.47	1	3.43	1	3.31	1	3.32	1	3.37	1	3.44
③-5 観光産業の振興	2	3.25	7	3.17	2	3.20	2	3.14	2	3.22	2	3.30	2	3.34
①-6 健康づくりの推進	3	3.12	6	3.19	5	3.15	6	3.04	4	3.06	5	3.07	3	3.24
③-4 選ばれる都市づくり	4	3.12	10	3.12	17	3.01	7	3.02	3	3.11	3	3.19	4	3.19
②-6 良好な衛生環境の維持	5	3.11	4	3.24	3	3.18	4	3.07	6	3.03	4	3.11	5	3.10
④-8 文化芸術の振興と活用	6	3.10	5	3.22	4	3.16	3	3.10	5	3.04	6	3.06	7	3.10
②-4 消防・救急・救助体制の整備	7	3.05	9	3.13	6	3.12	5	3.05	10	2.93	7	3.05	8	3.09
⑤-2 上水道等の整備	8	3.01	2	3.25	7	3.10	8	3.02	13	2.92	13	2.92	10	3.04
⑤-6 低炭素・循環型まちづくりの推進	9	3.01	11	3.08	8	3.09	9	2.99	7	3.02	15	2.91	9	3.05
①-8 医療体制の整備	10	3.01	8	3.14	9	3.08	13	2.97	16	2.89	11	2.94	6	3.10
⑤-7 環境保全・配慮型まちづくりの推進	11	2.99	12	3.06	10	3.07	10	2.99	8	3.00	10	2.94	16	2.97
②-5 生活安全対策の推進	12	2.97	17	3.03	12	3.05	20	2.92	18	2.89	8	2.99	15	2.99
⑥-1 市民主体のまちづくり	13	2.95	20	3.01	27	2.93	16	2.95	11	2.92	16	2.90	14	2.99
④-4 地域スポーツの活性化	14	2.94	22	2.97	11	3.06	22	2.88	14	2.91	19	2.88	13	3.01
①-1 子育て環境の充実と整備	15	2.94	35	2.86	26	2.93	26	2.87	12	2.92	9	2.96	11	3.03
④-1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	16	2.94	31	2.88	22	2.96	21	2.91	15	2.89	12	2.93	12	3.03
⑥-2 市民参画による政策形成	17	2.94	29	2.89	24	2.95	15	2.96	9	2.97	14	2.91	18	2.94
④-6 人権と平和意識の醸成	18	2.93	16	3.04	21	2.97	11	2.99	19	2.89	17	2.90	21	2.89
②-3 地域防災力の向上	19	2.93	18	3.02	13	3.05	14	2.97	21	2.87	24	2.85	20	2.91
④-3 生涯学習の推進	20	2.91	24	2.96	18	3.00	23	2.88	20	2.88	18	2.89	19	2.92
③-3 農林水産業の活性化	21	2.91	13	3.06	14	3.05	12	2.98	22	2.86	26	2.84	28	2.85
⑤-4 良好な都市空間の形成	22	2.91	15	3.05	19	2.99	25	2.87	17	2.89	22	2.86	22	2.89
⑤-3 下水道等の整備	23	2.91	3	3.24	20	2.99	17	2.95	30	2.76	31	2.78	17	2.95
②-2 災害発生時における体制の整備	24	2.90	21	2.97	15	3.04	19	2.93	24	2.82	20	2.88	25	2.87
②-1 防災対策等の推進	25	2.90	14	3.05	16	3.02	18	2.93	27	2.81	25	2.85	26	2.86
⑥-5 行政情報の適正運用	26	2.88	28	2.93	23	2.96	24	2.87	23	2.85	21	2.88	32	2.83
④-5 国際化の推進	27	2.87	26	2.94	30	2.88	28	2.86	25	2.82	23	2.86	23	2.89
⑤-8 節水型都市づくりの推進	28	2.87	19	3.01	25	2.94	27	2.86	26	2.82	28	2.79	24	2.88
⑥-3 地方分権・地方創生に対応する体制の整備	29	2.82	23	2.96	32	2.87	29	2.81	28	2.80	27	2.81	37	2.78
⑥-4 効率的な行財政運営の推進	30	2.82	27	2.94	34	2.80	30	2.79	29	2.77	29	2.79	27	2.85
①-4 障がい者福祉の充実	31	2.79	33	2.86	29	2.90	35	2.74	31	2.75	32	2.76	30	2.84
⑤-5 計画的な土地利用の推進	32	2.78	34	2.86	33	2.83	33	2.75	36	2.72	33	2.76	31	2.83
①-3 高齢者福祉の充実	33	2.78	30	2.89	28	2.91	31	2.78	33	2.74	36	2.69	34	2.82
④-2 青少年の健全育成	34	2.78	38	2.80	35	2.79	34	2.74	34	2.73	30	2.79	33	2.82
①-7 社会保障制度の充実	35	2.76	32	2.87	36	2.75	37	2.65	37	2.72	34	2.74	29	2.85
①-5 地域福祉の促進	36	2.75	37	2.82	31	2.88	36	2.68	32	2.74	38	2.65	36	2.80
①-2 出会いからの環境整備	37	2.71	41	2.57	39	2.63	32	2.76	35	2.73	35	2.70	35	2.81
③-1 雇用・就労環境の整備	38	2.63	39	2.61	40	2.63	39	2.55	38	2.61	37	2.65	39	2.69
⑤-1 居住環境の整備	39	2.60	36	2.84	37	2.72	38	2.56	39	2.57	41	2.50	41	2.61
②-7 安定した水の供給	40	2.58	25	2.95	38	2.71	42	2.42	42	2.43	42	2.48	40	2.68
③-7 交通基盤の整備	41	2.55	43	2.51	41	2.54	41	2.42	41	2.45	40	2.55	38	2.76
③-2 事業所立地と雇用創出の推進	42	2.55	40	2.60	42	2.53	40	2.46	40	2.51	39	2.57	42	2.60
③-6 良好な交通環境の整備	43	2.44	42	2.56	43	2.39	43	2.39	43	2.38	43	2.40	43	2.53

④地域別クロス集計

全項目平均得点【全体】 2.89 【第1ブロック】 2.90 【第2ブロック】 2.83 【第3ブロック】 2.90
 【第4ブロック】 2.93 【第5ブロック】 2.88 【第6ブロック】 2.87
 【第7ブロック】 2.92 【第8ブロック】 2.91

- ・全項目平均得点は第4ブロックが最も高く、第2ブロックが最も低い。
- ・得点が普通（3.00）を上回りプラスの評価がされている施策の数は、第3ブロック、第4ブロックが最も多く、第5ブロックが最も少ない。
- ・「⑤-3 下水道等の整備」については、第3ブロック、第4ブロック、第8ブロックではプラスの評価がされているが、第6ブロックでは下位5位で、地域によってバラつきがみられた。

施策名	全体		第1ブロック		第2ブロック		第3ブロック		第4ブロック		第5ブロック		第6ブロック		第7ブロック		第8ブロック	
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
④-7 文化遺産の継承	1	3.38	1	3.37	1	3.32	1	3.49	1	3.43	1	3.32	1	3.36	1	3.40	1	3.40
③-5 観光産業の振興	2	3.25	2	3.33	2	3.27	2	3.28	2	3.25	2	3.15	2	3.33	2	3.27	2	3.20
①-6 健康づくりの推進	3	3.12	15	2.97	3	3.07	4	3.14	3	3.20	6	3.08	8	3.02	4	3.23	3	3.17
③-4 選ばれる都市づくり	4	3.12	3	3.18	4	3.07	3	3.14	5	3.14	3	3.12	4	3.16	5	3.17	7	3.07
②-6 良好な衛生環境の維持	5	3.11	4	3.15	5	3.05	7	3.10	4	3.17	4	3.09	5	3.07	3	3.24	9	3.03
④-8 文化芸術の振興と活用	6	3.10	5	3.14	6	3.04	5	3.13	8	3.12	5	3.09	3	3.16	6	3.14	8	3.05
②-4 消防・救急・救助体制の整備	7	3.05	8	3.05	8	3.00	6	3.12	6	3.12	7	3.00	7	3.03	7	3.09	18	2.97
⑤-2 上水道等の整備	8	3.01	28	2.85	14	2.90	8	3.07	7	3.12	9	2.99	21	2.89	9	3.09	4	3.13
⑤-6 低炭素・循環型まちづくりの推進	9	3.01	9	3.05	7	3.01	12	3.01	11	3.04	11	2.98	9	3.00	11	3.04	21	2.94
①-8 医療体制の整備	10	3.01	24	2.92	9	2.96	10	3.02	9	3.08	8	3.00	14	2.93	10	3.04	17	2.98
⑤-7 環境保全・配慮型まちづくりの推進	11	2.99	7	3.07	10	2.94	11	3.02	12	3.03	10	2.98	6	3.03	12	3.03	20	2.94
②-5 生活安全対策の推進	12	2.97	14	2.98	12	2.91	16	2.98	15	2.98	13	2.97	11	2.96	8	3.09	11	3.01
⑥-1 市民主体のまちづくり	13	2.95	23	2.92	16	2.89	17	2.93	22	2.96	12	2.98	16	2.93	16	2.98	6	3.08
④-4 地域スポーツの活性化	14	2.94	19	2.96	18	2.87	14	2.98	21	2.96	15	2.96	13	2.94	13	3.00	15	2.98
①-1 子育て環境の充実と整備	15	2.94	10	3.04	15	2.89	9	3.03	14	2.99	24	2.90	23	2.88	26	2.89	10	3.01
④-1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	16	2.94	6	3.08	11	2.92	27	2.88	17	2.98	17	2.95	25	2.87	14	2.99	22	2.93
⑥-2 市民参画による政策形成	17	2.94	17	2.97	17	2.89	18	2.93	23	2.96	20	2.93	10	2.98	19	2.98	12	3.00
④-6 人権と平和意識の醸成	18	2.93	30	2.84	13	2.90	24	2.91	26	2.92	16	2.96	12	2.95	15	2.98	16	2.98
②-3 地域防災力の向上	19	2.93	11	3.03	20	2.86	20	2.92	19	2.98	21	2.93	15	2.93	17	2.98	25	2.89
④-3 生涯学習の推進	20	2.91	18	2.96	23	2.84	22	2.91	24	2.94	19	2.93	17	2.93	22	2.94	14	2.99
③-3 農林水産業の活性化	21	2.91	33	2.83	24	2.83	15	2.98	13	3.02	14	2.96	30	2.83	24	2.90	35	2.75
⑤-4 良好な都市空間の形成	22	2.91	12	3.02	22	2.85	21	2.92	20	2.97	18	2.95	26	2.86	25	2.89	31	2.83
⑤-3 下水道等の整備	23	2.91	31	2.84	30	2.77	13	3.01	10	3.06	22	2.92	39	2.66	27	2.86	5	3.09
②-2 災害発生時における体制の整備	24	2.90	22	2.94	19	2.87	19	2.92	16	2.98	29	2.84	29	2.83	21	2.94	26	2.88
②-1 防災対策等の推進	25	2.90	13	2.98	25	2.82	23	2.91	25	2.93	23	2.91	28	2.83	18	2.98	24	2.91
⑥-5 行政情報の適正運用	26	2.88	21	2.94	21	2.86	25	2.90	28	2.88	27	2.87	19	2.90	29	2.85	23	2.92
④-5 国際化の推進	27	2.87	29	2.85	26	2.78	26	2.88	27	2.90	25	2.89	20	2.90	20	2.97	32	2.83
⑤-8 節水型都市づくりの推進	28	2.87	26	2.91	29	2.77	30	2.84	18	2.98	28	2.87	22	2.89	31	2.84	19	2.97
⑥-3 地方分権・地方創生に対応する体制の整備	29	2.82	27	2.89	32	2.75	29	2.84	34	2.79	30	2.82	18	2.92	23	2.92	27	2.88
⑥-4 効率的な行財政運営の推進	30	2.82	32	2.83	33	2.74	28	2.85	30	2.86	31	2.80	27	2.85	28	2.85	30	2.84
①-4 障がい者福祉の充実	31	2.79	36	2.69	27	2.78	34	2.79	33	2.80	26	2.88	36	2.66	32	2.84	33	2.82
⑤-5 計画的な土地利用の推進	32	2.78	25	2.92	31	2.76	37	2.70	36	2.78	33	2.78	24	2.88	30	2.84	28	2.87
①-3 高齢者福祉の充実	33	2.78	16	2.97	37	2.68	33	2.80	29	2.86	32	2.79	37	2.66	33	2.82	29	2.87
④-2 青少年の健全育成	34	2.78	20	2.95	28	2.78	32	2.82	35	2.79	36	2.71	31	2.75	35	2.77	34	2.81
①-7 社会保障制度の充実	35	2.76	39	2.64	35	2.70	31	2.82	31	2.82	34	2.76	33	2.73	36	2.75	36	2.74
①-5 地域福祉の促進	36	2.75	34	2.76	34	2.72	35	2.74	32	2.80	35	2.73	35	2.70	34	2.79	38	2.72
①-2 出会いからの環境整備	37	2.71	35	2.70	36	2.70	36	2.72	37	2.75	37	2.70	34	2.72	38	2.70	37	2.72
③-1 雇用・就労環境の整備	38	2.63	37	2.68	38	2.58	38	2.65	39	2.63	38	2.66	40	2.60	39	2.69	40	2.61
⑤-1 居住環境の整備	39	2.60	38	2.66	39	2.54	39	2.63	38	2.64	39	2.60	41	2.58	40	2.66	42	2.55
②-7 安定した水の供給	40	2.58	40	2.62	40	2.54	41	2.53	43	2.52	42	2.44	38	2.66	37	2.75	13	2.99
③-7 交通基盤の整備	41	2.55	42	2.39	42	2.49	40	2.60	40	2.59	41	2.51	32	2.74	42	2.54	39	2.62
③-2 事業所立地と雇用創出の推進	42	2.55	41	2.59	41	2.53	42	2.52	41	2.56	40	2.55	42	2.52	41	2.60	41	2.57
③-6 良好な交通環境の整備	43	2.44	43	2.25	43	2.37	43	2.44	42	2.55	43	2.43	43	2.48	43	2.44	43	2.39

<参考>

施策別満足度・重要度一覧表（分野別平均）

大項目	施策名	満足度										重要度							
		R4年度		R3年度		R2年度		R1年度		H30年度		R3年度		R2年度		R1年度		H30年度	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
①【健康・福祉】	1 子育て環境の充実と整備	15	2.94	9	3.04	10	3.00	8	3.05	25	2.89	4	4.20	5	4.20	4	4.20	4	4.14
	2 出会いからの環境整備	37	2.71	32	2.88	35	2.84	29	2.85	31	2.82	33	3.60	32	3.64	30	3.64	33	3.55
	3 高齢者福祉の充実	33	2.78	26	2.92	30	2.89	32	2.84	29	2.84	13	4.00	11	4.00	10	4.01	15	3.88
	4 障がい者福祉の充実	31	2.79	30	2.90	32	2.87	31	2.84	28	2.84	16	3.96	15	3.95	15	3.90	17	3.85
	5 地域福祉の促進	36	2.75	34	2.85	28	2.89	26	2.87	26	2.88	35	3.58	34	3.56	33	3.56	35	3.50
	6 健康づくりの推進	3	3.12	3	3.15	6	3.07	4	3.09	5	3.09	23	3.82	24	3.76	23	3.78	28	3.72
	7 社会保障制度の充実	35	2.76	35	2.83	36	2.83	36	2.78	35	2.76	19	3.93	20	3.85	20	3.85	21	3.82
	8 医療体制の整備	10	3.01	8	3.05	9	3.03	9	3.04	10	3.01	5	4.20	4	4.21	7	4.11	6	4.09
	①【健康・福祉】平均		2.86		2.95		2.93		2.92		2.89		3.91		3.90		3.88		3.82
②【安全・安心】	1 防災対策等の推進	25	2.90	33	2.88	33	2.84	37	2.77	40	2.69	1	4.28	3	4.22	3	4.29	1	4.26
	2 災害発生時における体制の整備	24	2.90	28	2.91	29	2.89	35	2.82	37	2.76	3	4.27	2	4.25	2	4.30	2	4.26
	3 地域防災力の向上	19	2.93	27	2.92	22	2.93	28	2.86	30	2.83	7	4.12	8	4.04	5	4.14	8	4.07
	4 消防・救急・救助体制の整備	7	3.05	6	3.13	5	3.07	7	3.07	7	3.06	8	4.10	7	4.07	6	4.12	9	4.06
	5 生活安全対策の推進	12	2.97	15	3.00	12	2.98	11	2.99	15	2.97	10	4.02	14	3.96	11	3.98	11	3.92
	6 良好な衛生環境の維持	5	3.11	4	3.14	7	3.07	6	3.07	4	3.09	12	4.01	12	3.99	12	3.97	18	3.84
	7 安定した水の供給	40	2.58	23	2.95	31	2.87	34	2.82	32	2.81	2	4.28	1	4.30	1	4.31	3	4.24
	②【安全・安心】平均		2.92		2.99		2.95		2.92		2.89		4.15		4.12		4.16		4.09
③【産業・交流】	1 雇用・就労環境の整備	38	2.63	40	2.74	41	2.67	39	2.69	39	2.69	14	4.00	13	3.97	16	3.90	13	3.90
	2 事業所立地と雇用創出の推進	42	2.55	38	2.78	38	2.72	38	2.75	36	2.76	24	3.81	23	3.76	26	3.69	26	3.73
	3 農林水産業の活性化	21	2.91	22	2.96	16	2.96	33	2.84	34	2.77	25	3.78	26	3.72	24	3.76	20	3.82
	4 選ばれる都市づくり	4	3.12	7	3.11	3	3.12	3	3.12	3	3.11	37	3.53	36	3.47	35	3.51	31	3.59
	5 観光産業の振興	2	3.25	2	3.15	2	3.21	2	3.25	2	3.25	29	3.72	28	3.69	27	3.69	24	3.78
	6 良好な交通環境の整備	43	2.44	43	2.54	43	2.51	43	2.53	43	2.53	6	4.17	6	4.11	8	4.10	7	4.07
	7 交通基盤の整備	41	2.55	42	2.65	42	2.64	41	2.67	41	2.65	15	3.97	18	3.90	14	3.91	12	3.91
③【産業・交流】平均		2.78		2.85		2.83		2.83		2.82		3.85		3.80		3.79		3.83	
④【教育・文化】	1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	16	2.94	18	2.98	25	2.92	13	2.98	20	2.93	11	4.02	9	4.02	13	3.92	10	3.96
	2 青少年の健全育成	34	2.78	37	2.82	37	2.81	30	2.84	33	2.77	9	4.08	10	4.02	9	4.01	5	4.10
	3 生涯学習の推進	20	2.91	17	2.99	20	2.95	18	2.95	13	2.97	38	3.48	39	3.42	38	3.44	39	3.41
	4 地域スポーツの活性化	14	2.94	12	3.02	13	2.97	12	2.99	16	2.97	39	3.47	40	3.42	39	3.41	38	3.43
	5 国際化の推進	27	2.87	25	2.93	24	2.92	19	2.94	22	2.92	40	3.44	38	3.43	41	3.35	40	3.38
	6 人権と平和意識の醸成	18	2.93	20	2.96	14	2.97	14	2.97	17	2.96	34	3.59	35	3.50	37	3.48	37	3.46
	7 文化遺産の継承	1	3.38	1	3.30	1	3.25	1	3.26	1	3.27	31	3.66	30	3.66	29	3.68	29	3.67
	8 文化芸術の振興と活用	6	3.10	10	3.04	8	3.04	10	3.04	8	3.05	41	3.42	41	3.36	40	3.37	42	3.35
④【教育・文化】平均		2.98		3.01		2.98		3.00		2.98		3.64		3.60		3.60		3.60	
⑤【環境・都市】	1 居住環境の整備	39	2.60	41	2.72	39	2.69	40	2.67	38	2.72	22	3.85	21	3.83	22	3.81	22	3.80
	2 上水道等の整備	8	3.01	5	3.14	4	3.08	5	3.08	6	3.07	18	3.93	16	3.94	17	3.88	14	3.88
	3 下水道等の整備	23	2.91	13	3.02	19	2.95	21	2.93	18	2.94	17	3.93	17	3.93	18	3.88	16	3.86
	4 良好な都市空間の形成	22	2.91	21	2.96	27	2.89	24	2.90	23	2.91	32	3.65	33	3.60	34	3.56	34	3.55
	5 計画的な土地利用の推進	32	2.78	39	2.77	40	2.69	42	2.66	42	2.64	28	3.75	27	3.70	25	3.72	23	3.78
	6 低炭素・循環型まちづくりの推進	9	3.01	11	3.02	11	3.00	17	2.96	9	3.03	20	3.92	22	3.82	21	3.84	27	3.73
	7 環境保全・配慮型まちづくりの推進	11	2.99	14	3.00	17	2.96	15	2.96	11	2.98	30	3.69	31	3.65	32	3.63	32	3.58
	8 節水型都市づくりの推進	28	2.87	16	2.99	23	2.92	23	2.91	21	2.92	21	3.86	19	3.86	19	3.87	19	3.82
⑤【環境・都市】平均		2.89		2.95		2.90		2.88		2.90		3.82		3.79		3.77		3.75	
⑥【自治・行政】	1 市民主体のまちづくり	13	2.95	19	2.97	18	2.96	16	2.96	14	2.97	43	3.36	43	3.29	43	3.28	43	3.34
	2 市民参画による政策形成	17	2.94	24	2.93	15	2.96	20	2.93	12	2.98	42	3.40	42	3.30	42	3.31	41	3.35
	3 地方分権・地方創生に対応する体制の整備	29	2.82	31	2.90	21	2.93	25	2.88	24	2.91	36	3.58	37	3.45	36	3.50	36	3.50
	4 効率的な行政運営の推進	30	2.82	36	2.82	34	2.84	27	2.87	27	2.88	27	3.78	25	3.73	28	3.69	25	3.73
	5 行政情報の適正運用	26	2.88	29	2.91	26	2.90	22	2.92	19	2.93	26	3.78	29	3.69	31	3.63	30	3.63
⑥【自治・行政】平均		2.88		2.91		2.92		2.91		2.93		3.58		3.49		3.48		3.51	
全体平均		2.89		2.95		2.92		2.91		2.90		3.84		3.80		3.77		3.77	

(※) 令和4年度の重要度については、「10年後の松山市が理想のまちになるために、力を入れるべき取り組み」として確認しています。

第7次松山市総合計画の策定に向けた市民意識調査等 報告書（概要版）

発行 令和5年3月

編集 松山市総合政策部企画戦略課

所在地 〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

電話 (089)948-6213 F A X (089)934-1804

電子メール kikaku@city.matsuyama.ehime.jp